

令和7年度  
アンケート調査  
(せきのまちづくり通信簿)  
【結果報告書】

令和8年3月  
関市



# 目 次

|          |                                |           |
|----------|--------------------------------|-----------|
| <b>1</b> | <b>調査の概要</b> .....             | <b>1</b>  |
|          | (1) 調査目的 .....                 | 2         |
|          | (2) 調査項目 .....                 | 2         |
|          | (3) 調査方法 .....                 | 2         |
|          | (4) 回収結果 .....                 | 2         |
|          | (5) 報告書の見方 .....               | 3         |
| <b>2</b> | <b>調査結果の概況</b> .....           | <b>5</b>  |
|          | (1) 回答者の属性について .....           | 6         |
|          | (2) 関市の住みよさなどについて .....        | 6         |
|          | (3) 市の主な施策の「満足度・重要度」について ..... | 6         |
|          | (4) まちづくりへの意識と取組について .....     | 7         |
| <b>3</b> | <b>調査結果の分析</b> .....           | <b>9</b>  |
|          | (1) 回答者の属性について .....           | 10        |
|          | (2) 関市の住みよさなどについて .....        | 19        |
|          | (3) 市の主な施策の「満足度・重要度」について ..... | 27        |
|          | (4) まちづくりへの意識と取組について .....     | 45        |
| <b>4</b> | <b>自由意見</b> .....              | <b>85</b> |



# 1 調査の概要

## (1) 調査目的

本調査は、関市民のまちづくりへの意識等を把握し、各事業の見直しや改善の参考にすることを目的として実施しました。

## (2) 調査項目

- ①回答者の属性について
- ②関市の住みよさなどについて
- ③市の主な施策の「満足度・重要度」について
- ④まちづくりへの意識と取組について

## (3) 調査方法

- ①調査対象者：令和7年11月現在、関市に居住している満16歳以上の市民3,000人
- ②抽出法：住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③調査期間：令和7年11月20日～令和7年12月8日
- ④調査方法：調査票またはインターネットによる本人記入方式  
郵送配布、郵送回収またはインターネット回答による郵送調査方法

## (4) 回収結果

| 配布数   | 有効回収数 | 回収率   |
|-------|-------|-------|
| 3,000 | 1,336 | 44.5% |

## (5) 報告書の見方

### ●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果と性別、年齢別の集計結果を掲載しています。

### ●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、「n」に各選択肢の%を乗じることで、その選択肢の回答者数を算出できます。

### ●「%」について

グラフ中の「%」は、小数第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者の割合を示します。

### ●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として、調査票に記載された表現のままとしています。

### ●表について

「不明・無回答」を除き、回答の割合が高いもの第1位と第2位に網掛けをしています。

### ●記述回答について

「その他」への記載や自由意見については、誤字等の軽微な修正のほか、読みやすさなどに配慮し、意味を損なわない程度に調整して掲載している場合があります。



## 2 調査結果の概況

## (1) 回答者の属性について

回答者の性別は、「男性」が40.0%、「女性」が55.8%となっています。

年齢は、「70歳以上」が26.6%と最も高く、次いで「60歳代」が23.1%となっています。

居住地域は、「関地域」が85.2%と最も高く、次いで「武芸川地域」が6.7%となっています。

出身地は、「関市（旧武儀郡含む）」が54.0%と最も高く、次いで「岐阜県内の他の市町村」が30.1%となっています。

家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が47.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が30.5%となっています。

居住形態は、「持ち家（マンション含む）」が88.0%と最も高く、次いで「賃貸（アパートなど）」が9.8%となっています。

職業は、「会社員、公務員、団体職員」が32.9%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が23.5%となっています。

通勤（通学）場所は、「関市内」が54.2%、「関市外」が38.6%となっています。その具体的な場所については、「岐阜市」が23.6%と最も高く、次いで「美濃市」が17.5%となっています。

## (2) 関市の住みよさなどについて

関市が住みよいまちと感じるかたずねたところ、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計）が78.0%、『住みにくい』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）が14.0%となっています。

『住みよい』と答えた理由は、「買い物等生活するのに便利だから」が51.8%と最も高く、次いで「自然環境が豊かだから」も51.4%と高くなっています。

一方、『住みにくい』と答えた理由は、「交通が不便だから」が78.6%と最も高く、次いで「買い物等生活するのに不便だから」が48.1%となっています。

また、関市に誇りや愛着を『感じている』（「とても感じている」と「やや感じている」の合計）は63.9%、『感じていない』（「全く感じていない」と「あまり感じていない」の合計）は20.5%でした。

若年層が関市に住み続けられる、または関市に移り住んでもらうために重要だと思うことについては、「働く場の充実」が61.7%と最も高く、次いで「通勤の利便性向上（公共交通機関利用者への支援など）」が39.4%となっています。

## (3) 市の主な施策の「満足度・重要度」について

満足度（「とても満足」と「まあ満足」の合計）は、「健康」が41.0%と最も高く、次いで「地域福祉・福祉医療」が36.5%、「子育て支援」も33.4%となっています。

積極的に進めるべきだと思う施策（重要度）については、「子育て支援」が31.6%と最も高く、次いで「高齢者福祉」が27.0%、「公共交通」が26.6%となっています。

## (4) まちづくりへの意識と取組について

### ① 地域づくり・協働について

過去1年間の地域活動への参加の有無については、「ある」が56.6%、「ない」が42.7%となっています。

自治会への加入状況については、「加入している」が85.3%、「加入していない」が14.1%となっています。自治会に加入していることで負担に感じるかどうかについては、「ある」が51.4%、「ない」が35.1%となっています。自治会に加入していることで負担に感じることについては、「自治会の役員」が86.2%と最も高く、次いで「自治会の活動」が54.4%となっています。

### ② 公共施設の使用料について

関市内の公共施設の使用料については、「妥当だと思う」が52.4%と最も高く、『高い』（「とても高い」と「やや高い」の合計）が5.9%、『安い』（「とても安い」と「やや安い」の合計）が4.0%、対象の施設を「利用していない」が36.5%となっています。

公共施設の維持管理・運営のための経費を何でまかなうべきかについては、「施設を使用する人の負担（使用料）と市民全体の負担（税金）でまかなうべき」が55.9%と5割以上を占め、「施設を使用する人の負担（使用料）のみでまかなうべき」は16.0%、「市民全体の負担（税金）のみでまかなうべき」は6.4%となっています。

施設使用料の改定（値上げ・値下げ）については、「施設や設備を維持、更新するためには値上げはやむを得ない」が56.1%と5割以上を占め、「施設や設備の維持、更新が不十分になる場合でも、値上げをするべきではない」は11.2%となっています。

### ③ 広報せきについて

広報せきを「読む（主に紙面）」は71.0%、「読む（主にオンライン記事）」は3.4%と、これらを合わせた『読む』は74.4%となっています。

広報せき以外の関市に関する情報源については、「新聞」が38.5%と最も高く、次いで「インターネット」が31.2%、「あんしんメール」が30.9%となっています。

よく使用するSNSについては、「LINE」が77.8%と最も高く、次いで「YouTube」が45.4%、「Instagram」が33.8%となっています。

### ④ 文化・スポーツについて

未来に伝えたい関市の文化や歴史については、「刃物・日本刀」が88.5%と最も高く、次いで「小瀬鶉飼」が64.4%となっています。

過去1年間に芸術文化を鑑賞した機会については、「ある」が37.1%、「ない」が62.3%となっています。

1週間に1回以上運動やスポーツをしているかについては、「している」が55.2%、「していない」が44.5%となっています。

## ⑤ 自転車の利用について

自転車の利用状況については、「ほぼ毎日」（4.7%）と「週に1～3回程度」（3.7%）を合わせた『普段利用している』は8.4%と低く、「利用しない」が73.7に及んでいます。利用目的については、「日常生活の移動（買い物・通院・子どもの送迎など）」が51.5%と最も高く、次いで「健康づくり・スポーツ・トレーニング」が22.7%となっています。自転車事故を補償する保険への加入状況については、「加入している」が55.8%、「加入していない」が32.3%となっています。ヘルメットの着用の有無については、「着用している」が27.0%、「着用していない」が73.0%となっています。

## ⑥ 人権について

男女の地位の平等意識については、「平等である」は19.6%となっており、「男性の方が優遇されている」が38.7%、「女性の方が優遇されている」が6.3%となっています。

LGBTという言葉とその意味について「知っている」が71.3%、「知らない」が27.1%となっています。

「子どもの権利」については、「詳しく知っている」が6.7%、「少し知っている」が32.8%ある一方、「知らない」は24.0%となっています。

関市が「子どもまんなか社会」の実現に向かっていると思うかについては、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が30.9%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）が21.2%となっています。

関市が結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思うかについては、『そう思う』が36.3%、『そう思わない』が23.0%となっています。

## ⑦ 防災について

自宅の浸水被害や土砂災害の危険性の有無については、「危険性がある」が28.8%、「危険性はない」が39.9%、「わからない（把握していない）」が29.7%となっています。

危険性の有無を何で確認したかについて、「市が作成したハザードマップ」が77.7%、「県の「ぎふ山と川の危険箇所マップ」」が5.6%となっています。

気象情報や避難に関する情報の入手方法については、「テレビ（ニュース、データ放送）」が48.4%と最も高く、次いで「あんしんメール」、「関市公式LINE」も47.9%と高くなっています。

家で準備している災害用備蓄品については、「食料・飲料水」が71.3%と最も高く、次いで「燃料（卓上コンロ、ガスボンベ）」が55.1%となっています。

食料・飲料備蓄日数については、「1日分」が35.2%と最も高く、次いで「3日分」が22.2%となっています。なお、「3日分」以上確保しているのは40.5%です。

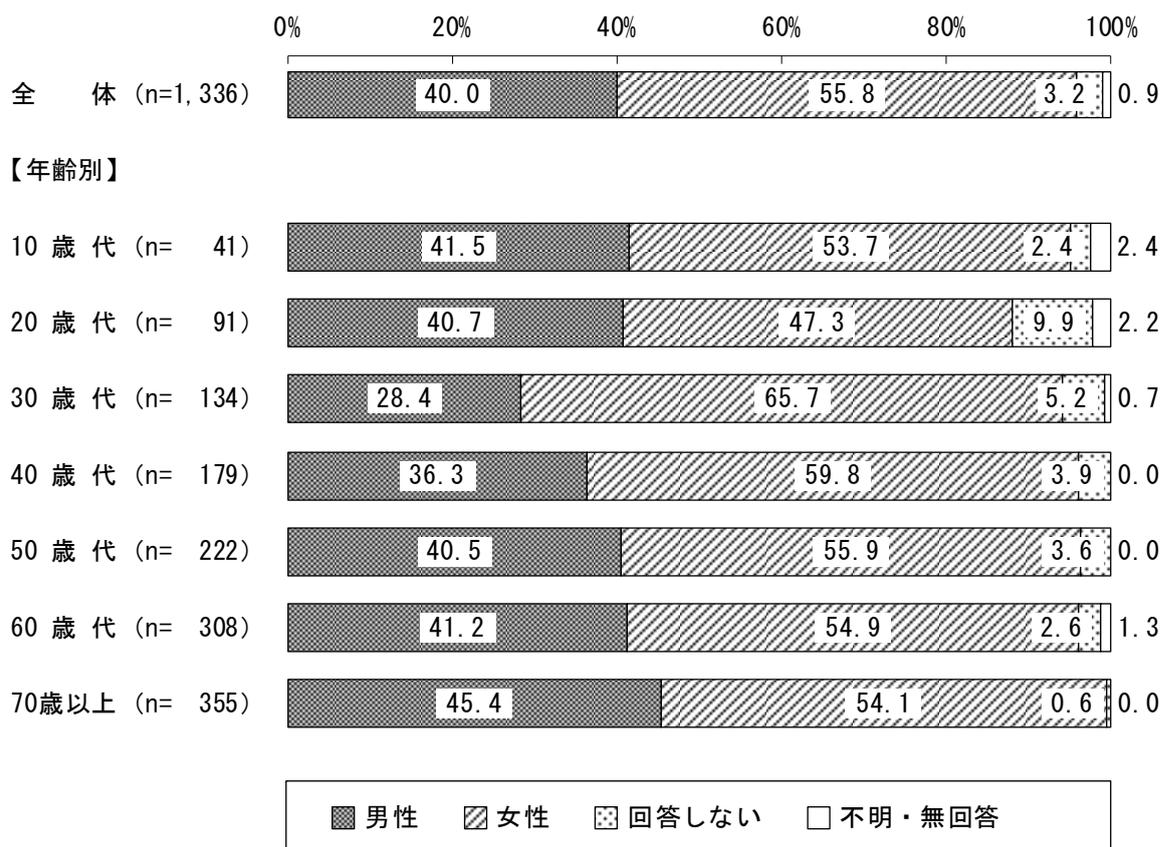
### 3 調査結果の分析

## (1) 回答者の属性について

### ① あなたの性別をお答えください。(自認する性別をご記入ください。単数回答)

回答者の性別は、「男性」が40.0%、「女性」が55.8%となっています。

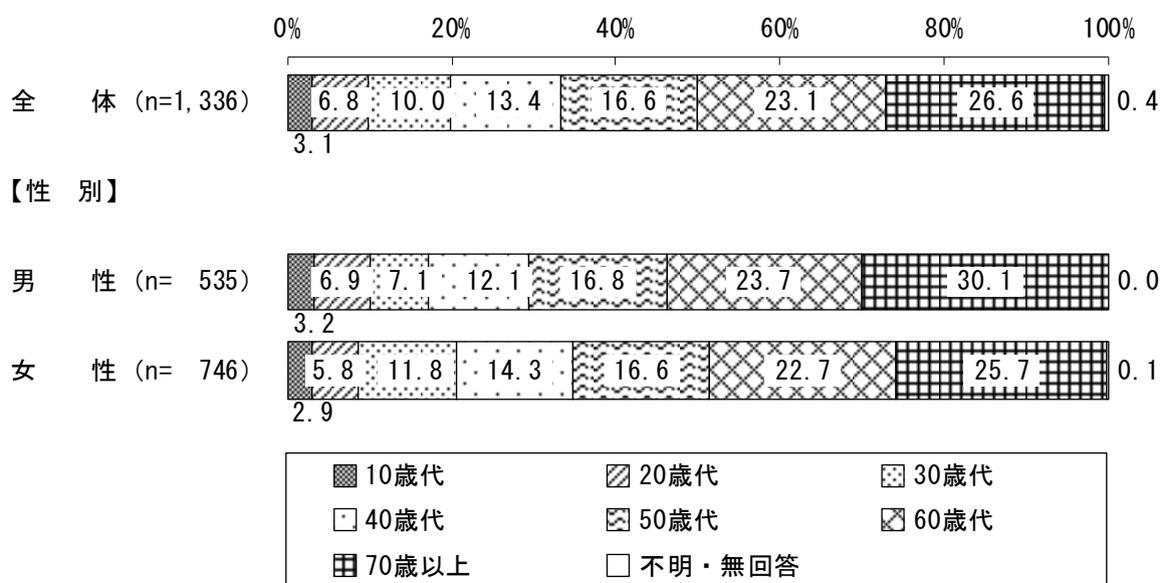
年齢別にみると、「女性」は30歳代で、「回答しない」は20歳代でほかの年代に比べて割合が高くなっています。



② あなたの年齢は次のどれですか。（単数回答）

回答者の年齢は、「70歳以上」が26.6%と最も高く、次いで「60歳代」が23.1%と、年齢が低くなるほど割合も低くなっています。

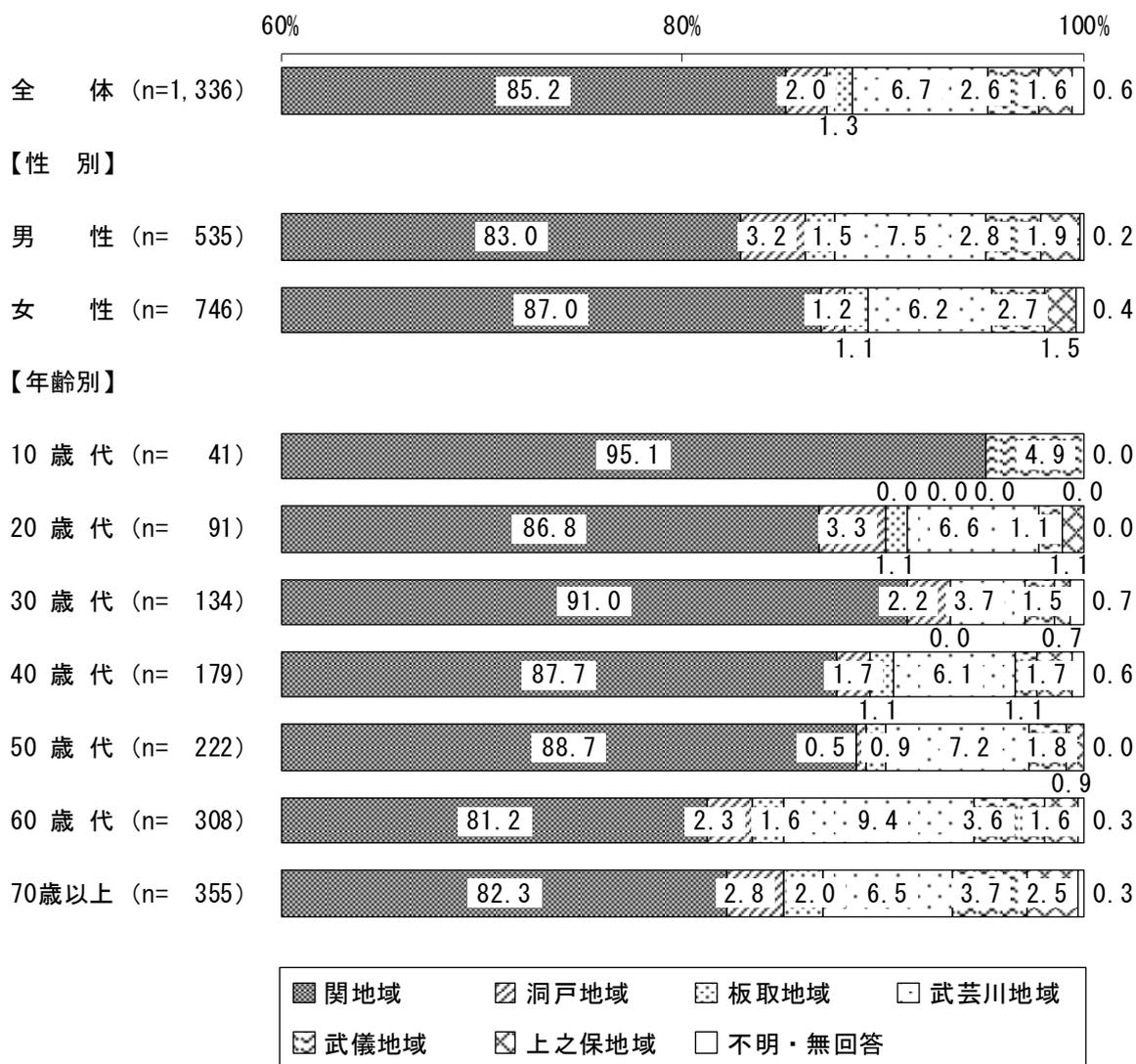
性別にみても、60歳以上が5割前後を占めています。



③ あなたが住んでいる地域は次のどれですか。（単数回答）

居住地域については、「関地域」が85.2%と最も高く、次いで「武芸川地域」が6.7%となっています。

性別、年齢別にみても、いずれも「関地域」が8割以上を占めています。

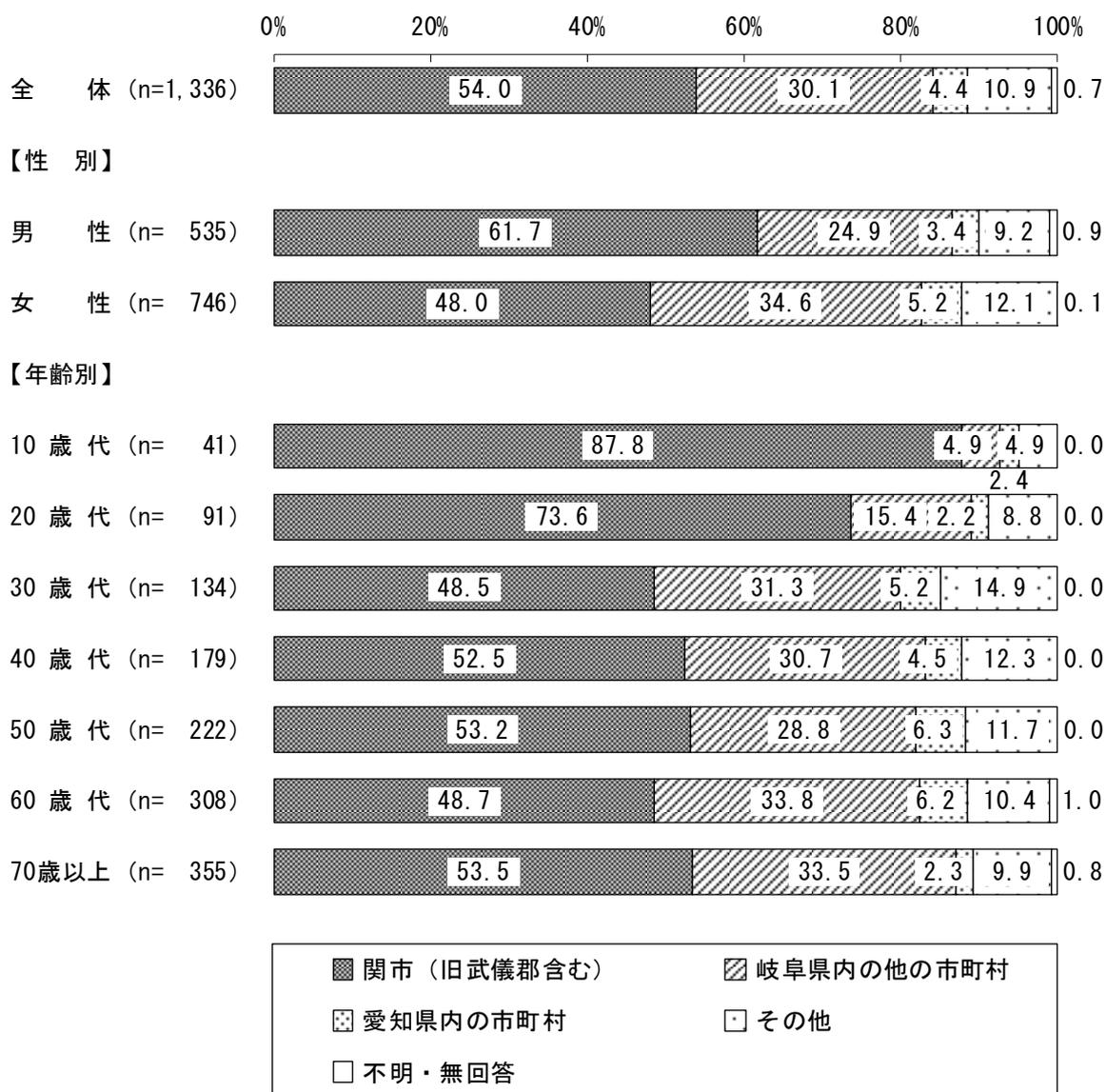


④ あなたの出身地はどこですか。（単数回答）

出身地については、「関市（旧武儀郡含む）」が54.0%と最も高く、次いで「岐阜県内の他の市町村」が30.1%となっています。

性別にみると、「関市（旧武儀郡含む）」は、男性に比べて女性が13.7ポイント低く、5割を下回っています。

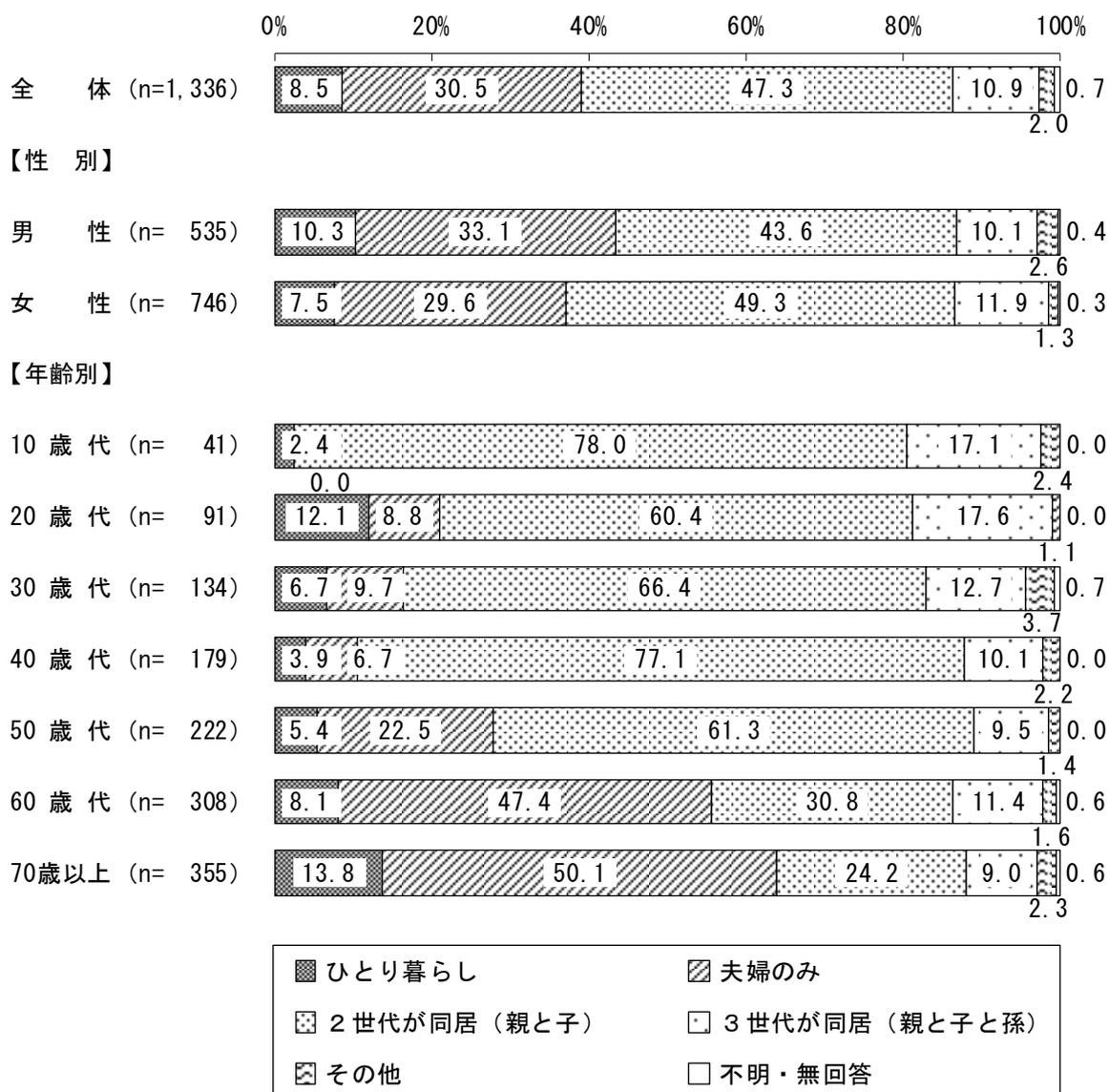
年齢別にみると、「関市（旧武儀郡含む）」は、30歳代と60歳代で5割を下回っています。



⑤ あなたの家族構成はどのようになっていますか。（単数回答）

家族構成については、「2世代が同居（親と子）」が47.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が30.5%となっています。

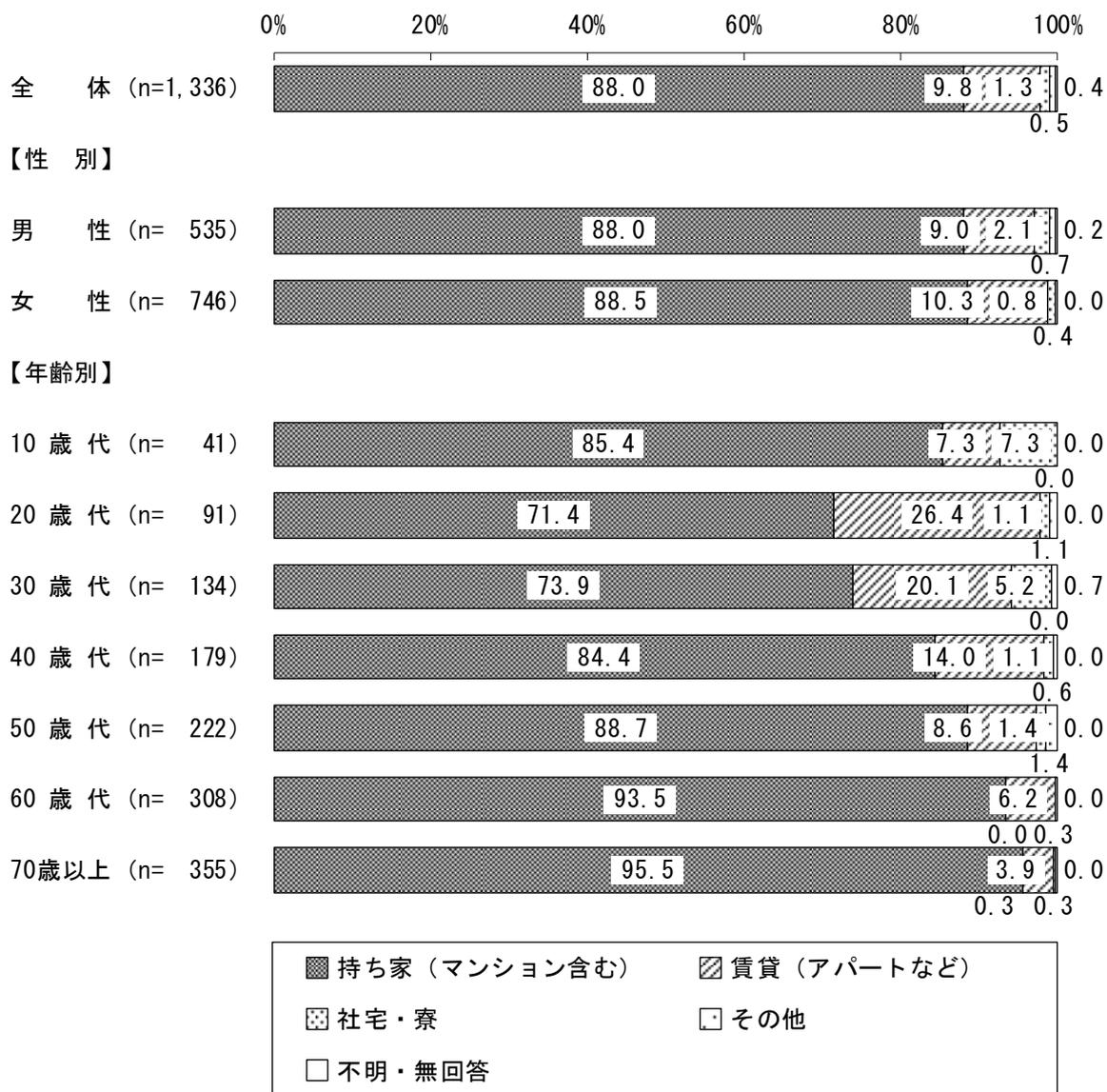
年齢別にみると、60歳代以上は、「夫婦のみ」が最も高くなっています。



⑥ あなたの居住形態は、次のうちどれですか。（単数回答）

居住形態については、「持ち家（マンション含む）」が88.0%と最も高く、次いで「賃貸（アパートなど）」が9.8%となっています。

年齢別にみると、「賃貸（アパートなど）」は、20歳代と30歳代では2割台となっています。

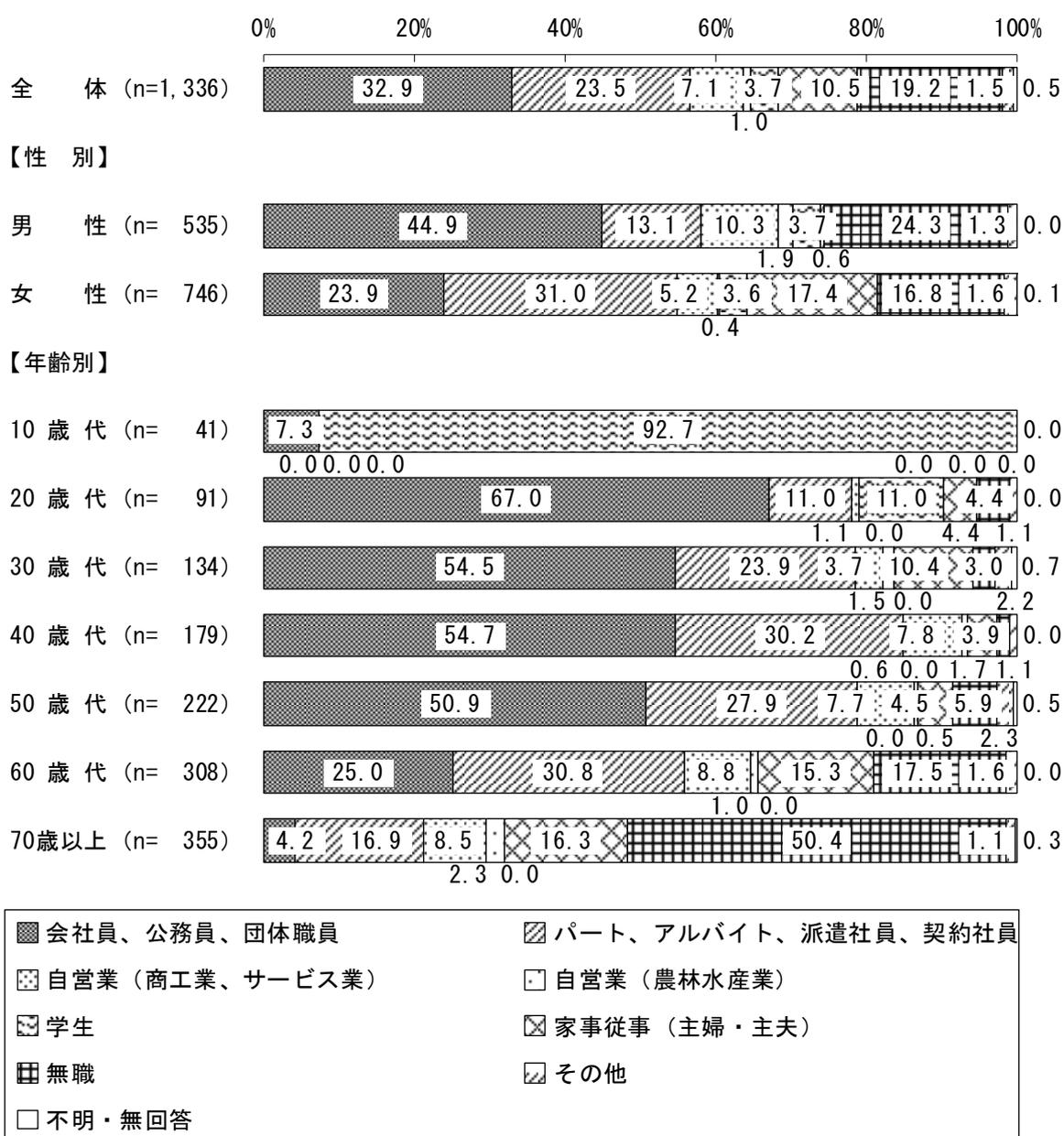


⑦ あなたの職業は、次のうちどれですか。（単数回答）

職業については、「会社員、公務員、団体職員」が32.9%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が23.5%となっています。

性別にみると、女性は、「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が最も高く、「会社員、公務員、団体職員」に比べて7.1ポイント、男性の「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」に比べて17.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、10歳代は「学生」、60歳代は「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」、70歳以上は「無職」が最も高くなっています。



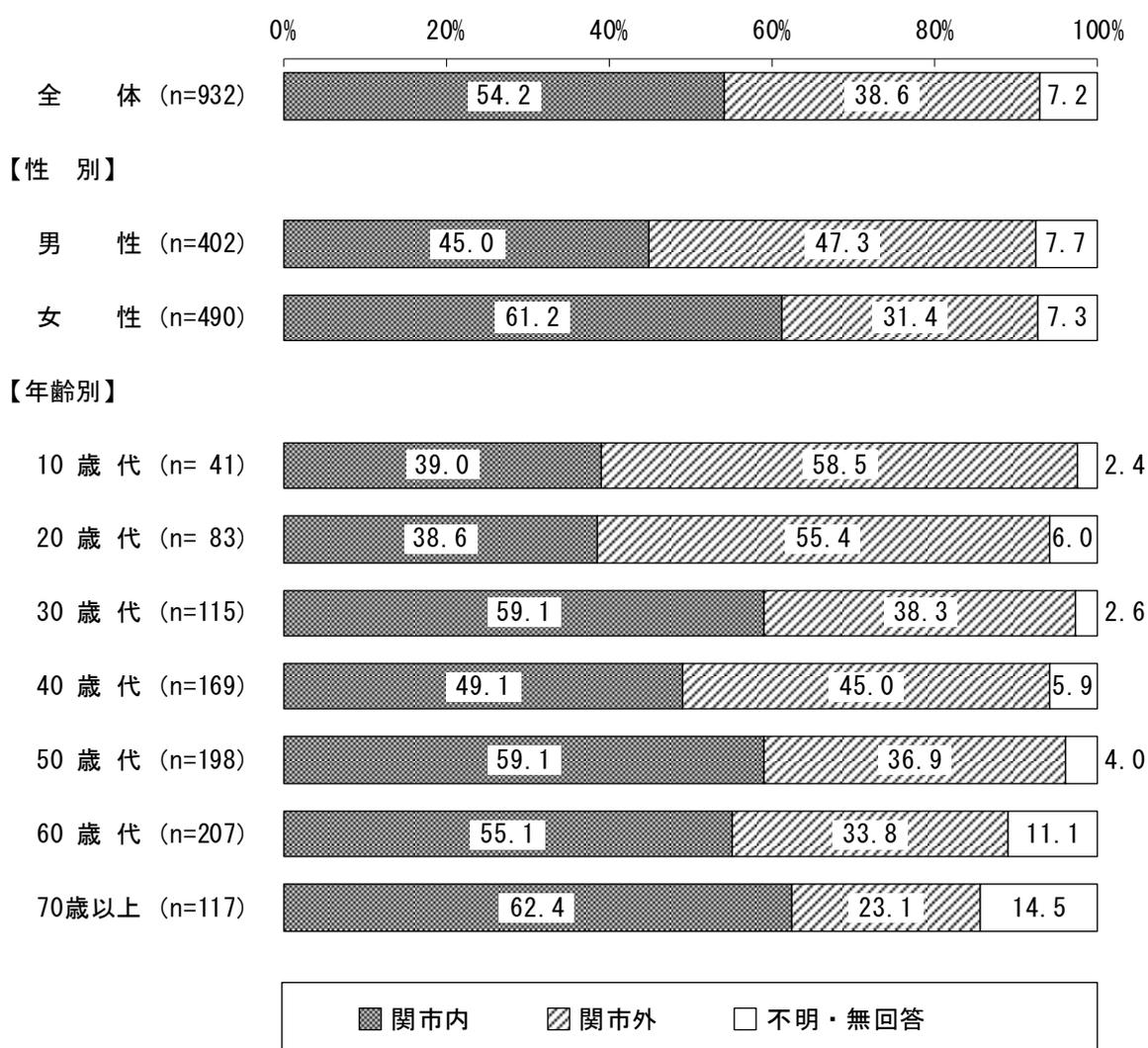
⑧ あなたの通勤（通学）場所はどこですか。（単数回答）

※⑦で「会社員、公務員、団体職員」「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」「自営業（商工業、サービス業）」「自営業（農林水産業）」「学生」「その他」のいずれかを選択した人への質問

通勤（通学）場所については、「関市内」が54.2%、「関市外」が38.6%となっています。

性別にみると、「関市内」は、女性に比べて男性が16.2ポイント低く、5割を下回っています。

年齢別にみると、「関市内」は、10歳代と20歳代で4割を下回っています。



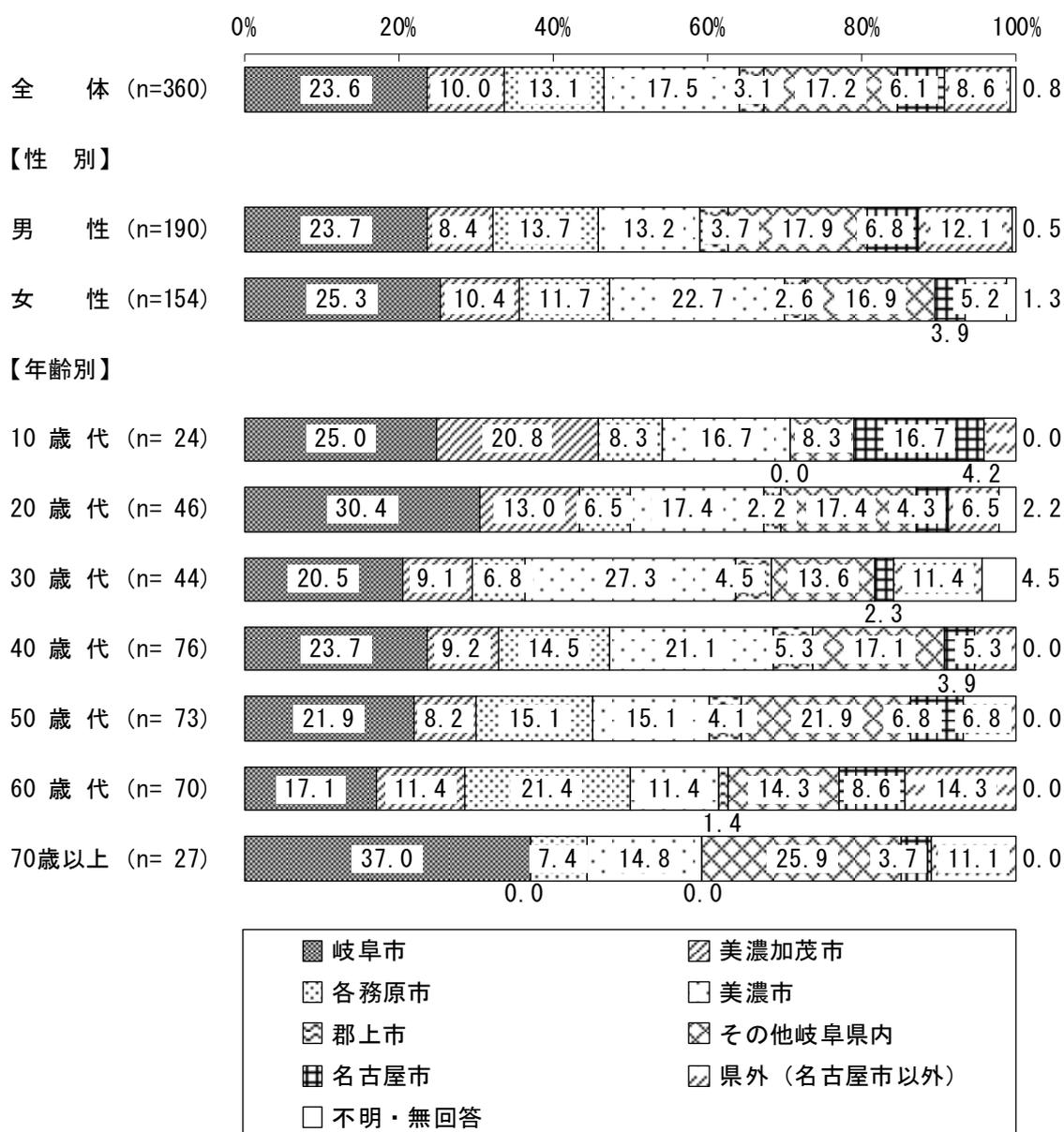
⑧ - 1 具体的な通勤（通学）場所はどこですか。（単数回答）

※⑧で「関市外」を選択した人への質問

通勤（通学）場所の具体的な場所については、「岐阜市」が23.6%と最も高く、次いで「美濃市」が17.5%となっています。

性別にみると、「美濃市」は、男性に比べて女性が9.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代では「美濃市」、60歳代では「各務原市」が最も高くなっています。



## (2) 関市の住みよさなどについて

問1 あなたは関市が住みよいまちだと感じますか。(単数回答)

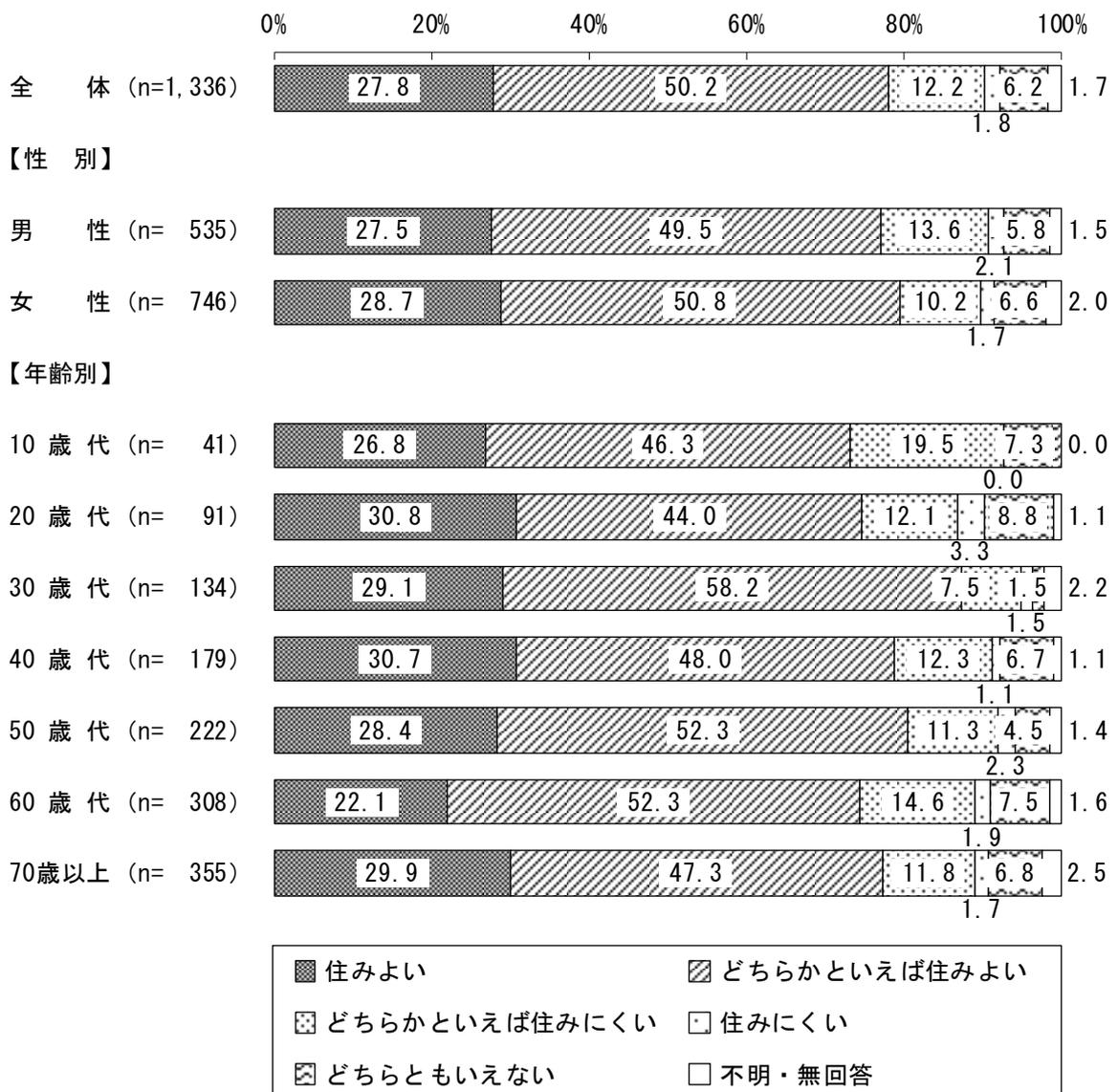
『住みよい』78.0% > 『住みにくい』14.0%

※問1の選択肢は以下のように区分(他の文中においても同様)

- ・『住みよい』: 「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計
- ・『住みにくい』: 「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計

関市が住みよいまちだと感じるかについては、『住みよい』が78.0%、『住みにくい』が14.0%となっています。

『住みよい』は、性別にみても、あまり差異はありませんが、年齢別にみると、30歳代で8割を大きく上回り、ほかの年代に比べて高くなっています。



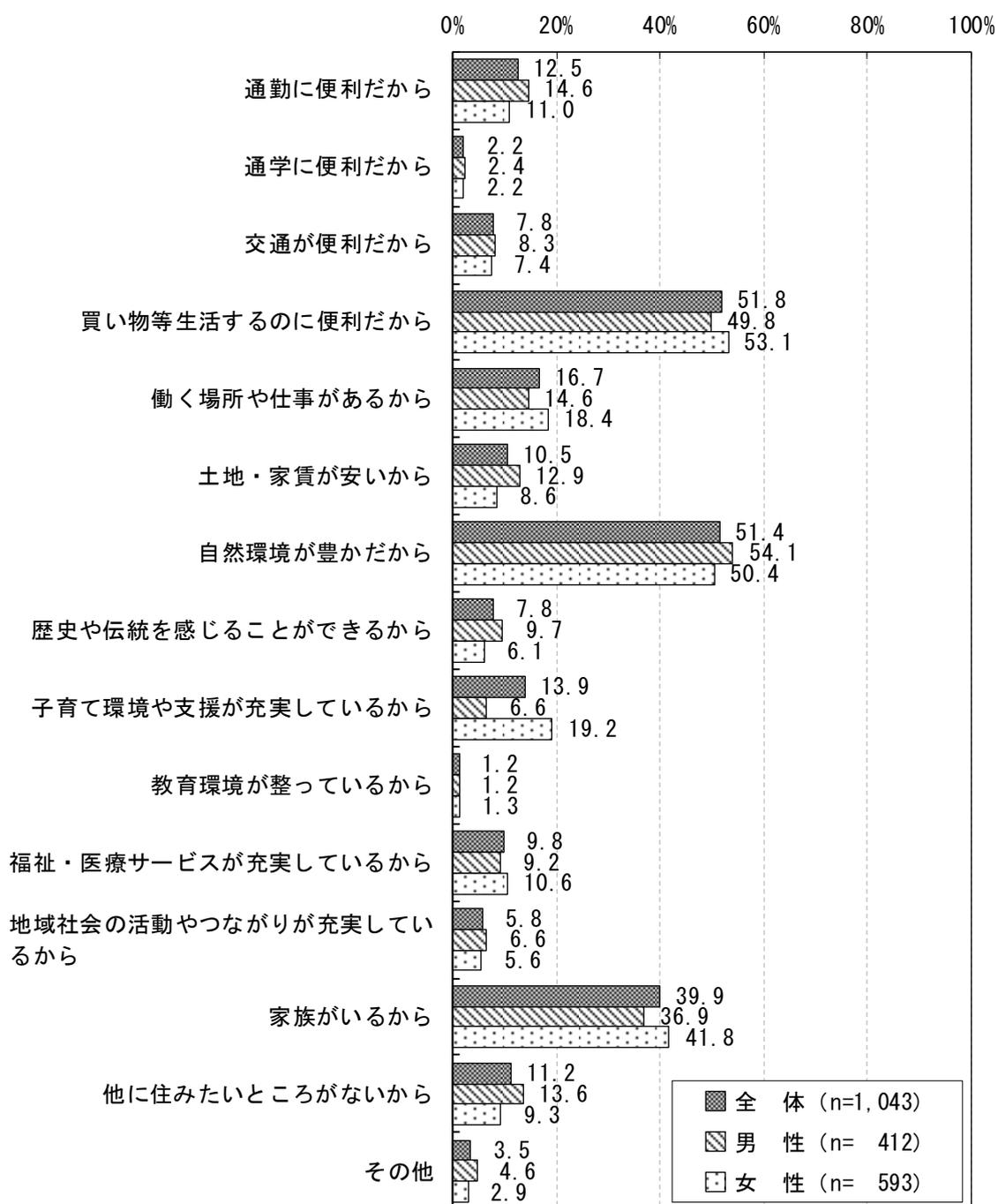
## 問2 『住みよい』理由は何ですか。（複数（3つまで）回答）

※問1で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を選択した人への質問

### 「買い物等生活するのに便利だから」が最も高い

『住みよい』と答えた理由については、「買い物等生活するのに便利だから」が51.8%と最も高く、次いで「自然環境が豊かだから」も51.4%と高くなっています。

性別にみると、「子育て環境や支援が充実しているから」が、男性に比べて女性が12.6ポイント高くなっています。



年齢別にみると、10歳代、40歳代、60歳代、70歳以上は「自然環境が豊かだから」、20歳代は「家族がいるから」が最も高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 通勤に便利だから | 通学に便利だから | 交通が便利だから | 買い物等生活するのに便利だから | 働く場所や仕事があるから | 土地・家賃が安いから | 自然環境が豊かだから | 歴史や伝統を感じることができるから | 子育て環境や支援が充実しているから |
|------------------|----------|----------|----------|-----------------|--------------|------------|------------|-------------------|-------------------|
| 全体<br>(n=1,043)  | 12.5     | 2.2      | 7.8      | 51.8            | 16.7         | 10.5       | 51.4       | 7.8               | 13.9              |
| 10歳代<br>(n=30)   | 3.3      | 26.7     | 3.3      | 30.0            | 6.7          | 10.0       | 53.3       | 3.3               | 6.7               |
| 20歳代<br>(n=68)   | 16.2     | 2.9      | 1.5      | 39.7            | 11.8         | 17.6       | 42.6       | 7.4               | 13.2              |
| 30歳代<br>(n=117)  | 12.8     | 0.9      | 4.3      | 57.3            | 17.9         | 16.2       | 38.5       | 6.0               | 47.9              |
| 40歳代<br>(n=141)  | 18.4     | 2.1      | 7.8      | 44.0            | 22.7         | 13.5       | 46.1       | 6.4               | 27.0              |
| 50歳代<br>(n=179)  | 16.2     | 2.2      | 5.6      | 48.0            | 22.3         | 11.2       | 45.3       | 11.7              | 8.9               |
| 60歳代<br>(n=229)  | 14.8     | -        | 7.9      | 55.5            | 17.0         | 9.6        | 58.5       | 9.6               | 8.3               |
| 70歳以上<br>(n=274) | 4.7      | 1.8      | 12.4     | 58.0            | 11.3         | 5.1        | 60.6       | 5.8               | 1.8               |

| 区分               | 教育環境が整っているから | 福祉・医療サービスが充実しているから | 地域社会の活動やつながりが充実しているから | 家族がいるから | 他に住みたいところがないから | その他 |
|------------------|--------------|--------------------|-----------------------|---------|----------------|-----|
| 全体<br>(n=1,043)  | 1.2          | 9.8                | 5.8                   | 39.9    | 11.2           | 3.5 |
| 10歳代<br>(n=30)   | 0.0          | 10.0               | 10.0                  | 46.7    | 0.0            | 3.3 |
| 20歳代<br>(n=68)   | 2.9          | 0.0                | 0.0                   | 58.8    | 14.7           | 2.9 |
| 30歳代<br>(n=117)  | 0.9          | 4.3                | 2.6                   | 29.9    | 4.3            | 0.9 |
| 40歳代<br>(n=141)  | 0.7          | 5.0                | 1.4                   | 45.4    | 8.5            | 2.1 |
| 50歳代<br>(n=179)  | 1.1          | 5.6                | 2.8                   | 43.6    | 3.9            | 6.1 |
| 60歳代<br>(n=229)  | 0.4          | 10.0               | 4.4                   | 36.7    | 14.4           | 3.5 |
| 70歳以上<br>(n=274) | 2.2          | 19.3               | 13.5                  | 36.1    | 17.9           | 3.6 |

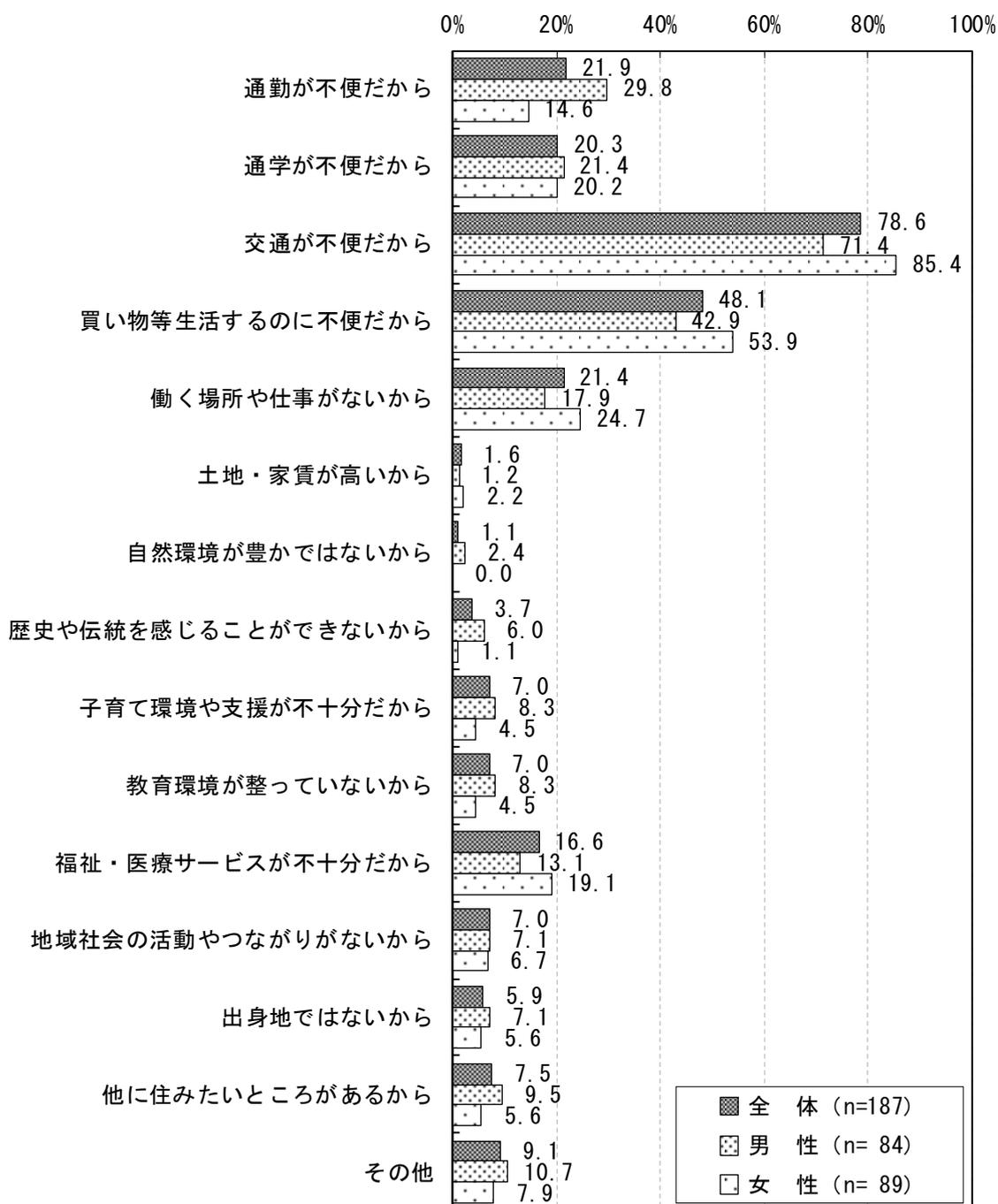
### 問3 『住みにくい』理由は何ですか。（複数（3つまで）回答）

※問1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選択した人への質問

#### 「交通が不便だから」が最も高い

『住みにくい』と答えた理由については、「交通が不便だから」が78.6%と最も高く、次いで「買い物等生活するのに不便だから」が48.1%となっています。

性別にみると、「交通が不便だから」と「買い物等生活するのに不便だから」は男性に比べて女性が10ポイント以上高い一方、「通勤が不便だから」は女性に比べて男性が10ポイント以上高くなっています。



年齢別にみると、次の表のとおりとなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 通勤が不便だから | 通学が不便だから | 交通が不便だから | 買い物等生活するのに不便だから | 働く場所や仕事がないから | 土地・家賃が高いから | 自然環境が豊かではないから | 歴史や伝統を感じることができないから | 子育て環境や支援が不十分だから |
|------------------|----------|----------|----------|-----------------|--------------|------------|---------------|--------------------|-----------------|
| 全体<br>(n=187)    | 21.9     | 20.3     | 78.6     | 48.1            | 21.4         | 1.6        | 1.1           | 3.7                | 7.0             |
| 10歳代<br>(n= 8)   | 0.0      | 75.0     | 37.5     | 25.0            | 12.5         | 0.0        | 0.0           | 0.0                | 0.0             |
| 20歳代<br>(n= 14)  | 21.4     | 14.3     | 92.9     | 35.7            | 28.6         | 0.0        | 0.0           | 0.0                | 14.3            |
| 30歳代<br>(n= 12)  | 41.7     | 16.7     | 91.7     | 25.0            | 25.0         | 0.0        | 0.0           | 8.3                | 0.0             |
| 40歳代<br>(n= 24)  | 33.3     | 37.5     | 70.8     | 12.5            | 16.7         | 8.3        | 0.0           | 0.0                | 12.5            |
| 50歳代<br>(n= 30)  | 23.3     | 36.7     | 80.0     | 56.7            | 23.3         | 0.0        | 0.0           | 3.3                | 0.0             |
| 60歳代<br>(n= 51)  | 17.6     | 7.8      | 82.4     | 56.9            | 23.5         | 0.0        | 2.0           | 3.9                | 7.8             |
| 70歳以上<br>(n= 48) | 18.8     | 8.3      | 77.1     | 64.6            | 18.8         | 2.1        | 2.1           | 6.3                | 8.3             |

| 区分               | 教育環境が整っていないから | 福祉・医療サービスが不十分だから | 地域社会の活動やつながりがないから | 出身地ではないから | 他に住みたいところがあるから | その他  |
|------------------|---------------|------------------|-------------------|-----------|----------------|------|
| 全体<br>(n=187)    | 7.0           | 16.6             | 7.0               | 5.9       | 7.5            | 9.1  |
| 10歳代<br>(n= 8)   | 25.0          | 25.0             | 12.5              | 0.0       | 12.5           | 25.0 |
| 20歳代<br>(n= 14)  | 0.0           | 0.0              | 0.0               | 14.3      | 14.3           | 0.0  |
| 30歳代<br>(n= 12)  | 8.3           | 25.0             | 8.3               | 8.3       | 8.3            | 0.0  |
| 40歳代<br>(n= 24)  | 20.8          | 16.7             | 8.3               | 0.0       | 8.3            | 8.3  |
| 50歳代<br>(n= 30)  | 0.0           | 10.0             | 0.0               | 6.7       | 16.7           | 6.7  |
| 60歳代<br>(n= 51)  | 5.9           | 19.6             | 7.8               | 5.9       | 2.0            | 15.7 |
| 70歳以上<br>(n= 48) | 4.2           | 18.8             | 10.4              | 6.3       | 4.2            | 6.3  |

問4 あなたは関市に誇りや愛着を感じていますか。(単数回答)

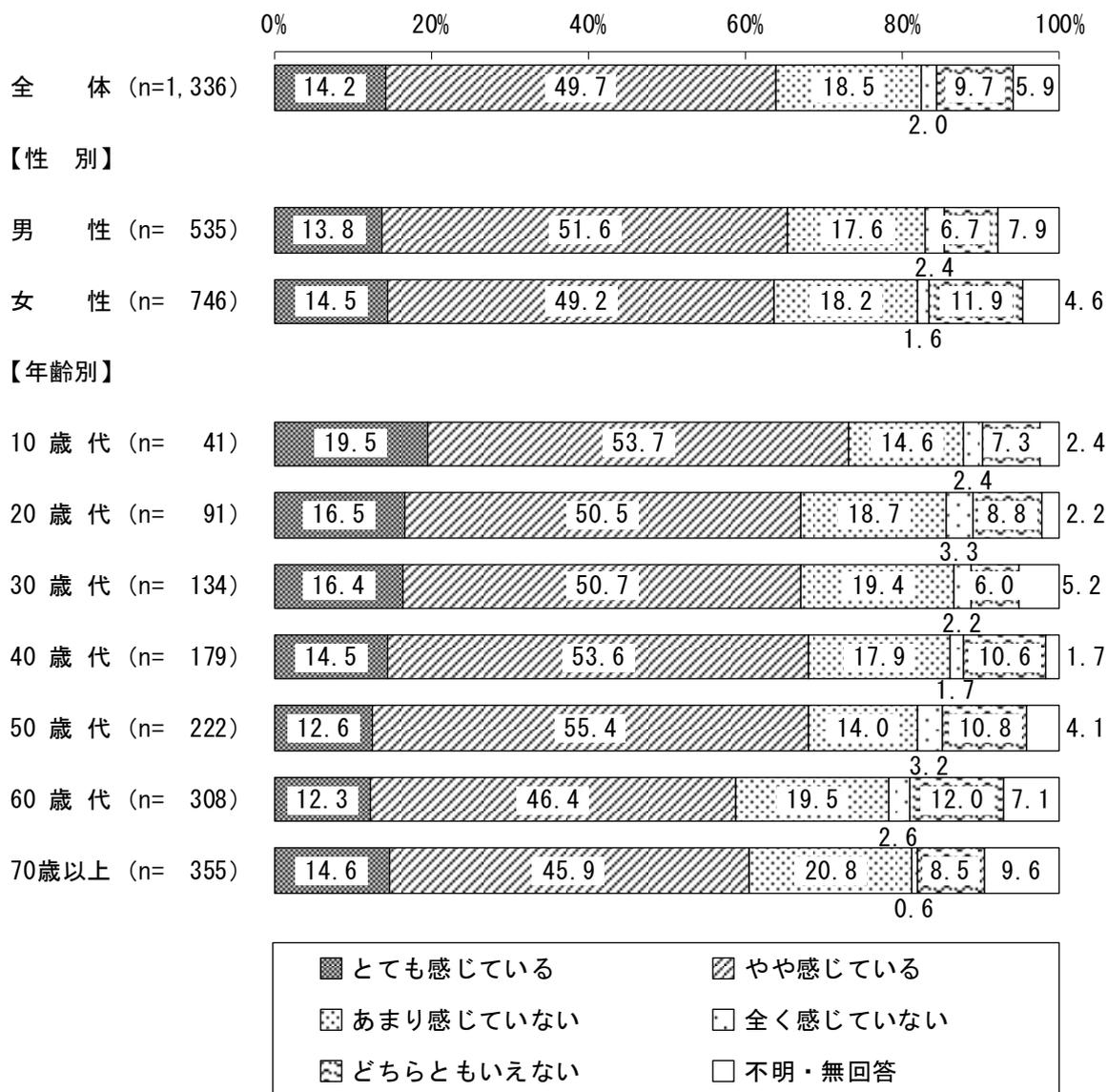
誇りや愛着を『感じている』63.9% > 『感じていない』20.5%

※問4の選択肢は以下のように区分(他の文中においても同様)

- ・『感じている』: 「とても感じている」と「やや感じている」の合計
- ・『感じていない』: 「全く感じていない」と「あまり感じていない」の合計

関市に誇りや愛着を『感じている』が63.9%、『感じていない』が20.5%となっています。

『感じている』は、性別にみても、あまり差異はありませんが、年齢別にみると、10歳代がほかの年代に比べて高くなっています。

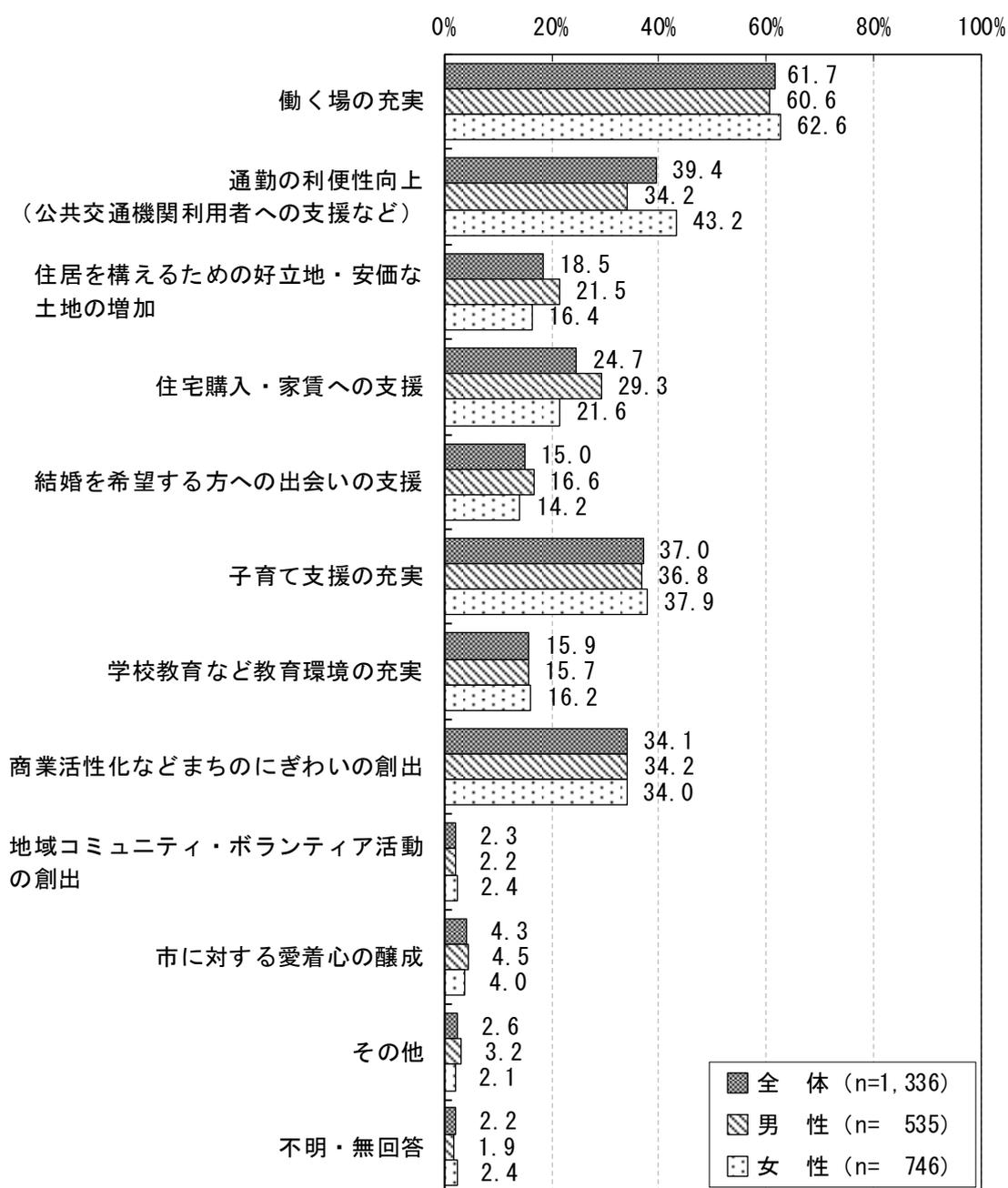


問5 関市では若年層（20～30代）が減少傾向にあります。あなたは、若年層（20～30代）が関市に住み続けられる、または関市に移り住んでもらうためには何が重要だと思いますか。（複数（3つまで）回答）

**「働く場の充実」が最も高い**

若年層が関市に住み続けられる、または関市に移り住んでもらうために重要だと思うことについては、「働く場の充実」が61.7%と最も高く、次いで「通勤の利便性向上（公共交通機関利用者への支援など）」が39.4%となっています。

性別にみると、「通勤の利便性向上（公共交通機関利用者への支援など）」は、男性に比べて女性が9.0ポイント高くなっています。



年齢別にみると、10歳代、20歳代は「通勤の利便性向上（公共交通機関利用者への支援など）」、30歳代は「子育て支援の充実」が最も高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 働く場の充実 | 通勤の利便性向上（公共交通機関利用者への支援など） | 住居を構えるための好立地・安価な土地の増加 | 住宅購入・家賃への支援 | 結婚を希望する方への出会いの支援 | 子育て支援の充実 | 学校教育など教育環境の充実 | 商業活性化などまちのにぎわいの創出 | 地域コミュニティ・ボランティア活動の創出 | 市に対する愛着心の醸成 | その他 | 不明・無回答 |
|------------------|--------|---------------------------|-----------------------|-------------|------------------|----------|---------------|-------------------|----------------------|-------------|-----|--------|
| 全体<br>(n=1,336)  | 61.7   | 39.4                      | 18.5                  | 24.7        | 15.0             | 37.0     | 15.9          | 34.1              | 2.3                  | 4.3         | 2.6 | 2.2    |
| 10歳代<br>(n=41)   | 34.1   | 53.7                      | 26.8                  | 17.1        | 4.9              | 31.7     | 19.5          | 26.8              | 4.9                  | 4.9         | 4.9 | 0.0    |
| 20歳代<br>(n=91)   | 48.4   | 52.7                      | 17.6                  | 34.1        | 8.8              | 36.3     | 8.8           | 34.1              | 1.1                  | 5.5         | 1.1 | 0.0    |
| 30歳代<br>(n=134)  | 38.1   | 37.3                      | 19.4                  | 36.6        | 7.5              | 46.3     | 18.7          | 35.8              | 1.5                  | 3.0         | 2.2 | 3.7    |
| 40歳代<br>(n=179)  | 51.4   | 49.2                      | 15.1                  | 24.0        | 5.6              | 47.5     | 17.9          | 43.6              | 0.6                  | 3.9         | 2.8 | 0.0    |
| 50歳代<br>(n=222)  | 62.6   | 48.2                      | 19.8                  | 21.2        | 12.2             | 36.0     | 18.0          | 36.0              | 1.4                  | 3.6         | 5.4 | 0.5    |
| 60歳代<br>(n=308)  | 72.7   | 35.1                      | 18.8                  | 26.0        | 19.5             | 37.0     | 14.9          | 29.9              | 3.2                  | 5.2         | 1.6 | 1.9    |
| 70歳以上<br>(n=355) | 72.1   | 28.5                      | 18.3                  | 20.6        | 22.8             | 29.9     | 14.9          | 31.5              | 3.4                  | 4.5         | 2.0 | 4.8    |

### (3) 市の主な施策の「満足度・重要度」について

問6 市が行っている次の各施策の「満足度」（単数回答）と、今後市が「積極的に推進するべきか」（複数回答）について意見をお聞きします。

| 施策                      | 主な取組  |
|-------------------------|---|
| (1) 地域福祉・福祉医療           | ボランティア人材の確保・活動促進、地域包括支援センターでの相談、子ども医療費の無償化拡大（高校生まで）                 |
| (2) 低所得者支援              | 生活困窮者に対する相談、生活困窮者の就労支援  |
| (3) 障がい者福祉              | 障がい者・障がい児の相談支援、障がい福祉サービス・障がい児支援、障がい者の就労支援                           |
| (4) 高齢者福祉               | 介護サービス（デイサービス、ホームヘルプなど）、高齢者の健康増進、高齢者の社会参加                           |
| (5) 子育て支援               | せきっこ未来応援券、保育サービス・幼児教育、子育てに関する相談、一時預かりや延長保育、子育てサロンなどの親と子の交流の場        |
| (6) 健康                  | 健康相談、ウォーキング事業、妊婦・産婦への支援給付、成人・乳幼児の健康診断、がん検診、予防接種                     |
| (7) 地域医療                | 洞戸・板取・津保川診療所運営、救命救急センターの運営支援、休日診療の運営支援                              |
| (8) 教育環境づくり             | 小学校・中学校の施設整備・改修、留守家庭児童教室の運営・環境整備                                    |
| (9) 小中学校教育              | 小学校・中学校における学校教育、STEAM教育、不登校となっている児童・生徒への支援                          |
| (10) 関商工高等学校            | 関商工における高等学校教育、関商工における産業教育、関商工の施設整備                                  |
| (11) 市民協働               | 市民活動の支援、地域委員会の活動支援、自治会活動や地域活動の支援                                    |
| (12) 女性・若者活躍            | 女性が働きやすい職場認定、女性の活躍推進セミナー、高校生や大学生のまちづくり活動支援、若者のチャレンジ支援               |
| (13) 過疎対策・地域振興          | 地域おこし協力隊の配置、地域資源の利活用、地域の担い手の育成、集落の維持                                |
| (14) 多様性社会<br>(ダイバーシティ) | 男女共同参画意識の啓発、LGBT理解への啓発、パートナーシップ宣誓制度の運用、国際理解、在住外国人へのサポート             |
| (15) 人権                 | 人権教育、人権啓発、人権相談  |
| (16) 生涯学習               | 成人学校・さわやか学級など多様な学習メニューの提供、子ども見守りボランティア、蔵書・電子図書の充実など図書館の運営           |
| (17) スポーツ               | せきシティマラソンやサイクルツーリングなどスポーツイベントの開催、スポーツ施設（アテナ工業アリーナ、河上薬品スタジアムなど）の維持管理 |
| (18) 文化・芸術・歴史           | 市民の劇場・文化祭など芸術文化活動の充実、チケットのオンライン販売、関鍛冶・小瀬鶉飼など文化財の保護・活用               |
| (19) 工業                 | 中小企業の競争力強化支援（DX、カーボンニュートラルなど）、ビジネスプラス展・工場参観日の開催、刃物産地のPR、企業立地の促進     |
| (20) 商業                 | 中心市街地活性化支援（空き店舗活用、夏祭りなどイベント）、公設市場の活性化イベント、消費生活相談                    |

| 施策                 | 主な取組   |
|--------------------|--|
| (21) 経済・雇用         | セキビズの運営など起業・創業の支援、みんなの就職サポートセンターでの就職支援、内職相談の実施                             |
| (22) 観光            | 観光情報の発信、日本刀鍛錬をはじめとする地域資源の観光活用、日本刀とアニメの企画展、せきてらすの魅力向上                       |
| (23) 農業            | 関市産の農産物の振興（キウイフルーツ、ブルーベリー、しいたけ、ゆずなど）、荒廃農地の防止・活用、農産品のブランド化、農業の担い手育成、有害鳥獣の捕獲 |
| (24) 林業            | 森林の伐採・保全、関市産木材の活用・PR、薪ストーブ導入支援   |
| (25) 防災・減災・消防      | 防災意識の啓発、災害避難カード作成、地域における防災活動（自主防災会、消防団など）、消防や救急の体制維持、あんしんメールでの情報発信         |
| (26) 交通安全・防犯対策     | 交通安全教育・交通安全意識の啓発、地域の防犯活動、防犯機能付電話機購入支援、自転車ヘルメット購入支援                         |
| (27) 環境保全          | ウシモツゴなど希少野生生物保護、オオキンケイギクなど外来生物駆除、自治会による側溝清掃などの支援                           |
| (28) 循環型社会         | 分別収集の啓発によるリサイクル促進、食品ロスに対する啓発による廃棄物の減量、資源ごみ集団回収事業の奨励                        |
| (29) 脱炭素社会         | 市民及び事業者への啓発、「脱炭素チャレンジ」の実施、太陽光発電等の脱炭素関連補助の推進、環境教育の推進                        |
| (30) 医療保険          | 医療保険制度の運営（国民健康保険、後期高齢者医療保険）  |
| (31) 都市計画・土地利用     | まちなかの空き家・空き地利活用、歩いて楽しい空間づくりの促進、都市計画道路の整備促進                                 |
| (32) 住環境           | 土地区画整理事業（平賀など）、空き家利活用支援（解体、家財処分費補助）、住宅の耐震化の支援                              |
| (33) 公共交通          | 市内巡回・地域内バスの運行、市内と市外を結ぶバス路線（高速名古屋線など）、長良川鉄道の運行支援                            |
| (34) 景観・公園         | 公園の維持管理、遊具点検・修繕、公園トイレの改修、景観の保全   |
| (35) 道路・橋りょう       | 道路の舗装修繕や拡幅、新しい道路の開設、老朽化した橋の耐震補強や補修   |
| (36) 治山・治水         | 急傾斜地の崩壊対策、集中豪雨など災害時の水害対策   |
| (37) 上水道           | 安全な飲料水の提供、老朽化した水道施設の更新   |
| (38) 下水道           | 衛生的な下水の処理、下水道処理施設の更新   |
| (39) 移住定住          | 市内居住への支援（住まいる＊せき応援券）、結婚新生活支援金、子育て応援券（せきpay）の発行、空き家バンク運営                    |
| (40) 広報・シティプロモーション | 広報紙の発行、関市の魅力発信（インスタグラムなど）、ふるさと納税の寄附促進                                      |
| (41) デジタル行政サービス    | マイナンバーを活用した行政サービスの充実（子育て・介護のオンライン申請など）、キャッシュレス決済導入                         |
| (42) 財政運営          | 健全な財政運営、税収の確保、公共施設の有効活用  |
| (43) 行政運営          | 効率的な組織、職員の育成、事業の見直し・評価   |

※問6の選択肢は以下のように区分（他の文中においても同様）

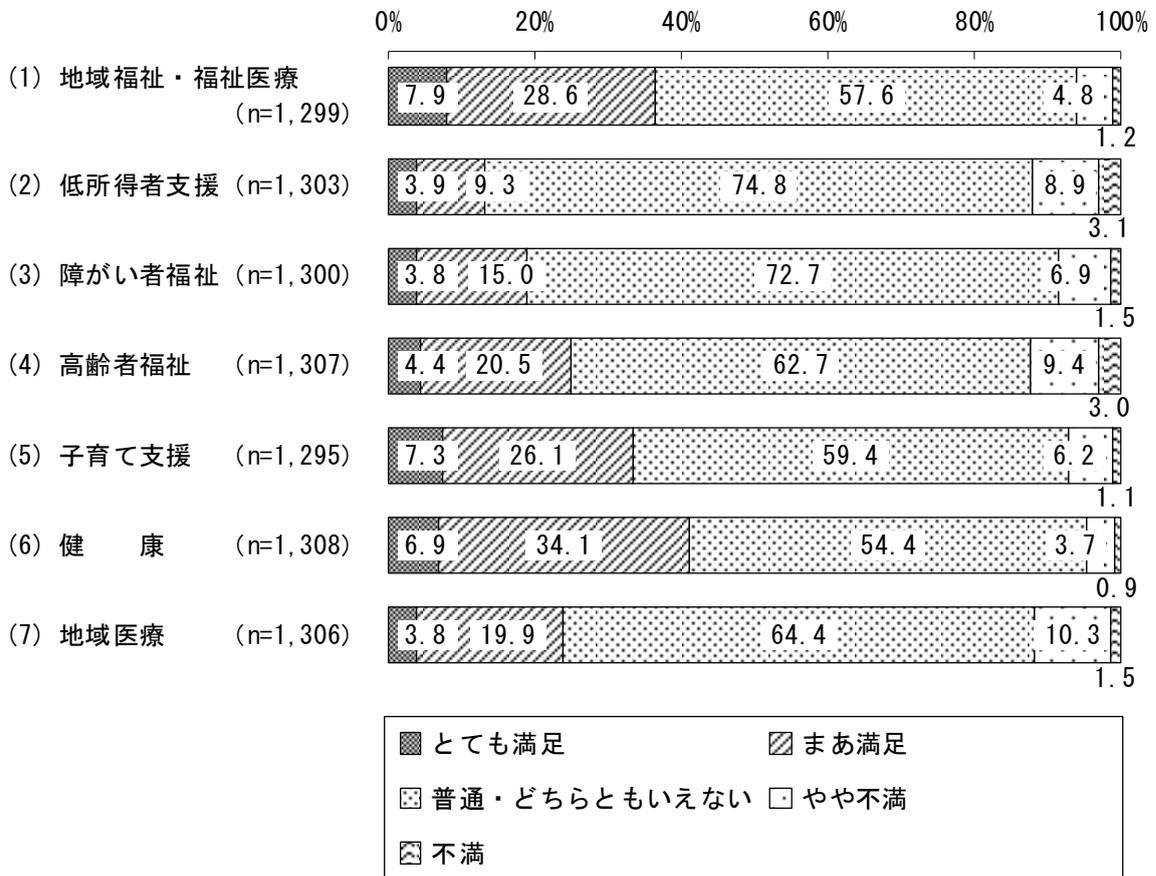
- ・『満足』：「とても満足」と「まあ満足」の合計
- ・『不満』：「やや不満」と「不満」の合計

29～39頁の「満足度」については「不明・無回答」を除いて集計した結果を掲載

## 【健康・福祉・子育て】

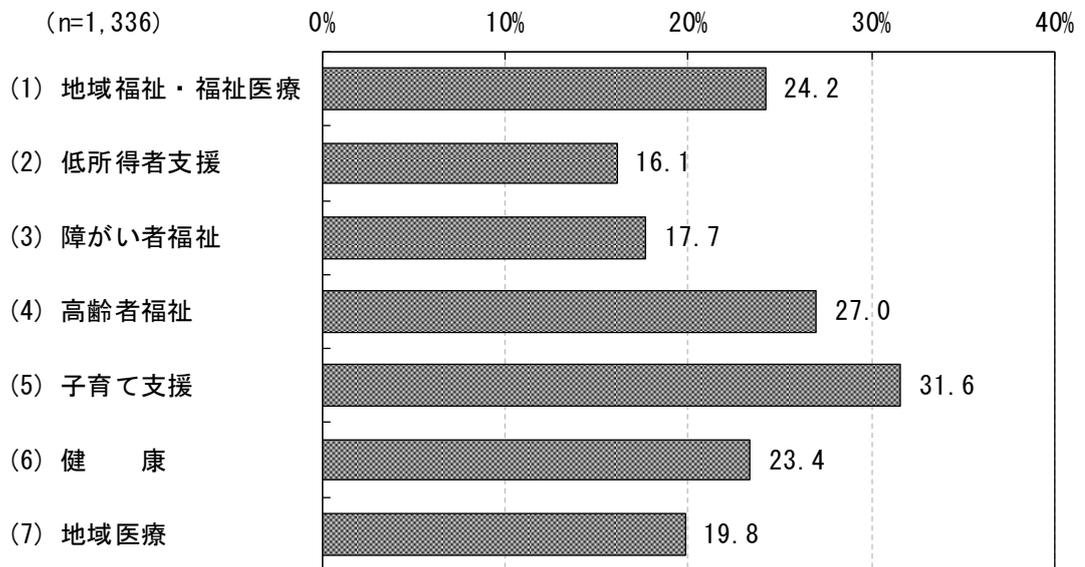
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(6) 健康」が41.0%と高く、次いで「(1) 地域福祉・福祉医療」が36.5%、「(5) 子育て支援」も33.4%と、3割を上回っています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

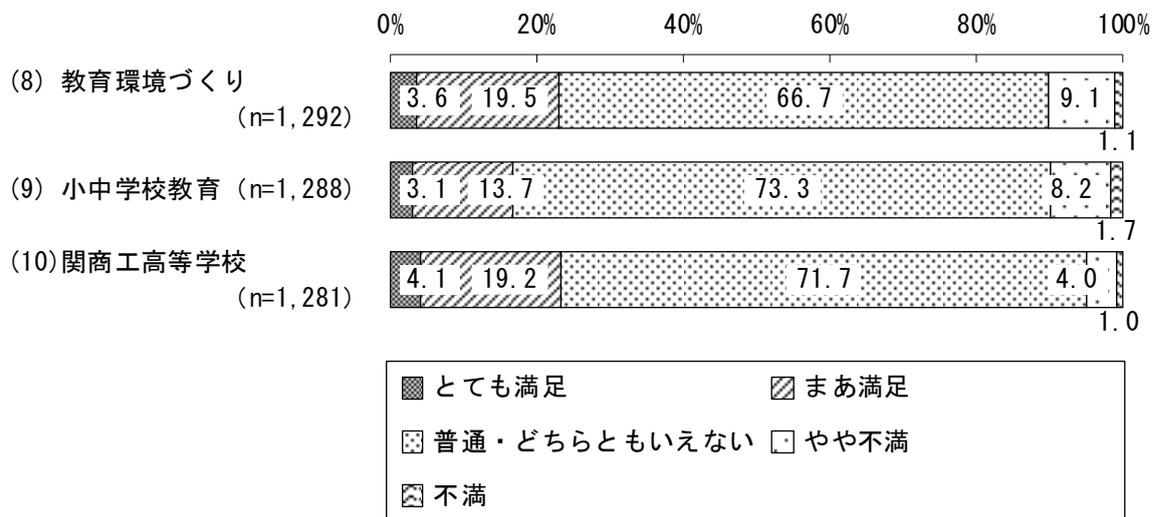
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(5) 子育て支援」が31.6%と高く、次いで「(4) 高齢者福祉」が27.0%となっています。



## 【教育】

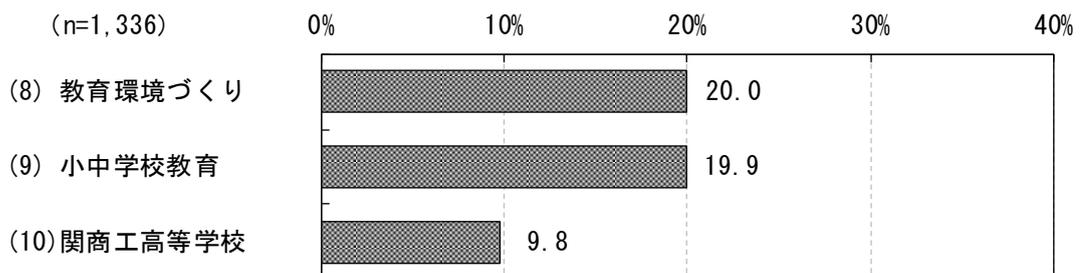
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(10) 関商工高等学校」が23.3%、「(8) 教育環境づくり」が23.1%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

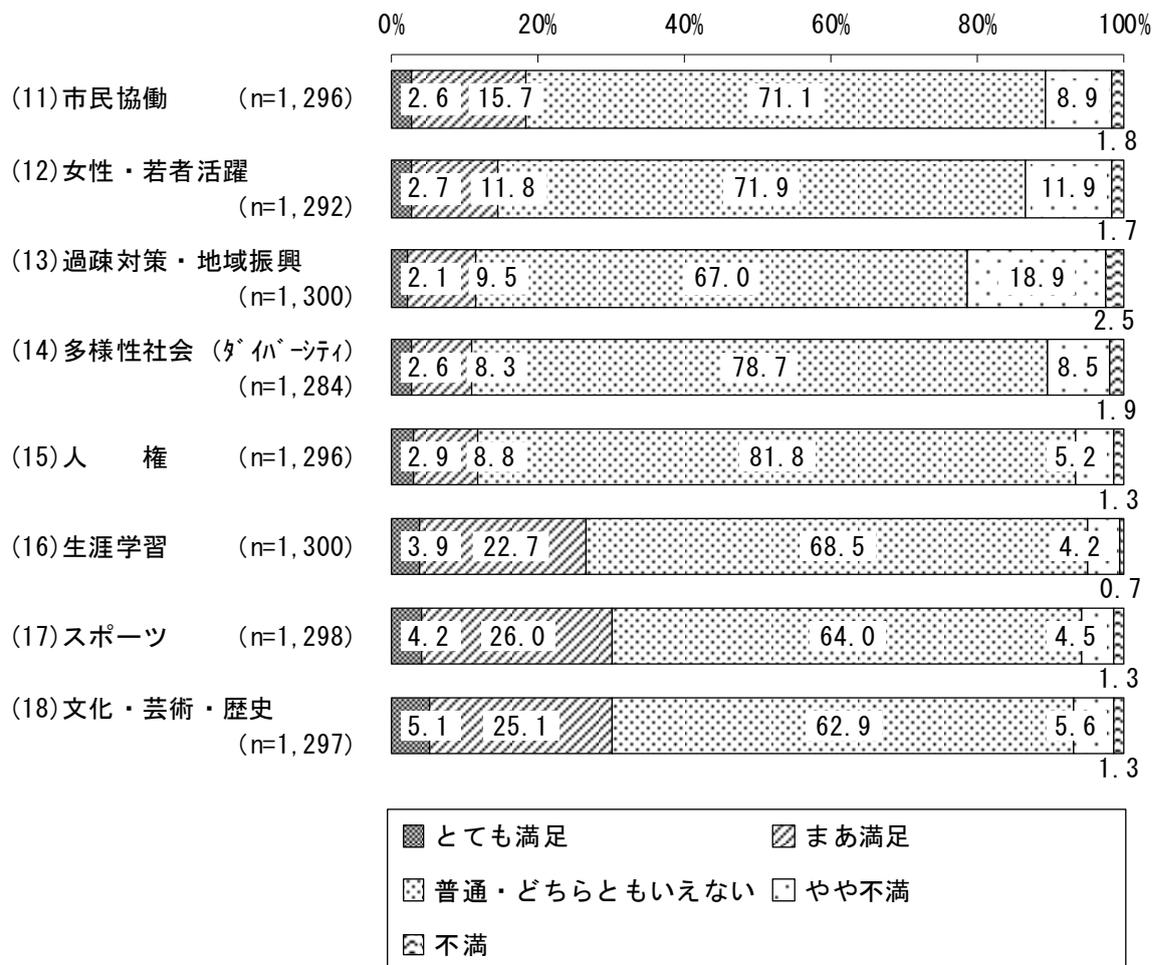
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(8) 教育環境づくり」が20.0%、「(9) 小中学校教育」が19.9%となっています。



## 【地域づくり・協働】

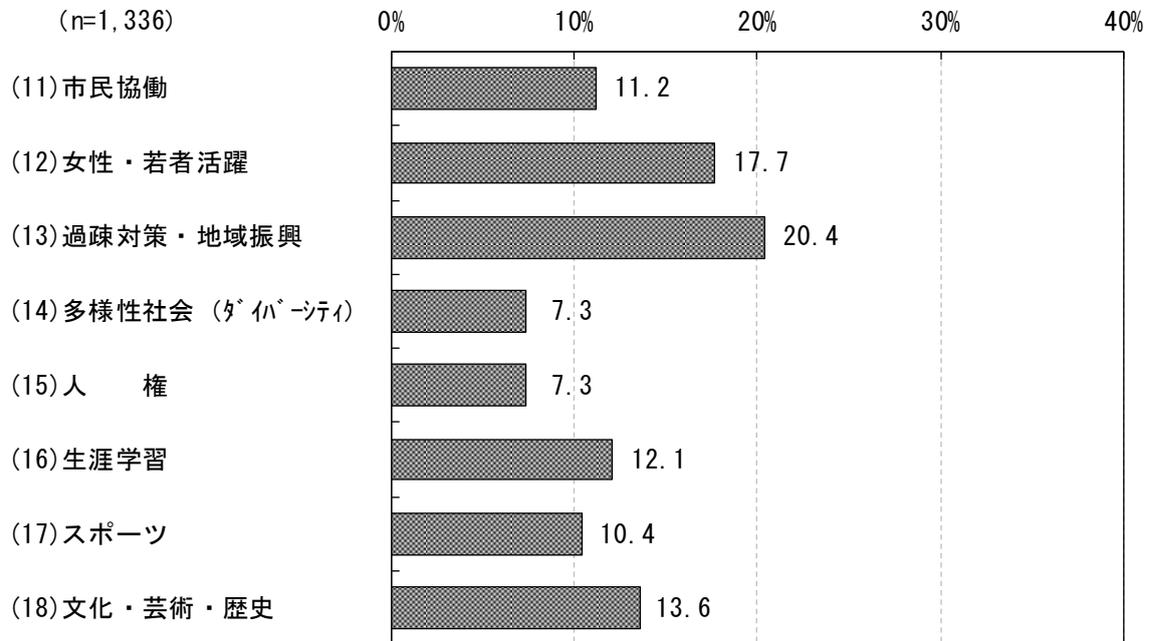
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(17)スポーツ」と「(18)文化・芸術・歴史」が30.2%と高く、次いで「(16)生涯学習」が26.6%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

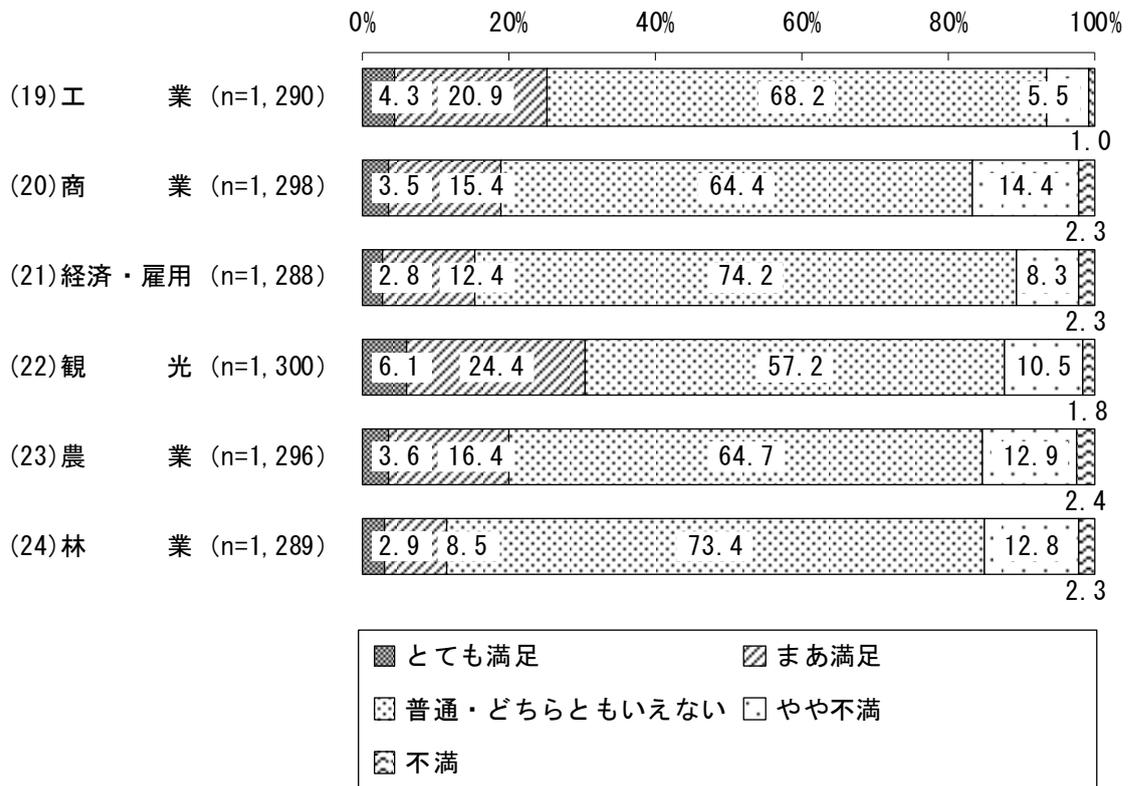
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(13)過疎対策・地域振興」が20.4%あり、次いで「(12)女性・若者活躍」が17.7%となっています。



## 【産業・経済・雇用】

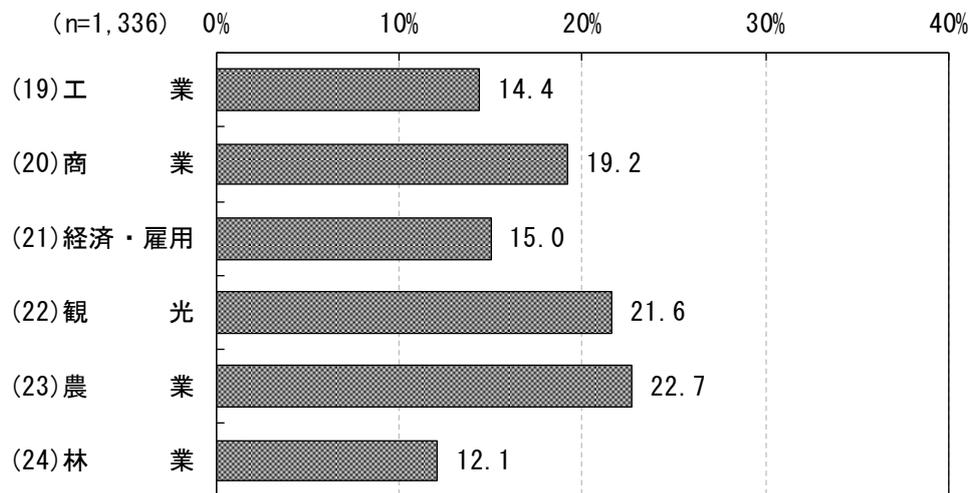
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(22)観光」が30.5%と高く、次いで「(19)工業」が25.2%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

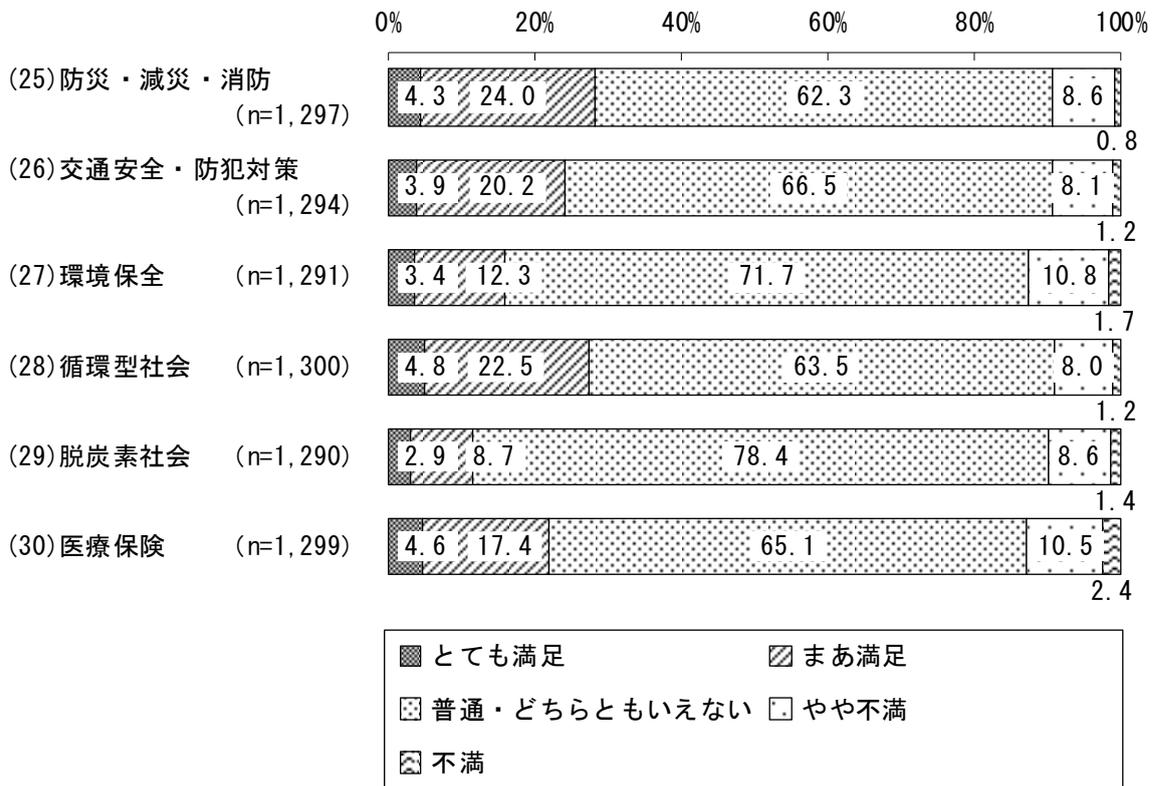
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(23)農業」が22.7%、「(22)観光」が21.6%となっています。



## 【防災・生活環境】

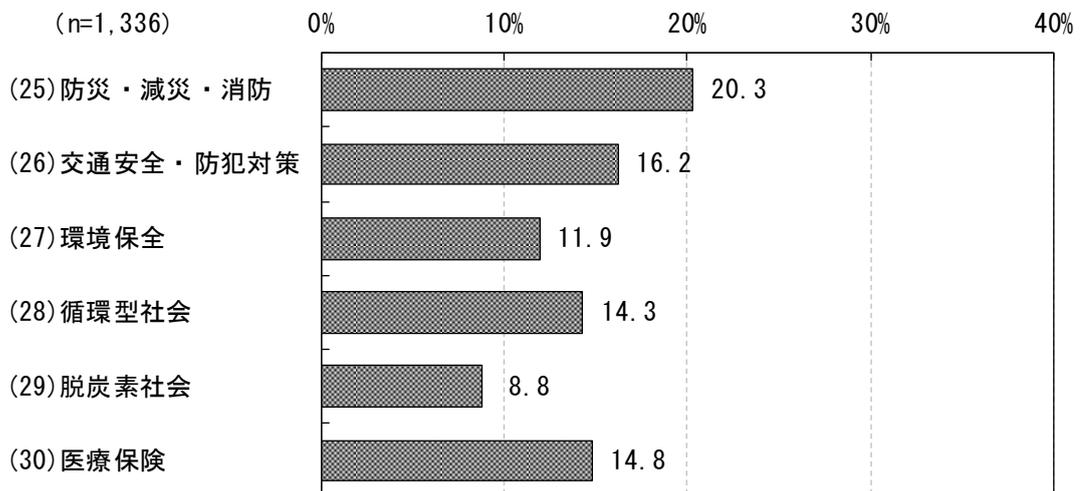
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(25)防災・減災・消防」が28.3%、「(28)循環型社会」が27.3%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

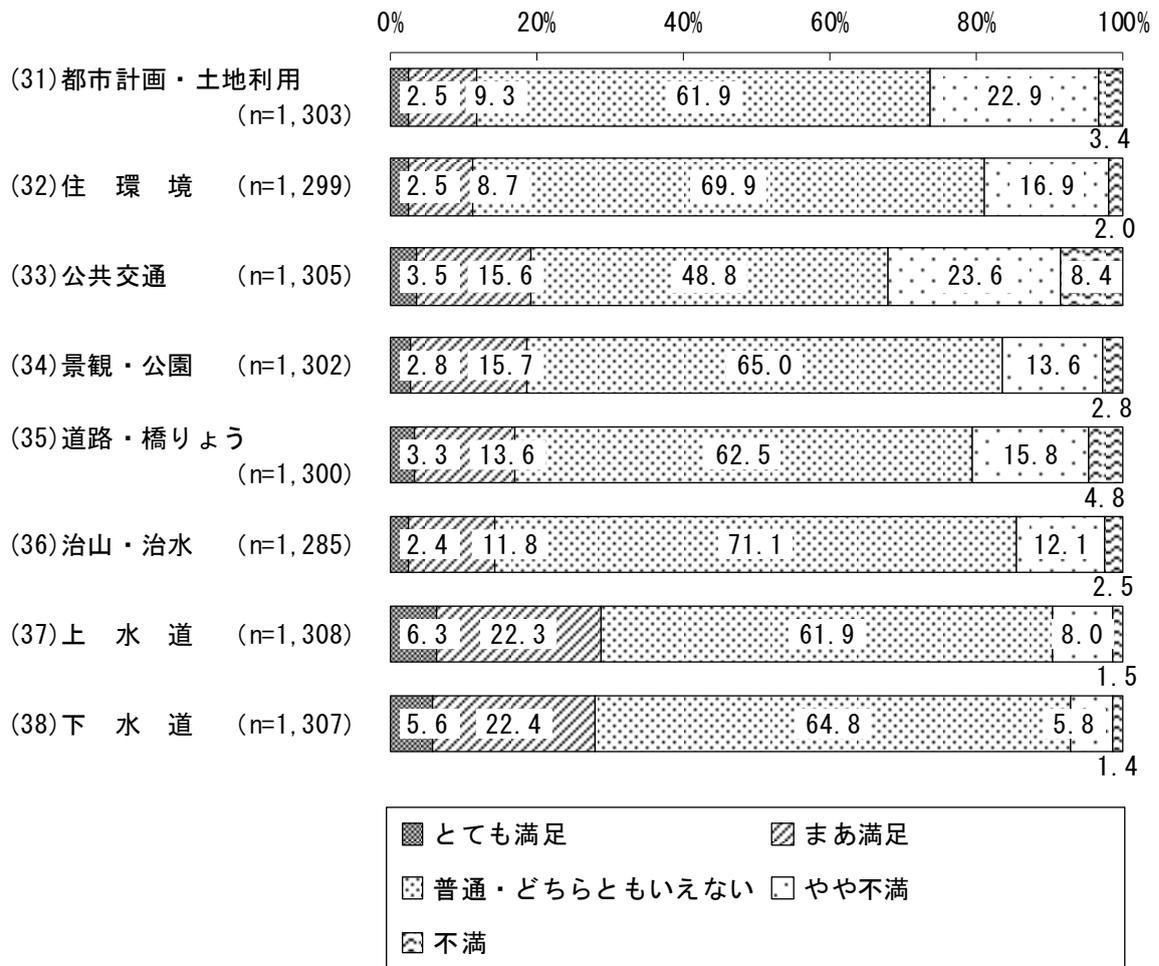
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(25)防災・減災・消防」が20.3%あり、次いで「(26)交通安全・防犯対策」が16.2%となっています。



## 【都市基盤整備・上下水道】

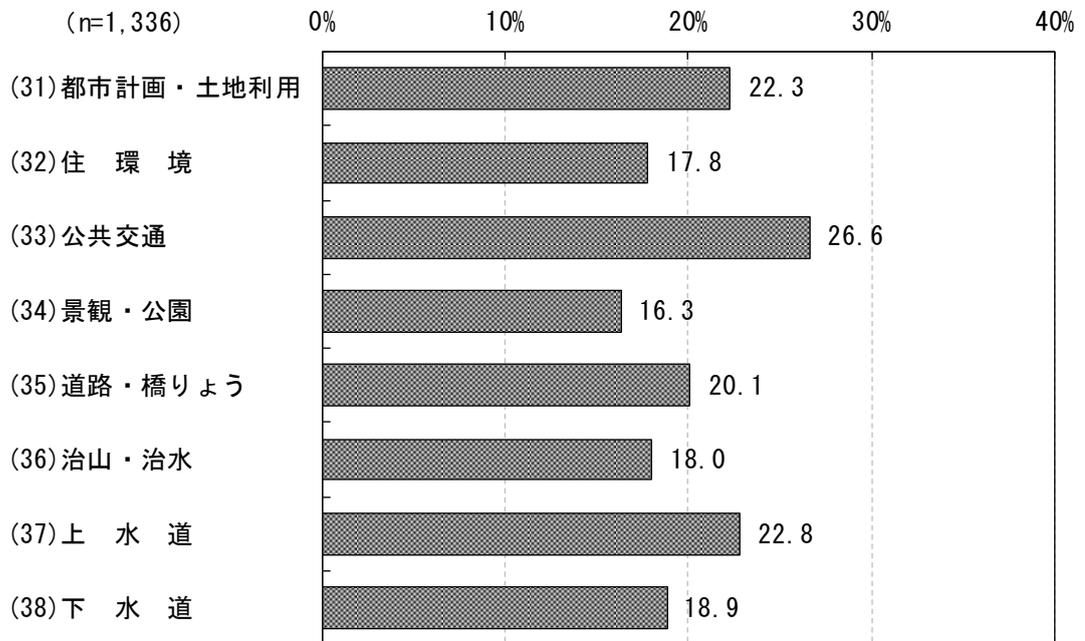
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(37)上水道」が28.6%、「(38)下水道」が28.0%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

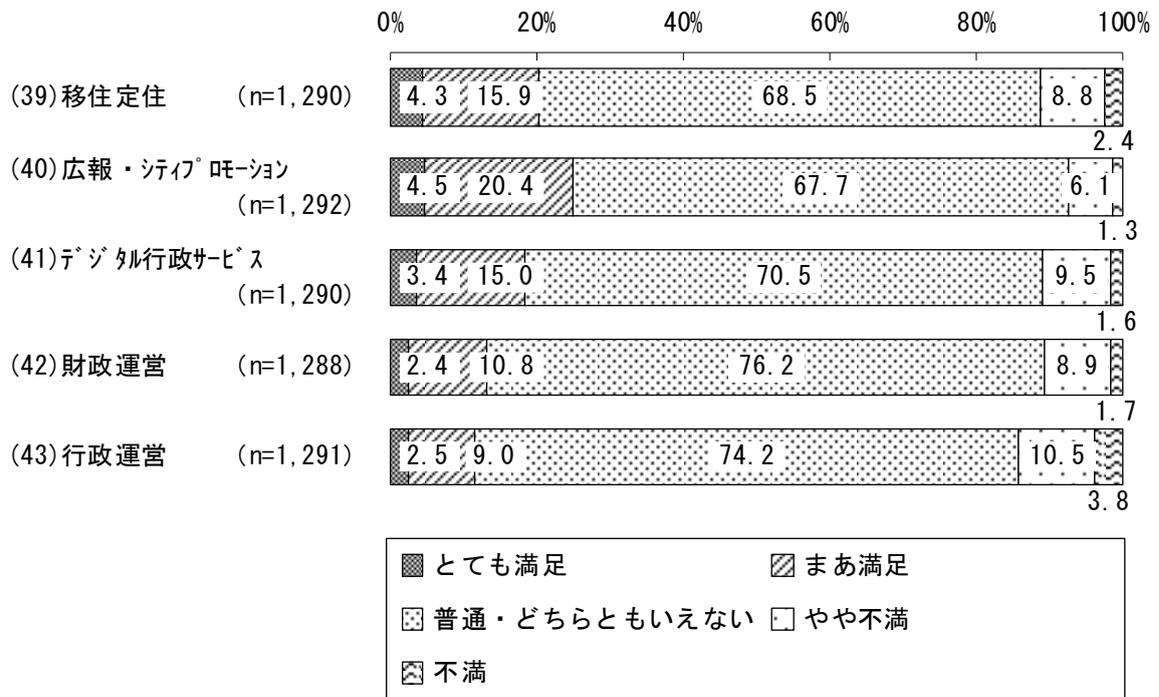
積極的に進めるべきだと思う施策については、「(33)公共交通」が26.6%あり、次いで「(37)上水道」が22.8%となっています。



## 【行財政・人口対策】

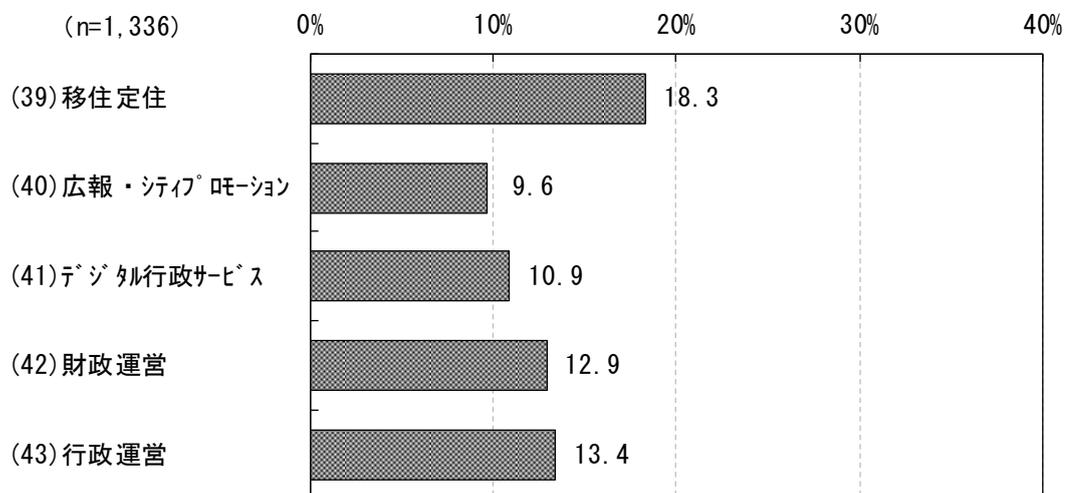
### 満足度

満足度（『満足』の割合）については、「(40)広報・シティプロモーション」が24.9%あり、次いで「(39)移住定住」が20.2%となっています。



### 積極的に進めるべきだと思う施策

積極的に進めるべきだと思う施策については、「(39)移住定住」が18.3%となっています。



## 満足度の得点化

「(1) 地域福祉・福祉医療」から「(43)行政運営」の施策の満足度を得点化すると、「(6) 健康」が3.42と最も高く、次いで「(1) 地域福祉・福祉医療」が3.37、「(5) 子育て支援」が3.32となります。

※「とても満足」を5点、「まあ満足」を4点、「普通・どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として点数化し、その合計値を回答者数で除して施策ごとの平均点を算出

| 施策                  | 満足度  |
|---------------------|------|
| (1) 地域福祉・福祉医療       | 3.37 |
| (2) 低所得者支援          | 3.02 |
| (3) 障がい者福祉          | 3.13 |
| (4) 高齢者福祉           | 3.14 |
| (5) 子育て支援           | 3.32 |
| (6) 健康              | 3.42 |
| (7) 地域医療            | 3.14 |
| (8) 教育環境づくり         | 3.16 |
| (9) 小中学校教育          | 3.08 |
| (10) 関商工高等学校        | 3.21 |
| (11) 市民協働           | 3.08 |
| (12) 女性・若者活躍        | 3.02 |
| (13) 過疎対策・地域振興      | 2.90 |
| (14) 多様性社会（ダイバーシティ） | 3.01 |
| (15) 人権             | 3.07 |
| (16) 生涯学習           | 3.25 |
| (17) スポーツ           | 3.27 |
| (18) 文化・芸術・歴史       | 3.27 |
| (19) 工業             | 3.22 |
| (20) 商業             | 3.03 |
| (21) 経済・雇用          | 3.05 |
| (22) 観光             | 3.22 |
| (23) 農業             | 3.06 |
| (24) 林業             | 2.97 |

| 施策                 | 満足度  |
|--------------------|------|
| (25) 防災・減災・消防      | 3.22 |
| (26) 交通安全・防犯対策     | 3.18 |
| (27) 環境保全          | 3.05 |
| (28) 循環型社会         | 3.22 |
| (29) 脱炭素社会         | 3.03 |
| (30) 医療保険          | 3.11 |
| (31) 都市計画・土地利用     | 2.85 |
| (32) 住環境           | 2.93 |
| (33) 公共交通          | 2.82 |
| (34) 景観・公園         | 3.02 |
| (35) 道路・橋りょう       | 2.95 |
| (36) 治山・治水         | 3.00 |
| (37) 上水道           | 3.24 |
| (38) 下水道           | 3.25 |
| (39) 移住定住          | 3.11 |
| (40) 広報・シティプロモーション | 3.21 |
| (41) デジタル行政サービス    | 3.09 |
| (42) 財政運営          | 3.03 |
| (43) 行政運営          | 2.96 |

## 年齢別にみた満足度

満足度（『満足』の割合）について年齢別にみると、10歳代と30歳代、40歳代では「(1) 地域福祉・福祉医療」、20歳代では「(22)観光」、50歳代と60歳代では「(6) 健康」、70歳以上では「(38)下水道」が最も高くなっています。なお、10歳代は、多くの施策でほかの年代に比べて高くなっています。

### 【年齢別①】

単位：%

| 区分               | (1)<br>地域福祉・福祉医療 | (2)<br>低所得者支援 | (3)<br>障がい者福祉 | (4)<br>高齢者福祉 | (5)<br>子育て支援 | (6)<br>健康 | (7)<br>地域医療 | (8)<br>教育環境づくり | (9)<br>小中学校教育 | (10)<br>関商工高等学校 | (11)<br>市民協働 |
|------------------|------------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-----------|-------------|----------------|---------------|-----------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 68.3             | 34.1          | 41.5          | 43.9         | 51.2         | 53.6      | 31.7        | 51.2           | 43.9          | 34.2            | 41.5         |
| 20歳代<br>(n=91)   | 31.9             | 17.6          | 22.0          | 19.8         | 31.9         | 41.8      | 27.5        | 23.1           | 17.6          | 26.4            | 17.6         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 55.3             | 18.6          | 25.4          | 26.8         | 53.7         | 53.0      | 32.9        | 33.6           | 27.6          | 23.2            | 23.1         |
| 40歳代<br>(n=179)  | 55.3             | 12.3          | 16.2          | 20.7         | 45.8         | 48.6      | 21.8        | 27.9           | 21.2          | 26.3            | 17.3         |
| 50歳代<br>(n=222)  | 39.7             | 17.1          | 21.6          | 27.5         | 39.2         | 44.6      | 27.5        | 30.7           | 21.2          | 24.3            | 19.4         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 24.3             | 6.8           | 14.0          | 23.4         | 24.7         | 34.4      | 16.9        | 13.7           | 9.0           | 19.5            | 12.9         |
| 70歳以上<br>(n=355) | 22.5             | 9.8           | 15.2          | 23.1         | 18.0         | 31.3      | 21.1        | 14.6           | 9.1           | 19.4            | 16.6         |

| 区分               | (12)<br>女性・若者活躍 | (13)<br>過疎対策・地域振興 | (14)<br>多様性社会<br>(ダイバーシティ) | (15)<br>人権 | (16)<br>生涯学習 | (17)<br>スポーツ | (18)<br>文化・芸術・歴史 | (19)<br>工業 | (20)<br>商業 | (21)<br>経済・雇用 | (22)<br>観光 |
|------------------|-----------------|-------------------|----------------------------|------------|--------------|--------------|------------------|------------|------------|---------------|------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 39.0            | 26.8              | 26.9                       | 41.4       | 51.2         | 46.4         | 43.9             | 48.8       | 43.9       | 41.4          | 43.9       |
| 20歳代<br>(n=91)   | 15.4            | 16.5              | 13.2                       | 18.7       | 26.4         | 35.2         | 34.1             | 29.7       | 27.5       | 20.9          | 46.2       |
| 30歳代<br>(n=134)  | 23.9            | 20.2              | 19.4                       | 17.9       | 30.6         | 38.0         | 41.0             | 33.6       | 31.3       | 23.1          | 42.6       |
| 40歳代<br>(n=179)  | 16.7            | 14.0              | 10.6                       | 11.8       | 30.2         | 34.1         | 36.3             | 28.5       | 28.5       | 16.8          | 33.5       |
| 50歳代<br>(n=222)  | 14.4            | 10.8              | 14.0                       | 13.5       | 26.6         | 33.8         | 34.7             | 30.2       | 18.9       | 18.5          | 32.0       |
| 60歳代<br>(n=308)  | 8.1             | 6.5               | 7.7                        | 6.8        | 18.8         | 21.1         | 18.8             | 15.6       | 9.7        | 7.8           | 20.5       |
| 70歳以上<br>(n=355) | 10.4            | 7.9               | 4.8                        | 5.9        | 25.1         | 24.7         | 24.2             | 18.6       | 10.4       | 9.3           | 23.7       |

## 【年齢別②】

単位：%

| 区分               | (23)<br>農業 | (24)<br>林業 | (25)<br>防災・減災・消防 | (26)<br>交通安全・防犯対策 | (27)<br>環境保全 | (28)<br>循環型社会 | (29)<br>脱炭素社会 | (30)<br>医療保険 | (31)<br>都市計画・土地利用 | (32)<br>住環境 | (33)<br>公共交通 |
|------------------|------------|------------|------------------|-------------------|--------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|-------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 51.3       | 26.9       | 51.3             | 46.4              | 36.6         | 39.0          | 34.1          | 48.8         | 34.2              | 29.3        | 31.7         |
| 20歳代<br>(n=91)   | 34.1       | 16.5       | 35.2             | 26.4              | 19.8         | 27.5          | 13.2          | 23.1         | 17.6              | 13.2        | 20.9         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 29.1       | 19.4       | 33.6             | 32.8              | 20.9         | 29.9          | 17.2          | 24.7         | 20.9              | 16.4        | 23.9         |
| 40歳代<br>(n=179)  | 24.6       | 12.9       | 29.7             | 26.8              | 15.1         | 23.5          | 10.6          | 22.4         | 14.5              | 14.0        | 16.2         |
| 50歳代<br>(n=222)  | 21.2       | 10.9       | 32.5             | 28.9              | 19.8         | 30.2          | 15.3          | 17.6         | 13.6              | 14.0        | 19.9         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 11.3       | 7.8        | 20.2             | 14.6              | 10.4         | 20.1          | 8.4           | 15.0         | 7.8               | 7.8         | 14.6         |
| 70歳以上<br>(n=355) | 11.8       | 7.1        | 23.1             | 19.5              | 11.0         | 29.0          | 6.2           | 24.3         | 4.5               | 5.4         | 18.8         |

| 区分               | (34)<br>景観・公園 | (35)<br>道路・橋りょう | (36)<br>治山・治水 | (37)<br>上水道 | (38)<br>下水道 | (39)<br>移住定住 | (40)<br>広報・シティプロモーション | (41)<br>デジタル行政サービス | (42)<br>財政運営 | (43)<br>行政運営 |
|------------------|---------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-----------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 34.1          | 31.7            | 39.0          | 48.8        | 39.0        | 46.4         | 39.1                  | 43.9               | 34.2         | 29.3         |
| 20歳代<br>(n=91)   | 16.5          | 20.9            | 15.4          | 33.0        | 27.5        | 22.0         | 25.3                  | 29.7               | 15.4         | 14.3         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 31.4          | 22.4            | 16.4          | 24.6        | 23.2        | 32.9         | 32.1                  | 26.8               | 20.2         | 15.0         |
| 40歳代<br>(n=179)  | 17.3          | 19.0            | 15.1          | 26.8        | 23.5        | 28.5         | 21.2                  | 16.8               | 12.9         | 9.5          |
| 50歳代<br>(n=222)  | 23.5          | 20.3            | 17.1          | 29.3        | 28.4        | 22.1         | 28.9                  | 22.1               | 13.1         | 11.8         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 12.6          | 11.0            | 9.4           | 22.4        | 23.4        | 12.6         | 17.8                  | 10.0               | 7.4          | 7.1          |
| 70歳以上<br>(n=355) | 13.8          | 12.6            | 10.5          | 29.8        | 32.4        | 10.9         | 22.8                  | 12.9               | 11.3         | 10.7         |

### 年齢別にみた積極的に進めるべきだと思ふ施策

積極的に進めるべきだと思ふ施策を年齢別にみると、40歳代以下では「(5) 子育て支援」、50歳代以上では「(4) 高齢者福祉」が最も高くなっています。

#### 【年齢別①】

単位：%

| 区分               | (1)<br>地域福祉・福祉医療 | (2)<br>低所得者支援 | (3)<br>障がい者福祉 | (4)<br>高齢者福祉 | (5)<br>子育て支援 | (6)<br>健康 | (7)<br>地域医療 | (8)<br>教育環境づくり | (9)<br>小中学校教育 | (10)<br>関商工高等学校 | (11)<br>市民協働 |
|------------------|------------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-----------|-------------|----------------|---------------|-----------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 39.0             | 14.6          | 17.1          | 24.4         | 41.5         | 22.0      | 14.6        | 29.3           | 29.3          | 14.6            | 7.3          |
| 20歳代<br>(n=91)   | 26.4             | 17.6          | 17.6          | 15.4         | 45.1         | 30.8      | 22.0        | 24.2           | 22.0          | 15.4            | 11.0         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 29.1             | 17.2          | 23.1          | 20.9         | 50.0         | 30.6      | 21.6        | 30.6           | 24.6          | 9.7             | 9.0          |
| 40歳代<br>(n=179)  | 28.5             | 17.3          | 17.9          | 29.6         | 39.7         | 27.9      | 19.0        | 24.0           | 27.4          | 13.4            | 8.9          |
| 50歳代<br>(n=222)  | 23.9             | 12.2          | 18.5          | 32.9         | 31.5         | 24.3      | 23.9        | 17.1           | 16.7          | 9.9             | 10.4         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 24.0             | 19.5          | 18.8          | 28.6         | 28.2         | 22.4      | 20.1        | 18.8           | 17.9          | 8.1             | 12.7         |
| 70歳以上<br>(n=355) | 18.6             | 14.6          | 14.4          | 26.5         | 19.4         | 17.5      | 16.9        | 14.9           | 16.9          | 7.6             | 13.0         |

| 区分               | (12)<br>女性・若者活躍 | (13)<br>過疎対策・地域振興 | (14)<br>多様性社会<br>(ダイバーシティ) | (15)<br>人権 | (16)<br>生涯学習 | (17)<br>スポーツ | (18)<br>文化・芸術・歴史 | (19)<br>工業 | (20)<br>商業 | (21)<br>経済・雇用 | (22)<br>観光 |
|------------------|-----------------|-------------------|----------------------------|------------|--------------|--------------|------------------|------------|------------|---------------|------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 14.6            | 22.0              | 9.8                        | 14.6       | 24.4         | 12.2         | 12.2             | 14.6       | 19.5       | 14.6          | 22.0       |
| 20歳代<br>(n=91)   | 23.1            | 17.6              | 13.2                       | 7.7        | 11.0         | 15.4         | 17.6             | 16.5       | 20.9       | 15.4          | 27.5       |
| 30歳代<br>(n=134)  | 20.1            | 21.6              | 9.0                        | 6.7        | 11.2         | 13.4         | 15.7             | 15.7       | 17.2       | 11.9          | 23.9       |
| 40歳代<br>(n=179)  | 22.3            | 22.9              | 6.1                        | 5.0        | 11.7         | 7.8          | 11.2             | 20.1       | 25.1       | 19.6          | 26.8       |
| 50歳代<br>(n=222)  | 18.5            | 22.5              | 5.9                        | 5.4        | 8.1          | 12.6         | 17.6             | 15.8       | 23.4       | 19.8          | 22.5       |
| 60歳代<br>(n=308)  | 16.6            | 21.1              | 9.1                        | 9.4        | 16.2         | 10.7         | 13.0             | 13.0       | 17.9       | 15.6          | 19.5       |
| 70歳以上<br>(n=355) | 14.4            | 17.5              | 5.1                        | 7.3        | 10.4         | 7.6          | 11.5             | 11.3       | 15.5       | 10.7          | 18.0       |

## 【年齢別②】

単位：%

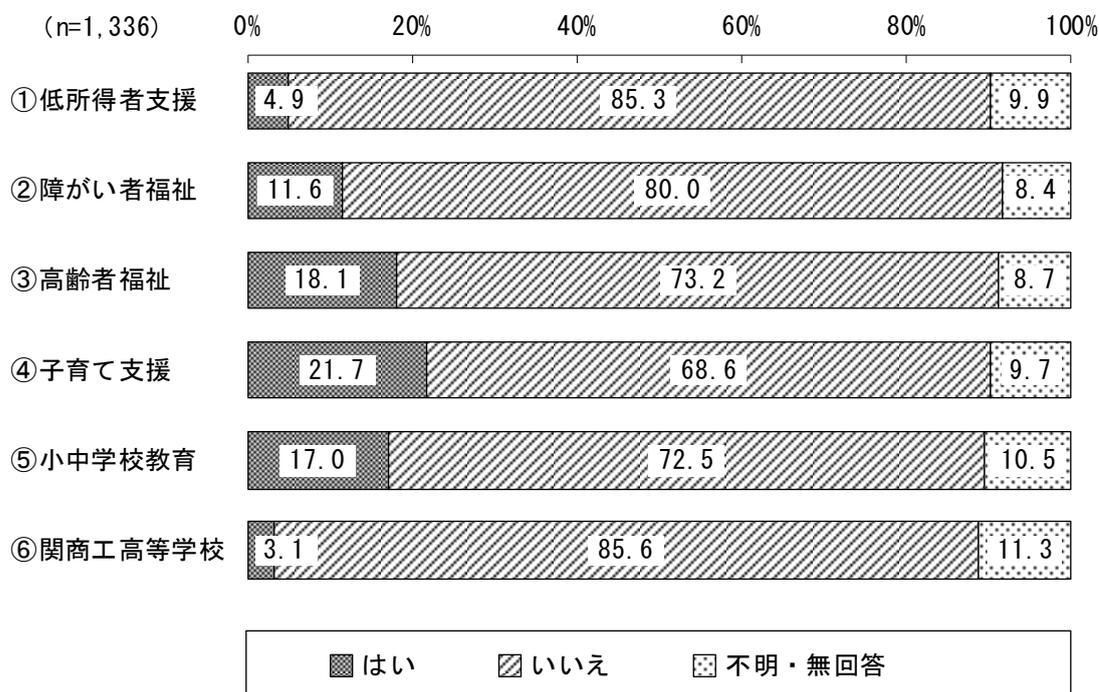
| 区分               | (23)<br>農業 | (24)<br>林業 | (25)<br>防災・減災・消防 | (26)<br>交通安全・防犯対策 | (27)<br>環境保全 | (28)<br>循環型社会 | (29)<br>脱炭素社会 | (30)<br>医療保険 | (31)<br>都市計画・土地利用 | (32)<br>住環境 | (33)<br>公共交通 |
|------------------|------------|------------|------------------|-------------------|--------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|-------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 24.4       | 12.2       | 17.1             | 19.5              | 14.6         | 14.6          | 12.2          | 14.6         | 34.1              | 24.4        | 34.1         |
| 20歳代<br>(n=91)   | 23.1       | 11.0       | 20.9             | 15.4              | 14.3         | 16.5          | 11.0          | 22.0         | 23.1              | 19.8        | 28.6         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 22.4       | 11.9       | 20.1             | 14.9              | 9.0          | 11.2          | 7.5           | 10.4         | 20.1              | 17.9        | 26.9         |
| 40歳代<br>(n=179)  | 28.5       | 12.8       | 20.7             | 19.0              | 9.5          | 13.4          | 5.0           | 12.3         | 20.1              | 17.9        | 34.1         |
| 50歳代<br>(n=222)  | 19.8       | 12.6       | 18.9             | 16.2              | 10.8         | 10.8          | 6.3           | 14.0         | 23.0              | 15.8        | 30.2         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 22.4       | 13.6       | 22.7             | 17.2              | 14.6         | 18.2          | 10.1          | 14.9         | 23.7              | 19.5        | 26.0         |
| 70歳以上<br>(n=355) | 22.0       | 10.7       | 19.2             | 14.6              | 11.8         | 14.4          | 10.7          | 16.3         | 21.4              | 16.6        | 20.0         |

| 区分               | (34)<br>景観・公園 | (35)<br>道路・橋りょう | (36)<br>治山・治水 | (37)<br>上水道 | (38)<br>下水道 | (39)<br>移住定住 | (40)<br>広報・シティプロモーション | (41)<br>デジタル行政サービス | (42)<br>財政運営 | (43)<br>行政運営 |
|------------------|---------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-----------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 10歳代<br>(n=41)   | 14.6          | 22.0            | 7.3           | 12.2        | 12.2        | 26.8         | 12.2                  | 12.2               | 12.2         | 9.8          |
| 20歳代<br>(n=91)   | 18.7          | 22.0            | 18.7          | 16.5        | 13.2        | 23.1         | 15.4                  | 14.3               | 12.1         | 16.5         |
| 30歳代<br>(n=134)  | 27.6          | 22.4            | 20.1          | 23.1        | 20.1        | 28.4         | 14.9                  | 16.4               | 17.9         | 14.2         |
| 40歳代<br>(n=179)  | 16.2          | 21.2            | 16.8          | 22.3        | 17.3        | 19.0         | 9.5                   | 8.4                | 11.7         | 10.6         |
| 50歳代<br>(n=222)  | 15.3          | 21.6            | 20.3          | 25.2        | 22.5        | 19.4         | 9.0                   | 10.4               | 11.7         | 11.7         |
| 60歳代<br>(n=308)  | 16.9          | 20.8            | 19.2          | 25.0        | 20.5        | 15.6         | 10.1                  | 11.4               | 12.7         | 13.6         |
| 70歳以上<br>(n=355) | 12.1          | 16.6            | 16.3          | 22.3        | 18.0        | 14.1         | 5.9                   | 9.0                | 13.0         | 15.2         |

問7 あなた、またはあなたの家族は、次の施策に関わって（サービスを受けて）いますか。（それぞれに単数回答）

| 施策       | 主な取組   |
|----------|--|
| ①低所得者支援  | 生活困窮者に対する相談、生活困窮者の就労支援                                       |
| ②障がい者福祉  | 障がい者・障がい児の相談支援、障がい福祉サービス・障がい児支援、障がい者の就労支援                    |
| ③高齢者福祉   | 介護サービス（デイサービス、ホームヘルプなど）、高齢者の健康増進、高齢者の社会参加                    |
| ④子育て支援   | せきっこ未来応援券、保育サービス・幼児教育、子育てに関する相談、一時預かりや延長保育、子育てサロンなどの親と子の交流の場 |
| ⑤小中学校教育  | 小学校・中学校における学校教育、STEAM教育、不登校となっている児童・生徒への支援                   |
| ⑥関商工高等学校 | 関商工における高等学校教育、関商工における産業教育、関商工の施設整備                           |

「はい」（関わっている（サービスを受けている））の割合は、「④子育て支援」が21.7%と最も高く、次いで「③高齢者福祉」が18.1%となっています。



## (4) まちづくりへの意識と取組について

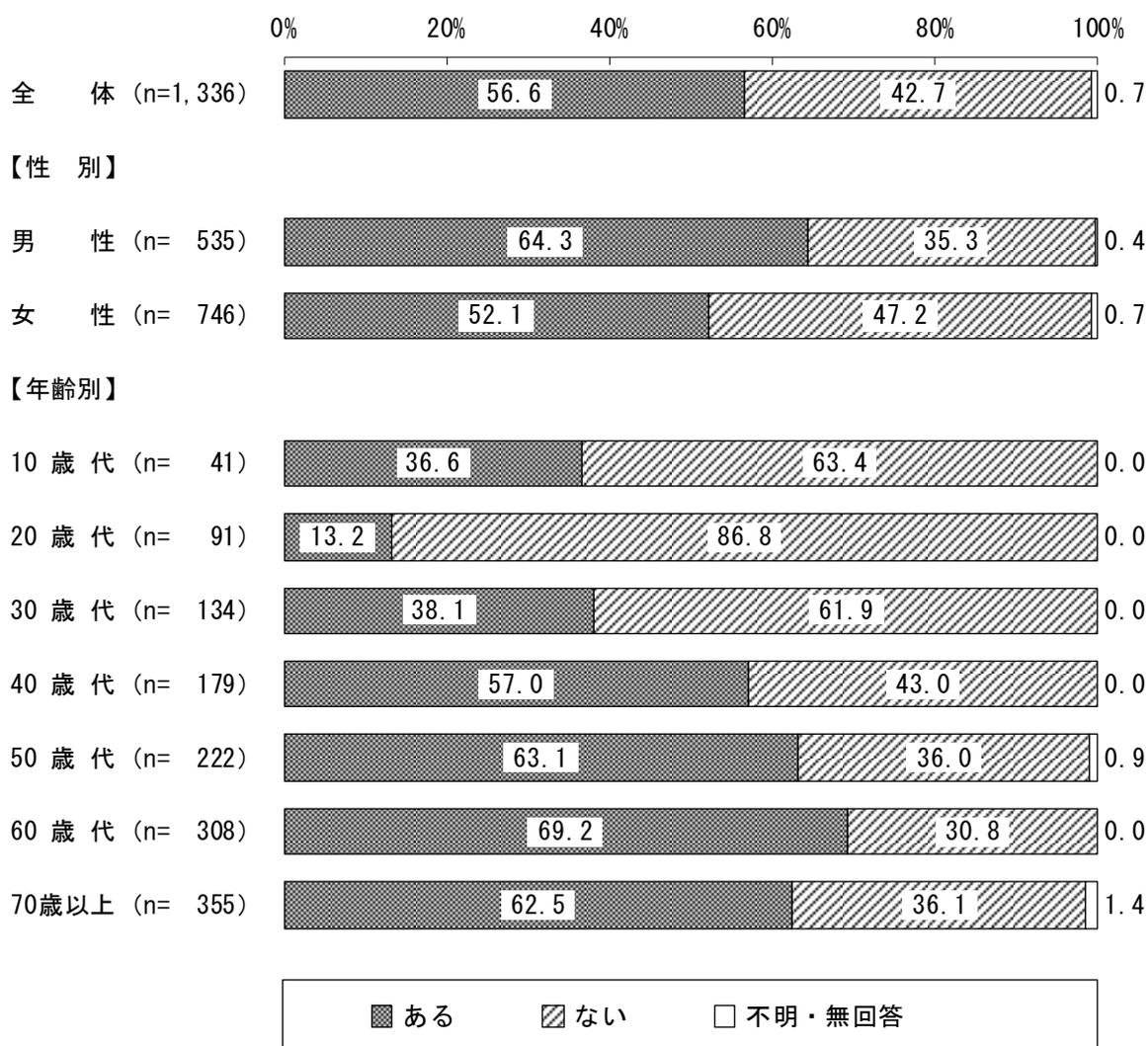
### ① 地域づくり・協働について

**問 8 あなたは、過去1年間に地域活動（地域委員会や自治会の活動など）に参加したことがありますか。（単数回答）**

過去1年間の地域活動への参加の有無については、「ある」が56.6%、「ない」が42.7%となっています。

性別にみると、「ある」は、女性に比べて男性が12.2ポイント高くなっています。

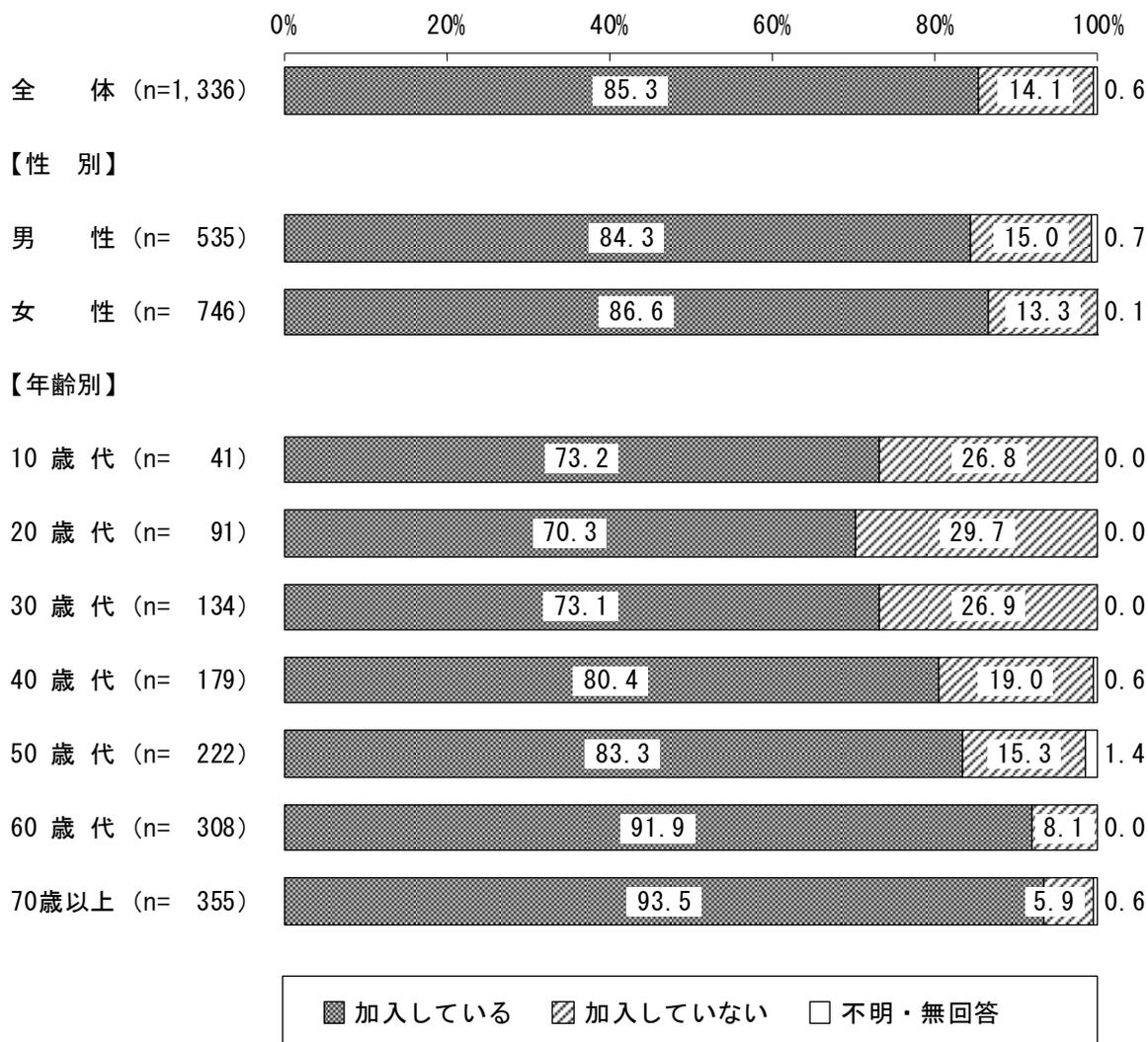
年齢別にみると、年齢が低いほど「ある」は低い傾向にありますが、20歳代が13.2%と顕著に低くなっています。



### 問9 あなたの世帯は、自治会に加入していますか。(単数回答)

自治会への加入状況については、「加入している」が85.3%、「加入していない」が14.1%となっています。

年齢別にみると、「加入している」は、いずれの年代も7割を上回り高く、60歳代以上では9割以上を占めて非常に高くなっています。



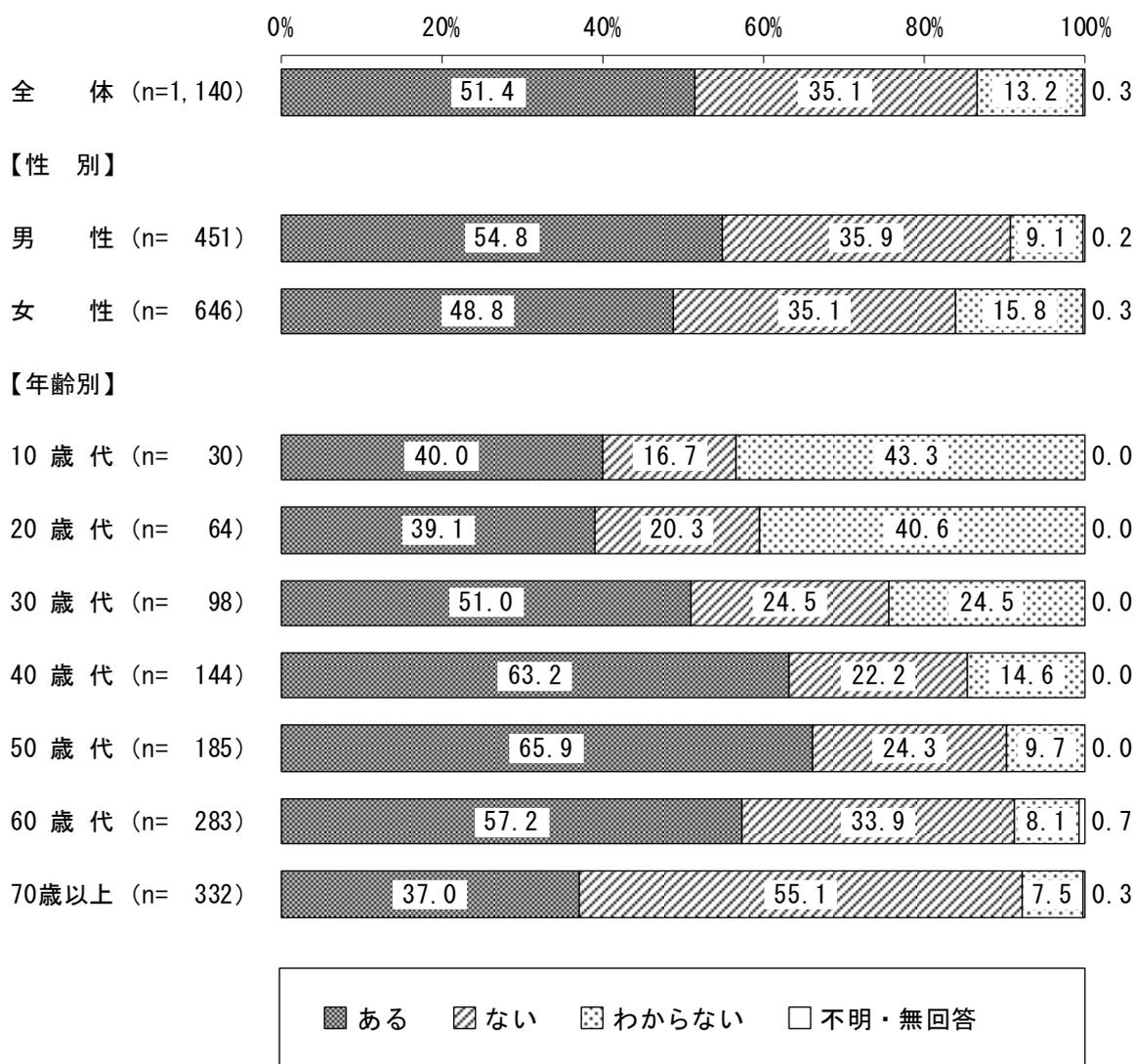
## 問10 自治会に加入していることで負担だと感じることがありますか。（単数回答）

### ※問9で「加入している」を選択した人への質問

自治会に加入していることで負担に感じることがあるかどうかについては、「ある」が51.4%、「ない」が35.1%となっています。

性別にみると、「ある」は、女性に比べて男性が6.0ポイント高くなっています。

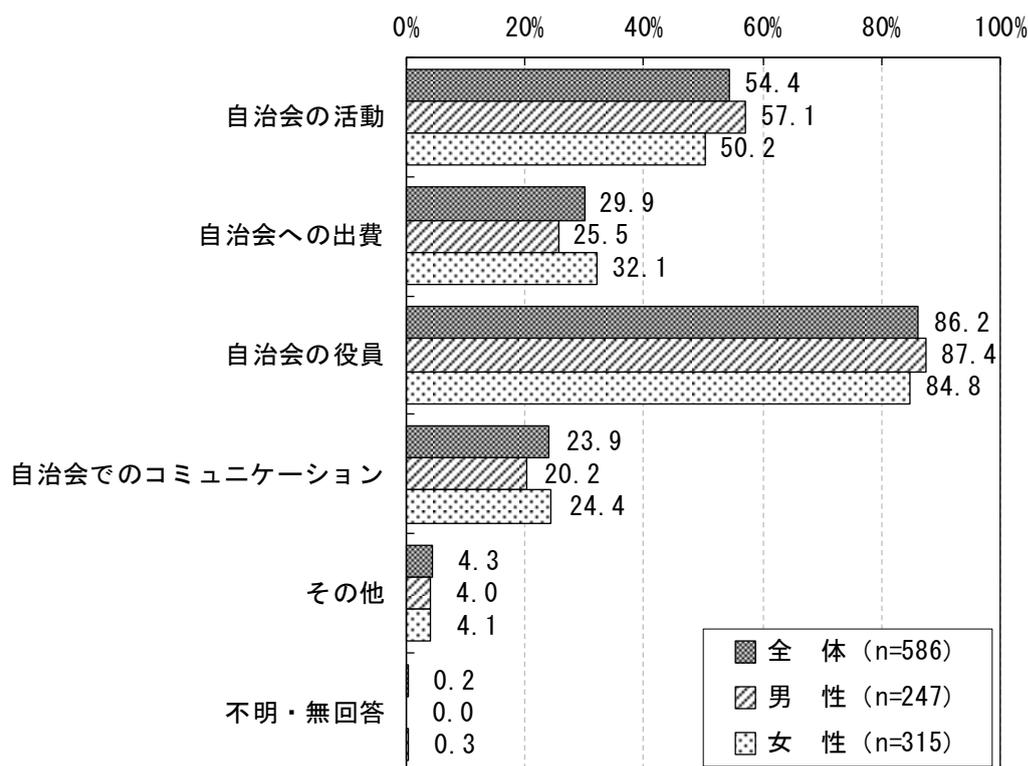
年齢別にみると、「ある」は、40歳代と50歳代で6割を上回り、ほかの年代に比べて高くなっています。



問11 自治会に加入していることで、特に負担に感じることは何ですか。（複数回答）

※問10で「ある」を選択した人への質問

自治会に加入していることで負担に感じることについては、「自治会の役員」が86.2%と最も高く、次いで「自治会の活動」が54.4%となっています。



【年齢別】

単位：%

| 区分            | 自治会の活動 | 自治会への出費 | 自治会の役員 | 自治会でのコミュニケーション | その他 | 不明・無回答 |
|---------------|--------|---------|--------|----------------|-----|--------|
| 全体 (n=586)    | 54.4   | 29.9    | 86.2   | 23.9           | 4.3 | 0.2    |
| 10歳代 (n=12)   | 41.7   | 33.3    | 83.3   | 41.7           | 0.0 | 0.0    |
| 20歳代 (n=25)   | 80.0   | 48.0    | 80.0   | 48.0           | 8.0 | 0.0    |
| 30歳代 (n=50)   | 66.0   | 56.0    | 80.0   | 42.0           | 2.0 | 0.0    |
| 40歳代 (n=91)   | 53.8   | 38.5    | 92.3   | 26.4           | 3.3 | 0.0    |
| 50歳代 (n=122)  | 59.0   | 18.0    | 87.7   | 22.1           | 8.2 | 0.0    |
| 60歳代 (n=162)  | 48.1   | 24.1    | 89.5   | 17.9           | 2.5 | 0.0    |
| 70歳以上 (n=123) | 49.6   | 27.6    | 79.7   | 17.1           | 4.1 | 0.8    |

【「その他」の主な内容】

| 主な内容                 | 件数 |
|----------------------|----|
| ・自治会役員や民生委員等の選出      | 3  |
| ・自治会役員の仕事が多過ぎる       | 2  |
| ・高齢のため負担             | 2  |
| ・世代間の軋轢や考えの隔たり       | 2  |
| ・自治会活動への強制や罰則        | 2  |
| ・無駄な行事や慣例を続ける        | 2  |
| ・会計の使途が不明だが、誰も指摘できない | 1  |
| ・自治会運営の複雑化           | 1  |
| ・苦情への電話対応            | 1  |
| ・仕事が忙しくて参加できない       | 1  |
| ・自治会活動と時間が合わない       | 1  |
| ・加入していること自体が精神的に負担   | 1  |

## ② 公共施設の使用料について

※公共施設の使用料とは、ふれあいセンター、体育館、グラウンド、プール、文化会館、総合福祉会館などを使用する際の使用料ほか、関鍛冶伝承館などの入館料なども含む

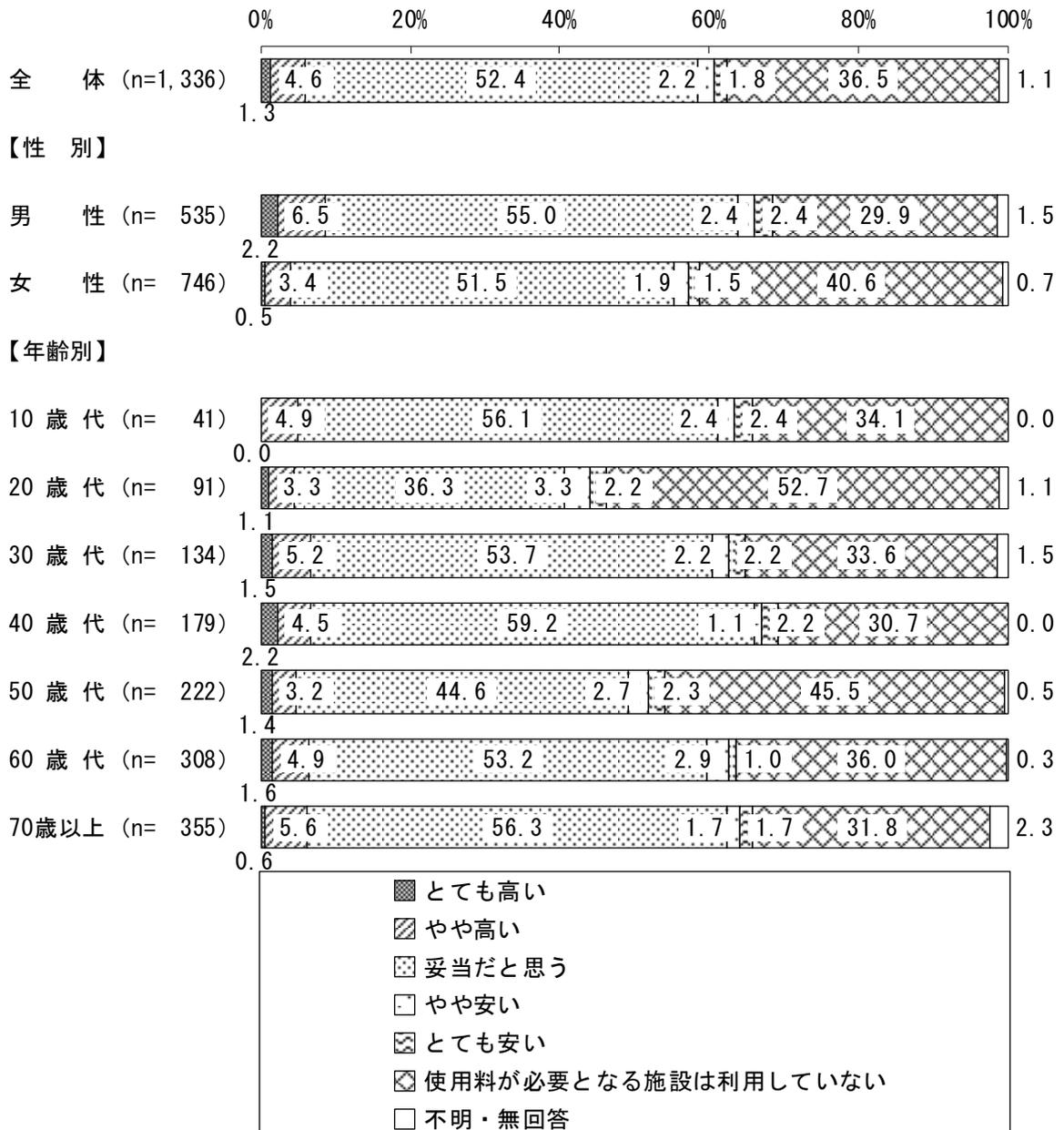
### 問12 関市内の公共施設の使用料についてどのように感じていますか。（単数回答）

※問12の選択肢は以下のように区分（他の文中においても同様）

- ・『高い』：「とても高い」と「やや高い」の合計
- ・『安い』：「とても安い」と「やや安い」の合計

関市内の公共施設の使用料については、「妥当だと思う」が52.4%と最も高く、『高い』が5.9%、『安い』が4.0%、対象の施設を「利用していない」が36.5%となっています。

年齢別にみると、20歳代と50歳代では、対象の施設を「利用していない」が最も高く、「妥当だと思う」が5割を下回っています。



**問13 普段利用する関市内の公共施設はどのような施設ですか。施設名と『高い』と考える理由を記入してください。（記述回答）**

※問12で『高い』を選択した人への質問

【記述内容】

| 施設名                  | 件数 | 主な理由  |
|----------------------|----|---|
| わかくさプラザ              | 12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いから借りられない</li> <li>・プールと筋トレ器具の利用料金の値上がり</li> <li>・温水プールの入場料にしては高過ぎる</li> <li>・暖房費が高い</li> <li>・エアコン代が高過ぎて暑くてもエアコンを入れられない</li> <li>・ほかの人と話しながら使用されている方がいるので直ぐに利用できない</li> </ul> |
| 体育館                  | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料が急に高くなった</li> <li>・子どもたちが利用するには少し高い</li> <li>・エアコン代が高い</li> <li>・一人だけだと利用できない</li> <li>・公園にバスケットゴールがないため、公共施設を使用してお金を使わないといけない</li> </ul>                                    |
| 関鍛冶伝承館               | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かなりの入場料がかかる</li> <li>・市民でも他市の人と同じ料金なのはおかしい</li> <li>・市民は無料にしてほしい</li> <li>・展示物が少ない</li> </ul>   |
| プール                  | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料が高い</li> <li>・家族で行こうと思うと出費がかさむ</li> <li>・大人料金</li> </ul>   |
| ふれあいセンター             | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設代は妥当、エアコン代が高い</li> <li>・大人と子どもの差</li> <li>・地域の小さな集いの場（趣味の会、地域役員の相談会など）のために、より安価に利用できるように</li> </ul>   |
| 学習センター               | 3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人では使えない</li> <li>・暖房費</li> <li>・アリーナの使用料が高過ぎ</li> </ul>  |
| 公民館                  | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいセンターと比べると少し高い</li> </ul>  |
| 中池テニスコート             | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数をたくさん集めないといけない</li> </ul>   |
| すべて                  | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は安いのが0円が望ましい</li> <li>・空調代が別途かかる</li> </ul>   |
| 関市文化会館               | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークルで借りようとしたとき、高くて借りることが難しかった</li> </ul>  |
| かわせみスタジアム<br>（陸上競技場） | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイター使用料が高過ぎ、中学生以下の場合には減免すべき</li> </ul>  |
| クリーンプラザ              | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> </ul>   |

問14 普段利用する関市内の公共施設はどのような施設ですか。施設名と『安い』と考える理由を記入してください。（記述回答）

※問12で『安い』を選択した人への質問

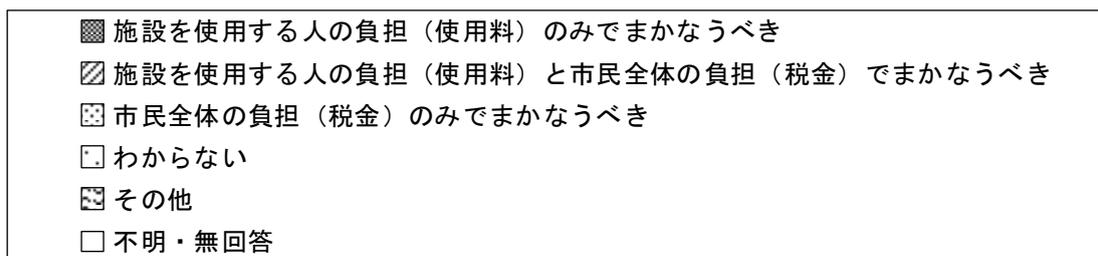
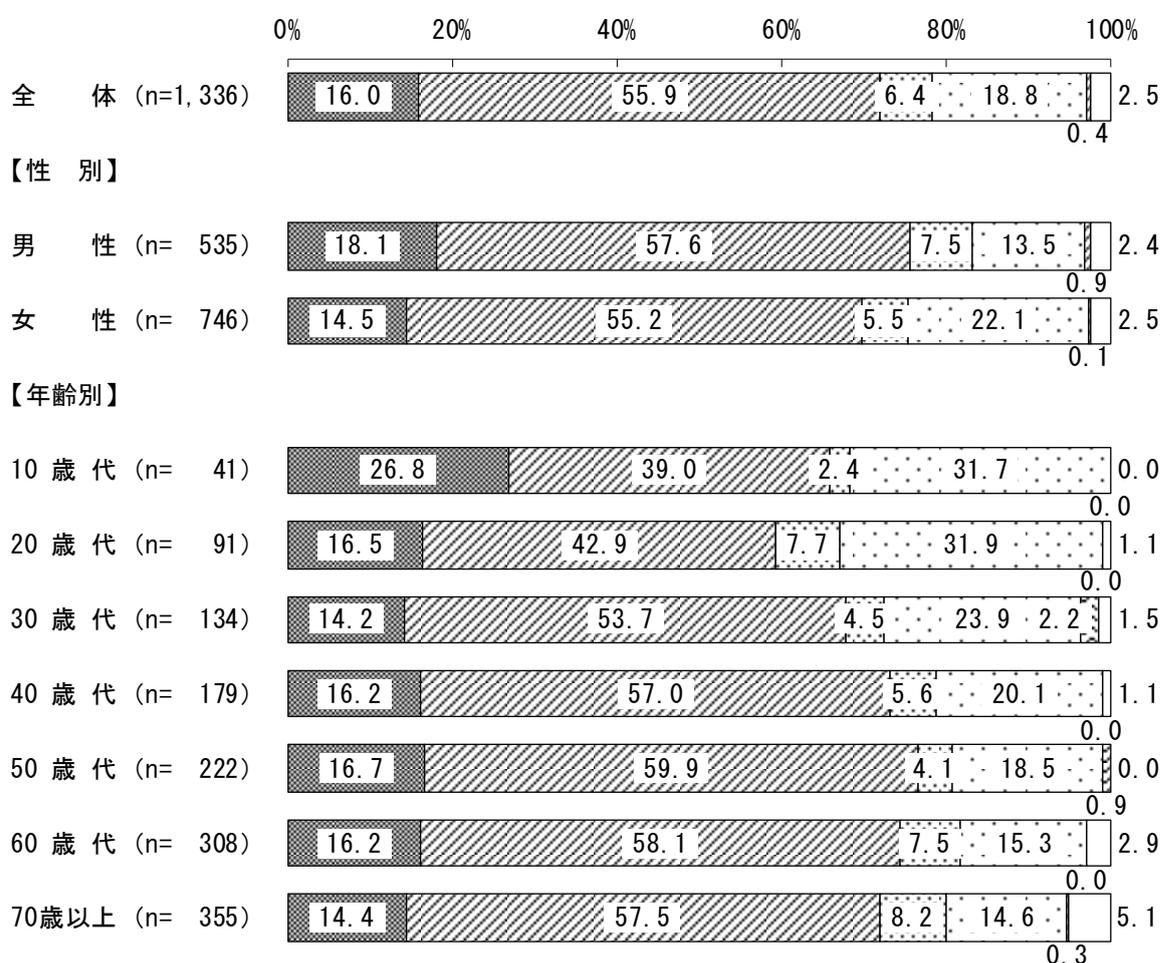
【記述内容】

| 施設名       | 件数 | 主な理由   |
|-----------|----|--|
| わかくさプラザ   | 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても快適</li> <li>・広くてきれいなのに安い</li> <li>・きれいで冷暖房完備なのに安い</li> <li>・無料や安価、駐車場が広い、他市と比べて充実している</li> <li>・近隣施設と比べても安い、市民でなくても同じ金額</li> <li>・トレーニング機材は古いですが、種類が多く割にお値打ち</li> <li>・1回の料金で好きなタイミングで通えるため、すごく気に入っている</li> <li>・民間のジムより安い</li> </ul> |
| 複数施設      | 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義な時間を過ごせてコスパがとてもよい</li> <li>・他自治体（海外含む）の公共施設のクオリティと使用料のバランスと比較すると、関市はとて高コスパで良心的でありがたい</li> <li>・学生料金が設定されているので負担が少なくよい</li> <li>・他はもっと高い気がする</li> <li>・利用しやすい</li> </ul>   |
| プール       | 5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動不足の解消</li> <li>・子どもが小さい時によく行った</li> </ul>  |
| 体育館       | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力・健康の維持・増進のため</li> <li>・板取体育館は、施設は古いが壊れてはおらず、安く使用できる</li> </ul>   |
| ふれあいセンター  | 3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を維持する費用に充当できないほど低価格、税金の充当でしか維持できないので使用料を上げるべき</li> <li>・無料だった</li> </ul>   |
| 公民館       | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近いし使いやすい</li> </ul>  |
| グラウンド     | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理費がまかなえないのではないかと</li> </ul>   |
| 中池テニスコート  | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者割引がある</li> </ul>  |
| 武芸川テニスコート | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が2時間利用で250円だから</li> </ul>   |
| 関鍛冶伝承館    | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても安くて、入りやすい</li> </ul>  |
| アピセ・関     | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町の施設より安い</li> </ul>   |

**問15 公共施設の維持管理・運営のための経費は何によってまかなわれるべきだと思いますか。（単数回答）**

公共施設の維持管理・運営のための経費を何でまかなうべきかについては、「施設を使用する人の負担（使用料）と市民全体の負担（税金）でまかなうべき」が55.9%と5割以上を占め、「施設を使用する人の負担（使用料）のみでまかなうべき」は16.0%、「市民全体の負担（税金）のみでまかなうべき」は6.4%となっています。

年齢別にみると、10歳代、20歳代では、「わからない」がほかの年代に比べて高く、「施設を使用する人の負担（使用料）と市民全体の負担（税金）でまかなうべき」が5割を下回っています。



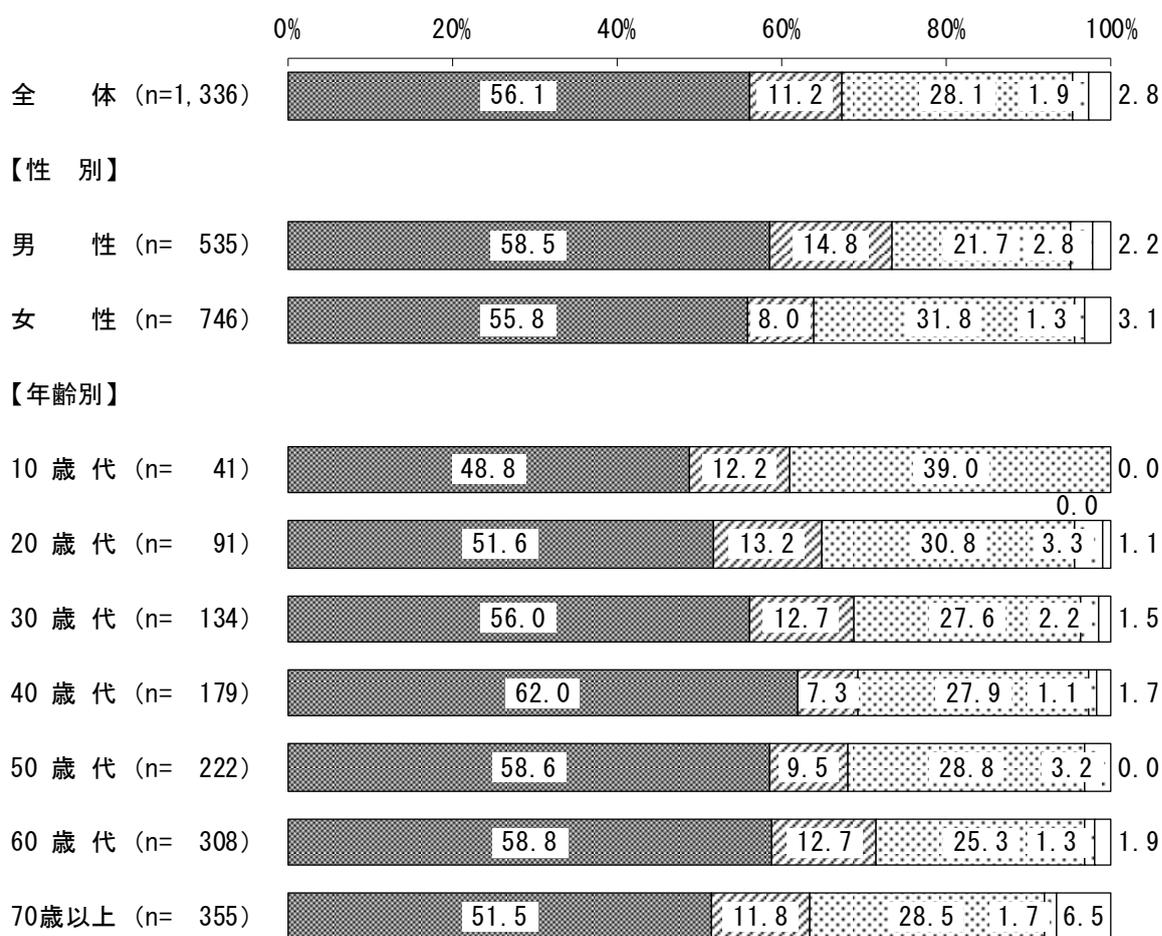
【「その他」の主な内容】

| 主な内容                               | 件数 |
|------------------------------------|----|
| ・「使用する人の負担」に近い「使用する人の負担と市民全体の負担」   | 1  |
| ・富裕層の人への会費システムをつくり、そこから経費としてまかなうべき | 1  |
| ・何のための施設かによる（受益者負担）                | 1  |
| ・市民に負担がかからないようにしてほしい               | 1  |
| ・気軽に利用できる使用料を設定することが望ましい           | 1  |

**問16 施設使用料の改定（値上げ・値下げ）についてどのように考えますか。（単数回答）**

施設使用料の改定（値上げ・値下げ）については、「施設や設備を維持、更新するためには値上げはやむを得ない」が56.1%と5割以上を占め、「施設や設備の維持、更新が不十分になる場合でも、値上げをするべきではない」は11.2%となっています。

年齢別にみると、10歳代では、「施設や設備を維持、更新するためには値上げはやむを得ない」が5割を下回っています。



- 施設や設備を維持、更新するためには値上げはやむを得ない
- 施設や設備の維持、更新が不十分になる場合でも、値上げをするべきではない
- わからない
- その他
- 不明・無回答

【「その他」の主な内容】

| 主な内容   | 件数 |
|--|----|
| ・わかりやすく具体的な説明の上、改定すべき                                | 1  |
| ・ある程度はやむを得ないが、納得できる説明がほしい                            | 1  |
| ・現状を隠さずに伝え、将来に有効なサービスで信頼のおける業者と料金であれば問題ない            | 1  |
| ・妥当性があり、急激な値上げでなければ受け入れやすい                           | 1  |
| ・市民の生活水準が上がったのであれば、上げてよいかと                           | 1  |
| ・市外からの施設を使う人を増やすべき。大会の誘致やよいところを発信し、その上で値上げするのはやむを得ない | 1  |
| ・値上げがどれくらいによる  | 1  |
| ・必要な場所は「値上げはやむを得ない」が、そうでないなら「値上げをするべきではない」           | 1  |
| ・電気代など、値上がりしているのだから、相応な価格で運営していけばよい                  | 1  |
| ・必要なことにお金をかけるのはいいが、更新の際に無駄なものをつけて、値上げするのはよくない        | 1  |
| ・維持・更新はしないといけませんが、値上げは極力すべきではない。利活用されない施設ならいらない      | 1  |
| ・そもそも本当に必要なのか、施設数を含め再検討すべき                           | 1  |
| ・削るところはないか見直す  | 1  |
| ・施設の更新を前提とした施設使用料を施設設置時から考慮すべき                       | 1  |
| ・施設・設備の維持、更新をしつつ、値下げを考えてほしい                          | 1  |
| ・所得によって負担を考慮すべきなのは                                   | 1  |
| ・市民全体の負担とする  | 1  |
| ・不足分は市の予算を回してほしい。値上げすると利用者が減る                        | 1  |
| ・市の財政が健全に営まれているのなら、ある程度を利用者に負担させ、市の負担も増やしてほしい        | 1  |
| ・気軽に利用できる使用料以上に値上げするべきではない                           | 1  |
| ・年金生活者にとっては何をするのもお金がかかったら健康を維持できない                   | 1  |

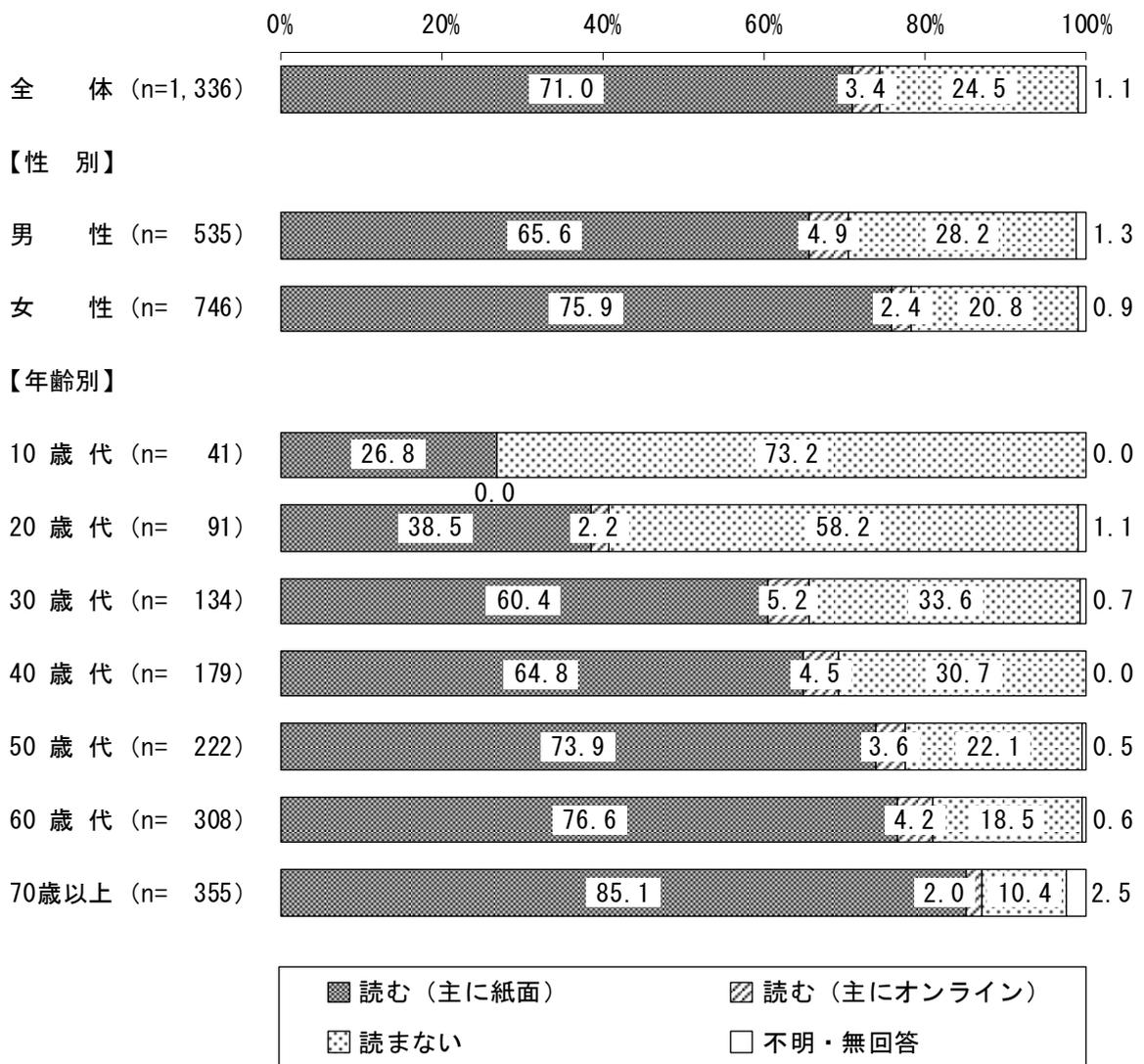
### ③ 広報せきについて

#### 問17 あなたは、広報せき（紙面またはオンライン記事）を読みますか。（単数回答）

広報せきを「読む（主に紙面）」は71.0%、「読む（主にオンライン記事）」は3.4%と、これらを合わせた『読む』（他の文中においても同様）は74.4%となっています。

性別にみると、『読む』は、男性に比べて女性が7.8ポイント高くなっています。

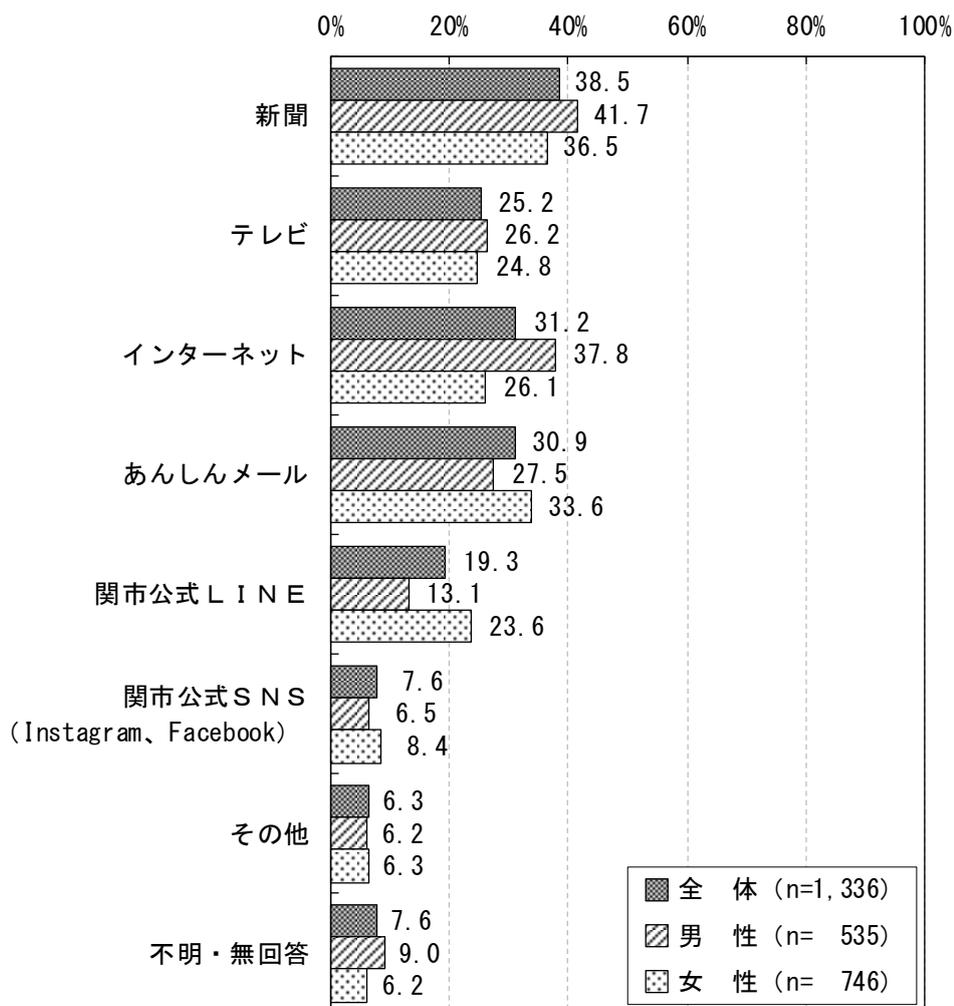
年齢別にみると、年齢が高いほど『読む』は高く、60歳代以上では8割以上を占めています。



**問18 あなたは、広報せき以外に何を使用して関市の情報を得ていますか。（複数回答）**

広報せき以外の関市に関する情報源については、「新聞」が38.5%と最も高く、次いで「インターネット」が31.2%、「あんしんメール」が30.9%となっています。

性別にみると、「インターネット」は女性に比べて男性が11.7ポイント高く、「関市公式LINE」は男性に比べて女性が10.5ポイント高くなっています。



年齢別にみると、10歳代と20歳代は「インターネット」、30歳代は「関市公式LINE」、40歳代と50歳代は「あんしんメール」が最も高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 新聞   | テレビ  | インターネット | あんしんメール | 関市公式LINE | 関市公式SNS<br>(Instagram、Facebook) | その他 | 不明・無回答 |
|------------------|------|------|---------|---------|----------|---------------------------------|-----|--------|
| 全体<br>(n=1,336)  | 38.5 | 25.2 | 31.2    | 30.9    | 19.3     | 7.6                             | 6.3 | 7.6    |
| 10歳代<br>(n=41)   | 22.0 | 14.6 | 41.5    | 24.4    | 7.3      | 9.8                             | 7.3 | 7.3    |
| 20歳代<br>(n=91)   | 12.1 | 17.6 | 44.0    | 12.1    | 14.3     | 13.2                            | 9.9 | 17.6   |
| 30歳代<br>(n=134)  | 10.4 | 14.9 | 26.1    | 26.9    | 39.6     | 14.2                            | 7.5 | 11.9   |
| 40歳代<br>(n=179)  | 20.1 | 12.3 | 40.8    | 45.3    | 21.2     | 9.5                             | 6.1 | 8.9    |
| 50歳代<br>(n=222)  | 30.2 | 20.3 | 40.1    | 47.3    | 15.3     | 8.1                             | 6.3 | 4.1    |
| 60歳代<br>(n=308)  | 44.8 | 27.6 | 31.2    | 29.2    | 18.8     | 6.8                             | 5.5 | 5.8    |
| 70歳以上<br>(n=355) | 65.9 | 39.4 | 18.6    | 22.0    | 16.6     | 2.8                             | 5.6 | 6.5    |

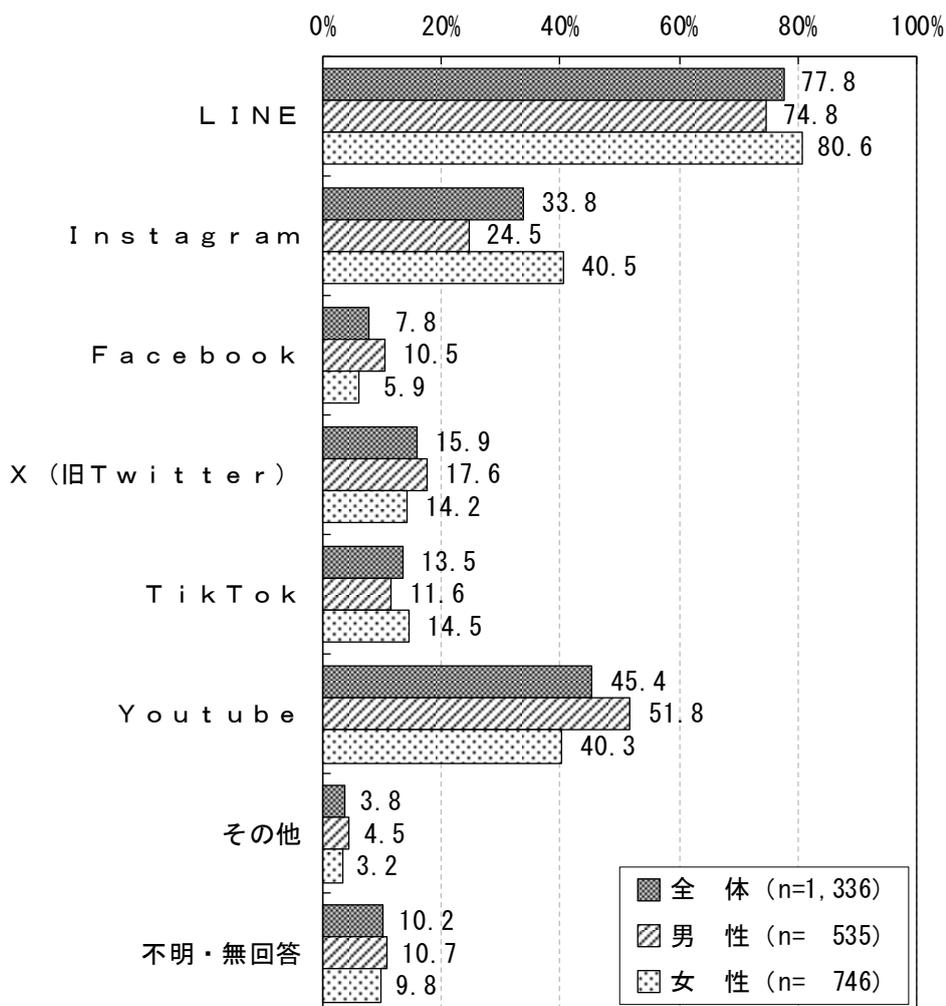
【「その他」の主な内容】

| 主な内容        | 件数 | 主な内容                | 件数 |
|-------------|----|---------------------|----|
| ・特に情報を得ていない | 28 | ・まちなかの広告            | 1  |
| ・きららくらぶ     | 10 | ・ラジオ                | 1  |
| ・家族から       | 6  | ・市の防災無線             | 1  |
| ・友人から       | 4  | ・放送                 | 1  |
| ・人から        | 4  | ・学校                 | 1  |
| ・何があるかわからない | 2  | ・すぐーる               | 1  |
| ・市のホームページ   | 2  | ・L o r c l e (ロークル) | 1  |
| ・チラシ        | 2  | ・ぶうめらん              | 1  |
| ・フリーペーパー    | 2  | ・自治会                | 1  |
| ・雑誌等        | 1  | ・市長のSNS             | 1  |

**問19 あなたがよく使用するSNSを教えてください。（複数回答）**

よく使用するSNSについては、「LINE」が77.8%と最も高く、次いで「Youtube」が45.4%、「Instagram」が33.8%となっています。

性別にみると、「Youtube」は女性に比べて男性が11.5ポイント高く、「Instagram」は男性に比べて女性が16.0ポイント高くなっています。



年齢別にみると、40歳代以下では「Youtube」と「Instagram」の使用も5割以上となっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分                  | L<br>I<br>N<br>E | I<br>n<br>s<br>t<br>a<br>g<br>r<br>a<br>m | F<br>a<br>c<br>e<br>b<br>o<br>o<br>k | X<br>(<br>旧<br>T<br>w<br>i<br>t<br>t<br>e<br>r<br>) | T<br>i<br>k<br>T<br>o<br>k | Y<br>o<br>u<br>t<br>u<br>b<br>e | そ<br>の<br>他 | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|---------------------|------------------|---|--------------------------------------|---|----------------------------|---------------------------------|-------------|----------------------------|
| 全<br>体<br>(n=1,336) | 77.8             | 33.8                                      | 7.8                                  | 15.9  | 13.5                       | 45.4                            | 3.8         | 10.2                       |
| 10歳代<br>(n=41)      | 92.7             | 78.0                                      | 9.8                                  | 29.3  | 43.9                       | 73.2                            | 2.4         | 0.0                        |
| 20歳代<br>(n=91)      | 86.8             | 64.8                                      | 1.1                                  | 51.6  | 30.8                       | 79.1                            | 0.0         | 1.1                        |
| 30歳代<br>(n=134)     | 86.6             | 56.7                                      | 11.9                                 | 36.6  | 14.9                       | 61.2                            | 1.5         | 0.7                        |
| 40歳代<br>(n=179)     | 86.6             | 56.4                                      | 10.6                                 | 24.0  | 19.6                       | 53.6                            | 0.6         | 1.7                        |
| 50歳代<br>(n=222)     | 88.3             | 41.9                                      | 8.6                                  | 14.9  | 18.0                       | 44.1                            | 4.1         | 2.7                        |
| 60歳代<br>(n=308)     | 78.6             | 24.0                                      | 10.4                                 | 7.5   | 9.7                        | 43.8                            | 3.2         | 9.1                        |
| 70歳以上<br>(n=355)    | 59.4             | 4.5                                       | 3.7                                  | 1.4   | 2.8                        | 26.5                            | 7.9         | 26.5                       |

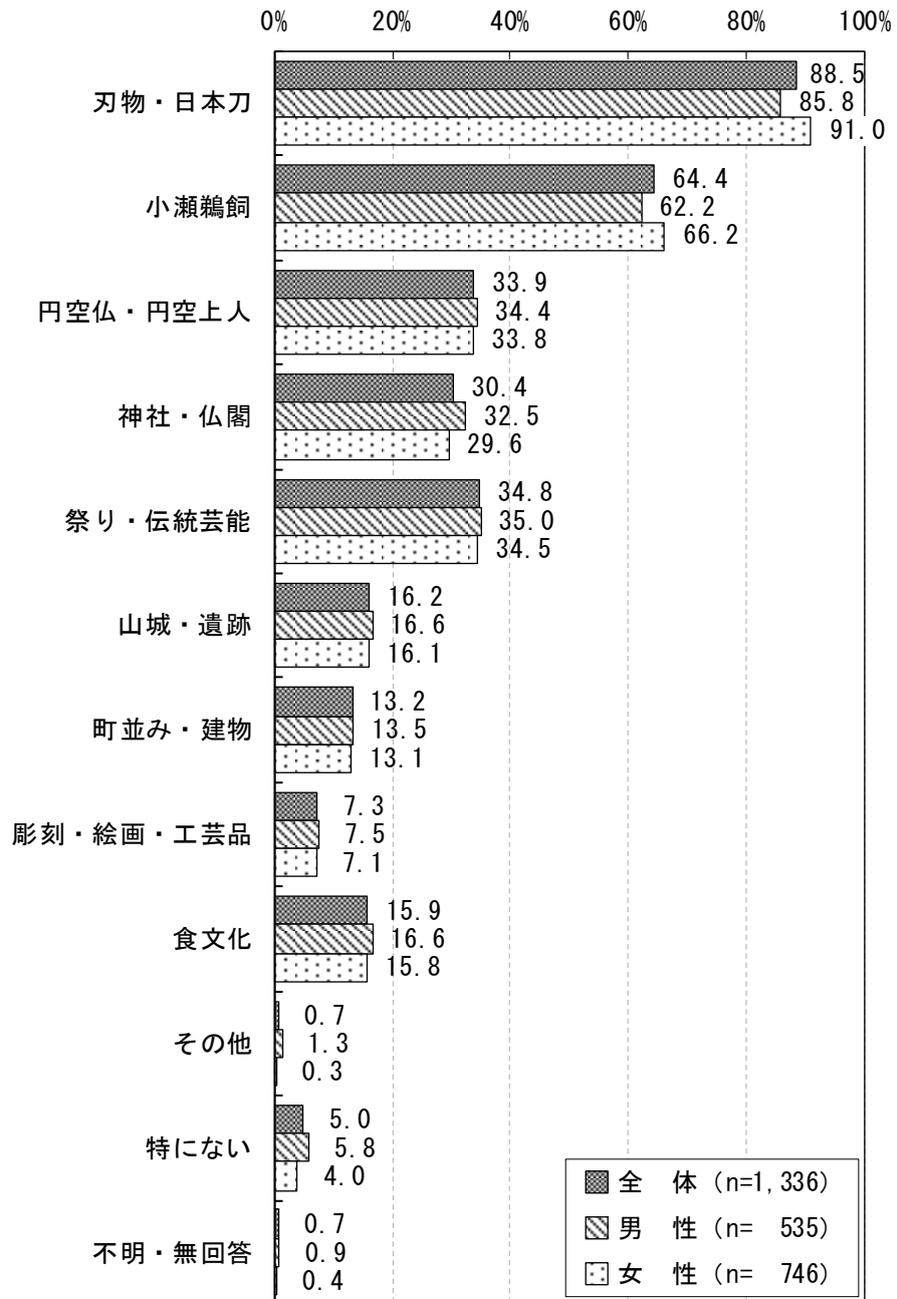
【「その他」の主な内容】

| 主な内容            | 件数 |
|-----------------|----|
| ・特に使用していない      | 15 |
| ・特にない           | 14 |
| ・わからない          | 3  |
| ・（スマホなどを）持っていない | 3  |
| ・Threads（スレズ）   | 2  |
| ・Google         | 2  |
| ・Yahoo          | 1  |
| ・WeChat         | 1  |
| ・Discord        | 1  |
| ・BeReal         | 1  |
| ・市のホームページ       | 1  |

#### ④ 文化・スポーツについて

問20 関市内に受け継がれてきた文化や歴史で、未来の関市に伝えたいと思うものは何ですか。（複数回答）

未来に伝えたい関市の文化や歴史については、「刃物・日本刀」が88.5%と最も高く、次いで「小瀬鵜飼」が64.4%となっています。



年齢別にみても、いずれの年代も「刃物・日本刀」と「小瀬鶉飼」が高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 刃物・日本刀 | 小瀬鶉飼 | 円空仏・円空上人 | 神社・仏閣 | 祭り・伝統芸能 | 山城・遺跡 | 町並み・建物 | 彫刻・絵画・工芸品 | 食文化  | その他 | 特にない | 不明・無回答 |
|------------------|--------|------|----------|-------|---------|-------|--------|-----------|------|-----|------|--------|
| 全体<br>(n=1,336)  | 88.5   | 64.4 | 33.9     | 30.4  | 34.8    | 16.2  | 13.2   | 7.3       | 15.9 | 0.7 | 5.0  | 0.7    |
| 10歳代<br>(n=41)   | 90.2   | 65.9 | 26.8     | 17.1  | 34.1    | 7.3   | 17.1   | 14.6      | 22.0 | 0.0 | 2.4  | 0.0    |
| 20歳代<br>(n=91)   | 89.0   | 61.5 | 16.5     | 27.5  | 38.5    | 13.2  | 23.1   | 11.0      | 23.1 | 0.0 | 4.4  | 1.1    |
| 30歳代<br>(n=134)  | 88.1   | 50.7 | 22.4     | 19.4  | 26.9    | 9.7   | 11.9   | 3.7       | 11.9 | 3.0 | 7.5  | 0.0    |
| 40歳代<br>(n=179)  | 93.9   | 68.2 | 27.9     | 24.6  | 29.6    | 10.1  | 11.7   | 3.4       | 16.2 | 0.6 | 1.7  | 0.0    |
| 50歳代<br>(n=222)  | 91.9   | 67.6 | 33.3     | 29.3  | 32.0    | 16.2  | 11.7   | 7.2       | 20.3 | 0.0 | 4.1  | 0.5    |
| 60歳代<br>(n=308)  | 87.0   | 65.9 | 34.7     | 31.2  | 33.1    | 15.9  | 13.6   | 8.1       | 11.7 | 0.6 | 5.8  | 1.3    |
| 70歳以上<br>(n=355) | 85.1   | 65.4 | 46.2     | 39.7  | 43.1    | 24.2  | 12.4   | 8.2       | 16.1 | 0.8 | 6.2  | 0.6    |

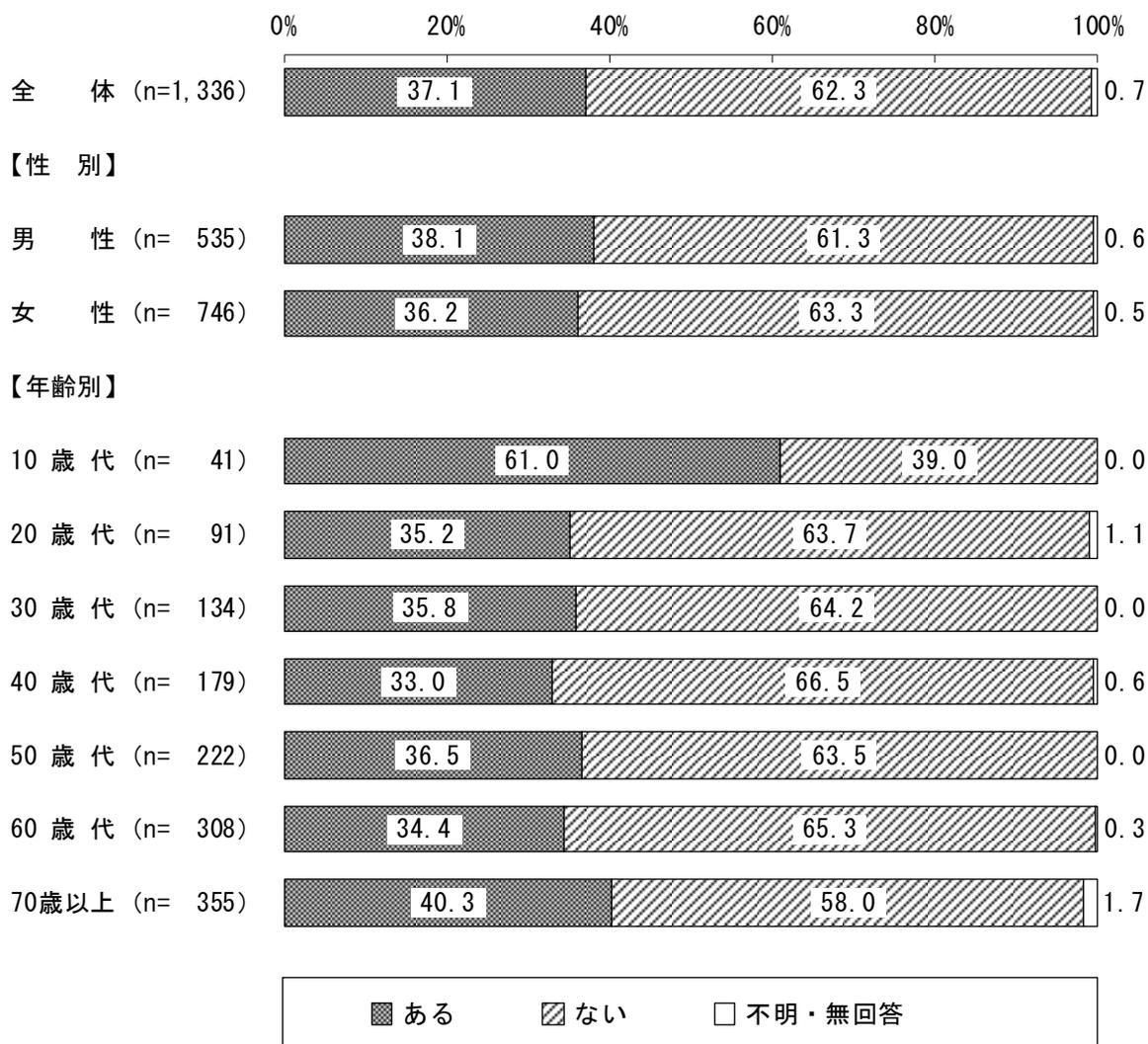
【「その他」の主な内容】

| 主な内容   | 件数 |
|--|----|
| ・ 関商工の風土<br>(関商工の生徒さんたちは挨拶や生活態度が素晴らしい。関市が誇ってもいい財産だと思うし、関市の文化の一つに挙げてほしいと思う。これからもあのような素晴らしい高校をぜひ存続させてほしい。) | 1  |
| ・ 百年公園   | 1  |
| ・ 川や自然   | 1  |
| ・ 方言   | 1  |
| ・ 何もしなくても、残るものは残る  | 1  |
| ・ わからない  | 1  |

**問21 あなたは、過去1年間に芸術文化を鑑賞したことがありますか。（単数回答）**

過去1年間に芸術文化を鑑賞した機会については、「ある」が37.1%、「ない」が62.3%となっています。

「ある」は、性別にみても、あまり差異はありませんが、年齢別にみると、10歳代がほかの年代に比べて顕著に高くなっています。

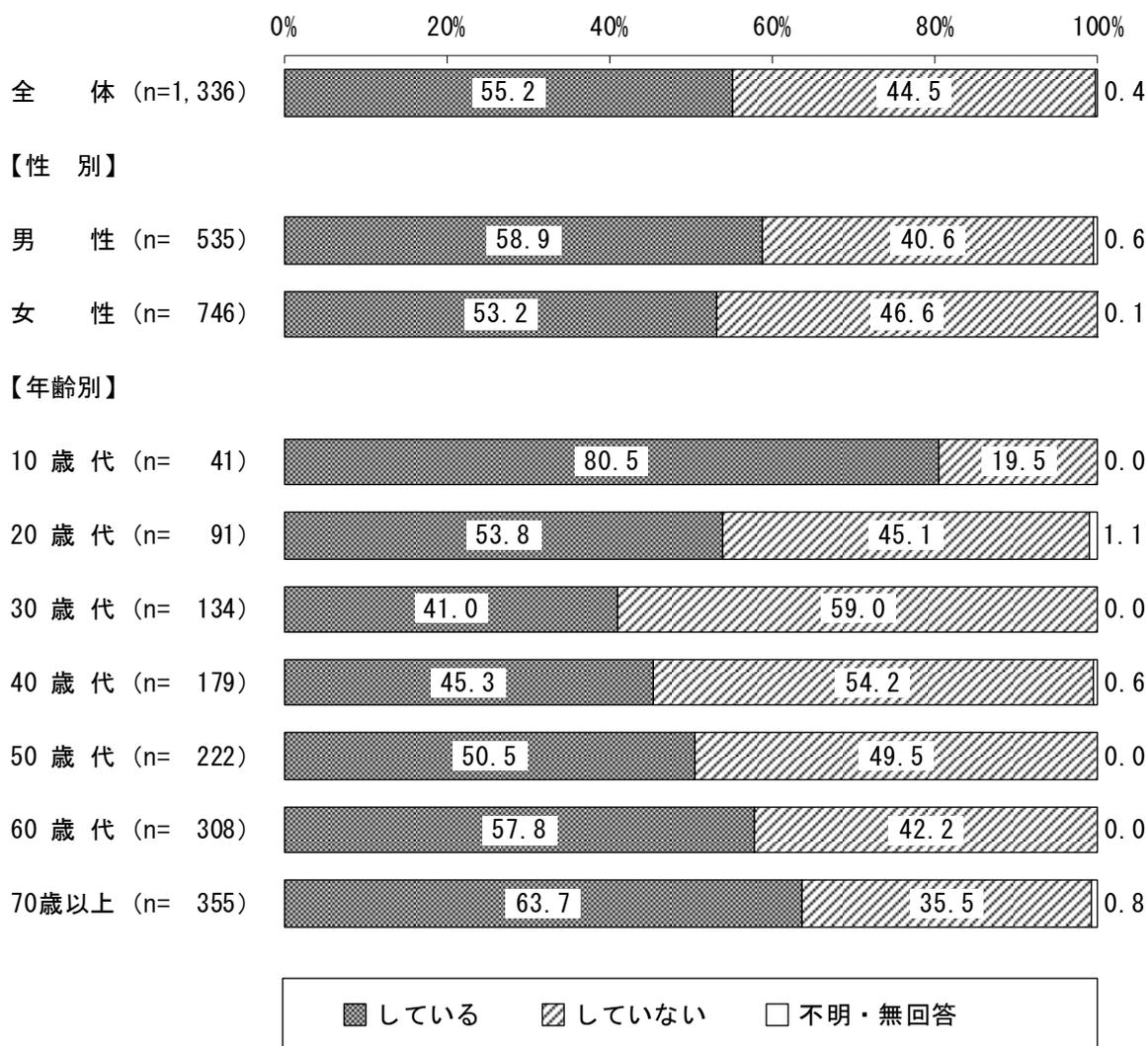


**問22 あなたは、1週間に1回以上運動やスポーツ（ラジオ体操、散歩、ウォーキングも含む）をしていますか。（単数回答）**

1週間に1回以上運動やスポーツをしているかについては、「している」が55.2%、「していない」が44.5%となっています。

「している」は、性別にみると、女性に比べて男性が5.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、10歳代がほかの年代に比べて顕著に高い一方、30歳代と40歳代は5割を下回り、ほかの年代に比べて低くなっています。

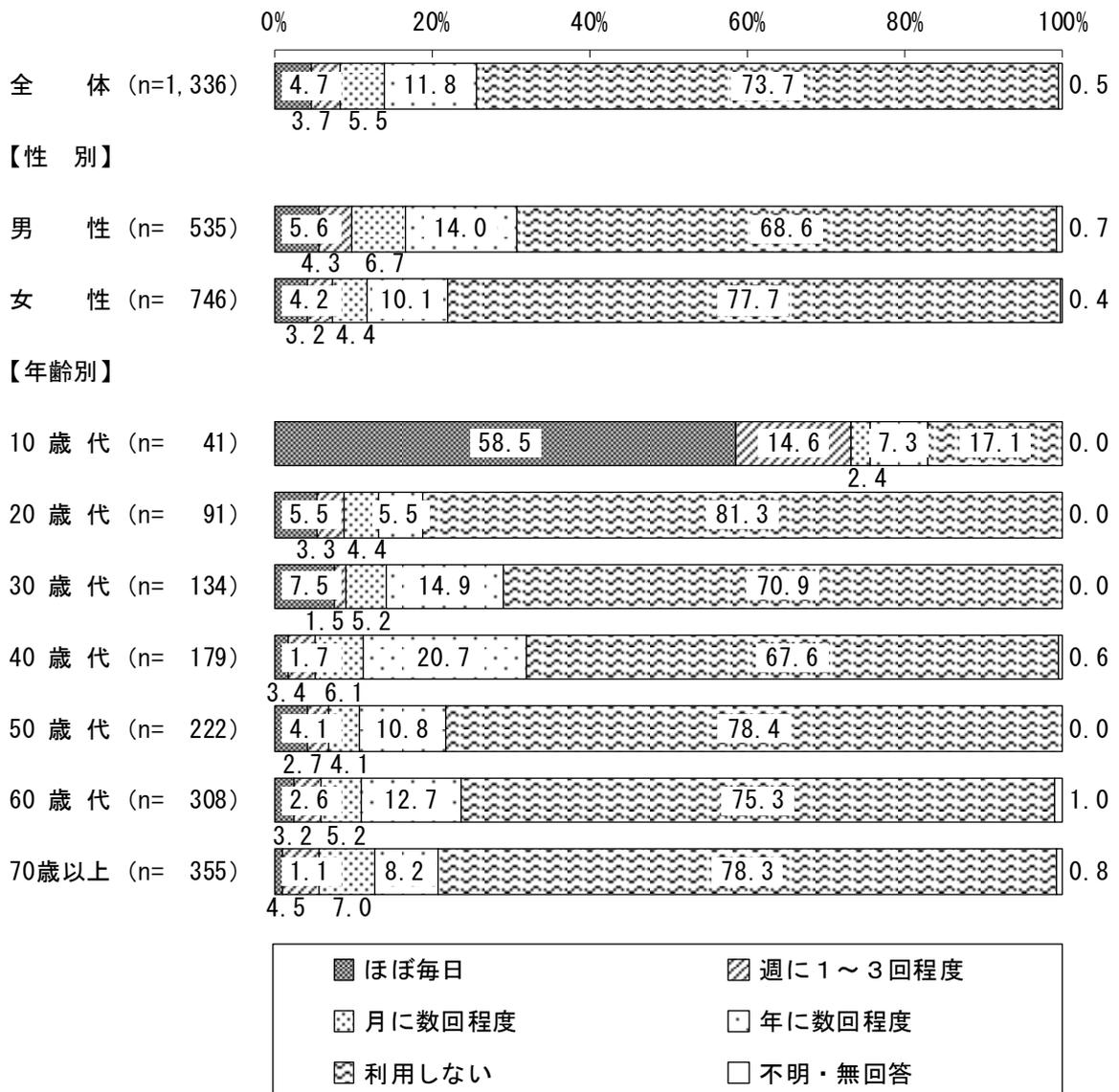


## ⑤ 自転車の利用について

### 問23 あなたは、普段どれくらい自転車を利用しますか。（単数回答）

自転車の利用状況については、「ほぼ毎日」（4.7%）と「週に1～3回程度」（3.7%）を合わせた『普段利用している』（他の文中においても同様）は8.4%と低く、「利用しない」が73.7に及んでいます。

『普段利用している』は、10歳代で7割以上と高いものの、ほかの年代では1割を下回っています。

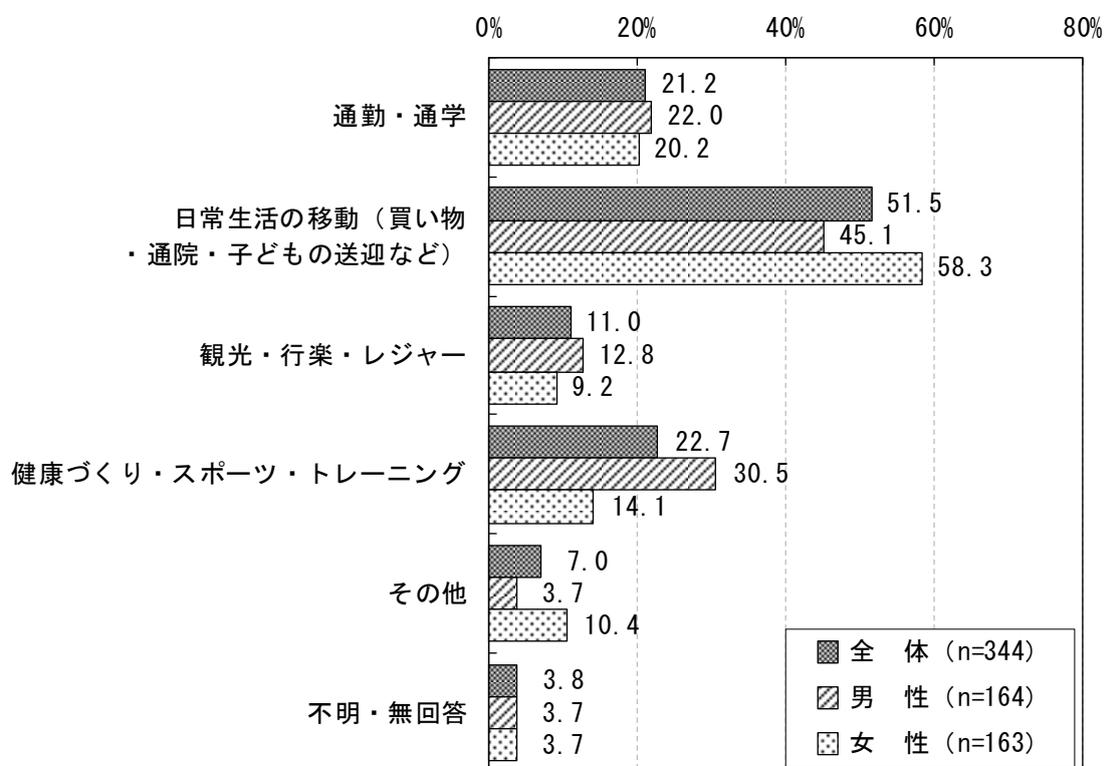


## 問24 あなたが、自転車を利用する目的を教えてください。（複数回答）

### ※問23で「利用しない」以外を選択した人への質問

自転車の利用目的については、「日常生活の移動（買い物・通院・子どもの送迎など）」が51.5%と最も高く、次いで「健康づくり・スポーツ・トレーニング」が22.7%となっています。

性別にみると、「日常生活の移動（買い物・通院・子どもの送迎など）」は男性に比べて女性が13.2ポイント高く、「健康づくり・スポーツ・トレーニング」は女性に比べて男性が16.4ポイント高くなっています。



年齢別にみると、次の表のとおりとなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分              | 通勤・通学 | 日常生活の移動<br>(買い物・通院・子どもの送迎など) | 観光・行楽・レジャー | 健康づくり・スポーツ・トレーニング | その他  | 不明・無回答 |
|-----------------|-------|------------------------------|------------|-------------------|------|--------|
| 全体<br>(n=344)   | 21.2  | 51.5                         | 11.0       | 22.7              | 7.0  | 3.8    |
| 10歳代<br>(n=34)  | 82.4  | 23.5                         | 2.9        | 2.9               | 0.0  | 0.0    |
| 20歳代<br>(n=17)  | 47.1  | 35.3                         | 17.6       | 17.6              | 0.0  | 5.9    |
| 30歳代<br>(n=39)  | 30.8  | 48.7                         | 25.6       | 23.1              | 0.0  | 0.0    |
| 40歳代<br>(n=57)  | 14.0  | 61.4                         | 15.8       | 22.8              | 3.5  | 5.3    |
| 50歳代<br>(n=48)  | 22.9  | 58.3                         | 14.6       | 22.9              | 10.4 | 0.0    |
| 60歳代<br>(n=73)  | 6.8   | 52.1                         | 8.2        | 31.5              | 9.6  | 2.7    |
| 70歳以上<br>(n=74) | 0.0   | 56.8                         | 2.7        | 24.3              | 13.5 | 9.5    |

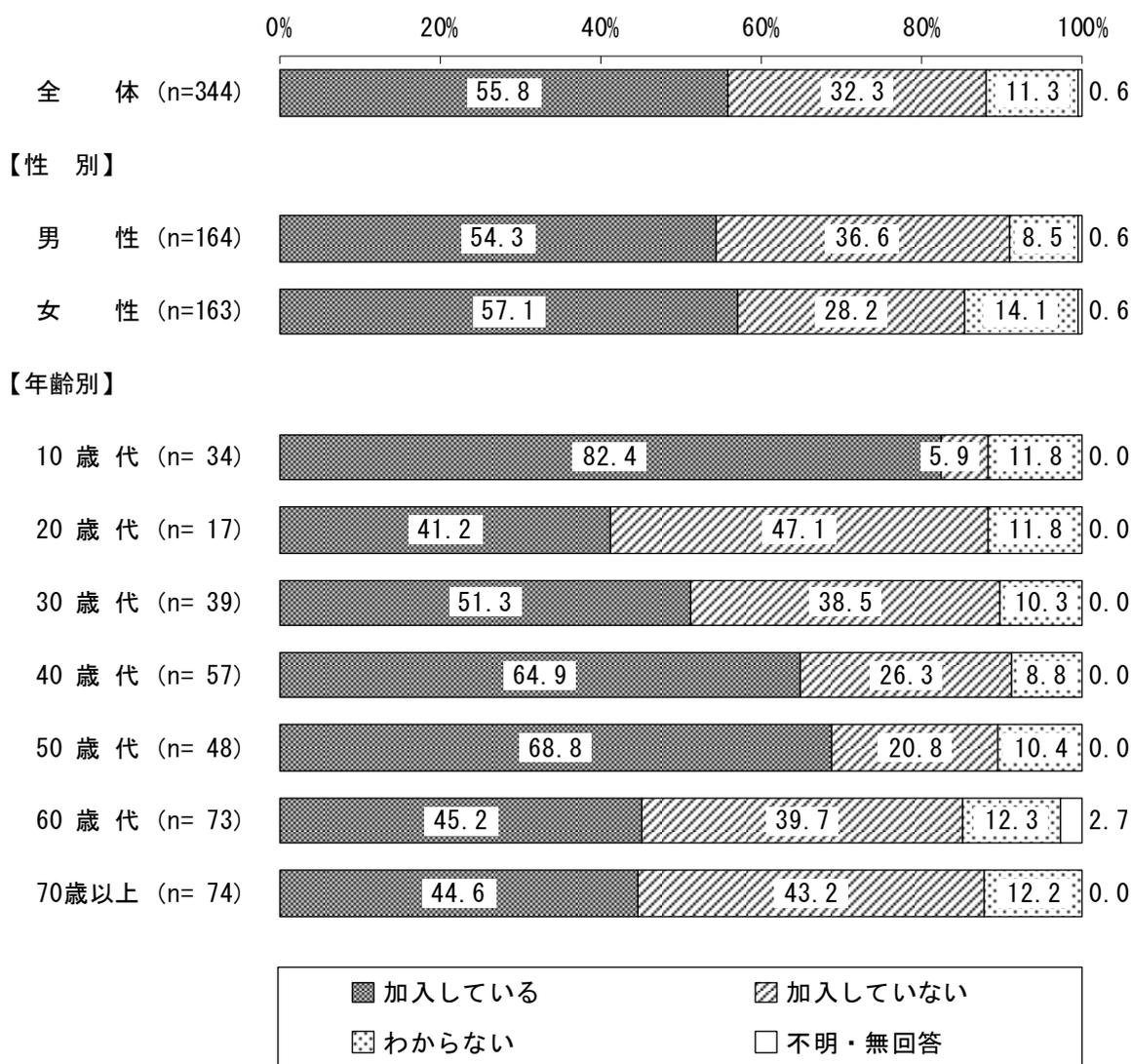
【「その他」の主な内容】

| 主な内容         | 件数 |
|--------------|----|
| ・ごみ出し        | 3  |
| ・畑に行くとき      | 2  |
| ・自治会の仕事      | 2  |
| ・学校の行事       | 2  |
| ・近所の用事       | 2  |
| ・集会場、郵便局     | 1  |
| ・お寺          | 1  |
| ・たまに乗りたくなるとき | 1  |
| ・ほとんど乗らない    | 1  |

**問25 あなたは、自転車事故を補償する保険に加入していますか。（単数回答）**

※問23で「利用しない」以外を選択した人への質問

自転車事故を補償する保険への加入状況については、「加入している」が55.8%、「加入していない」が32.3%となっています。

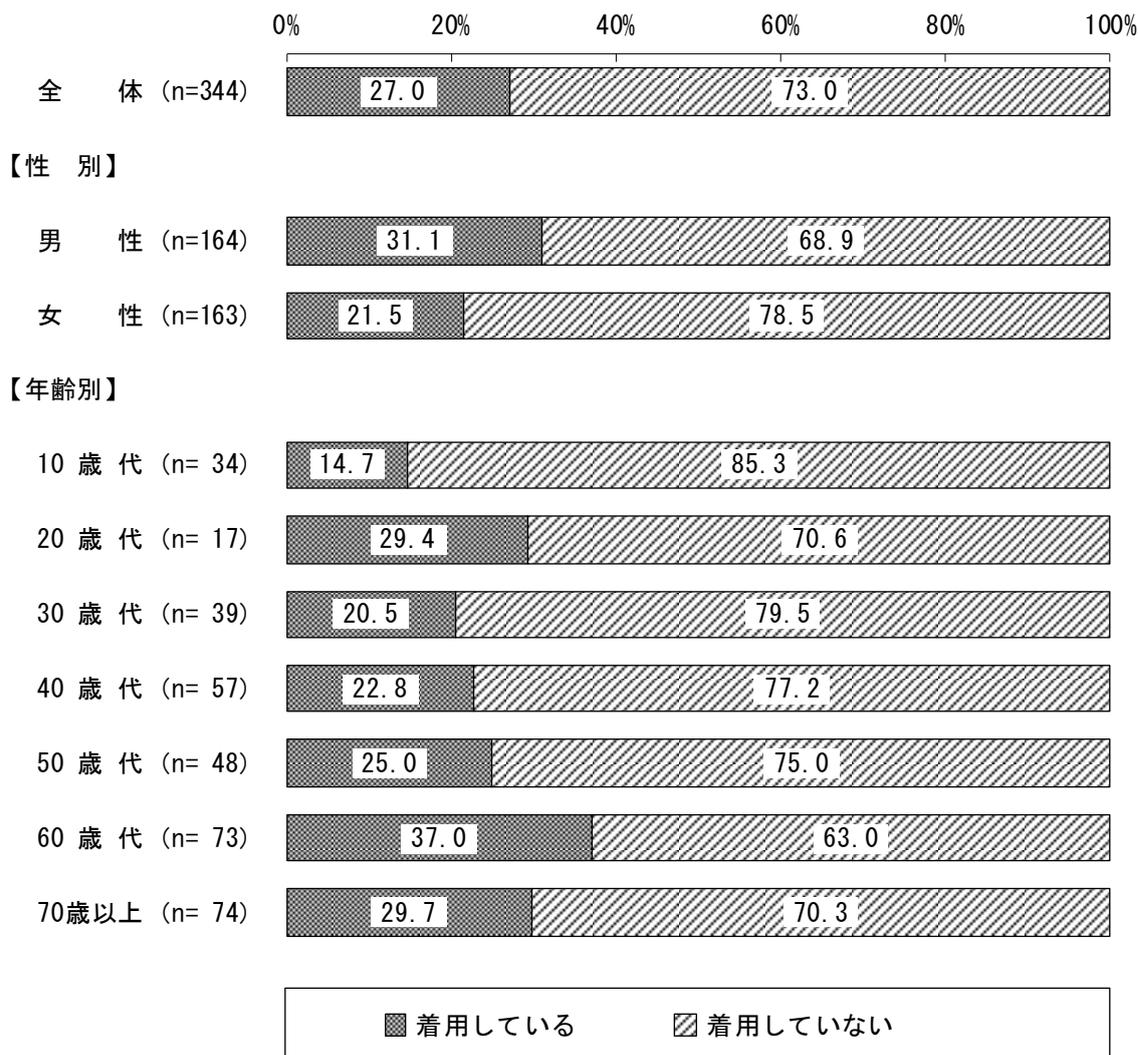


## 問26 あなたは、自転車を利用するときヘルメットを着用していますか。（単数回答）

### ※問23で「利用しない」以外を選択した人への質問

ヘルメットの着用の有無については、「着用している」が27.0%、「着用していない」が73.0%となっています。

「している」は、性別にみると、女性に比べて男性が9.6ポイント高くなっています。



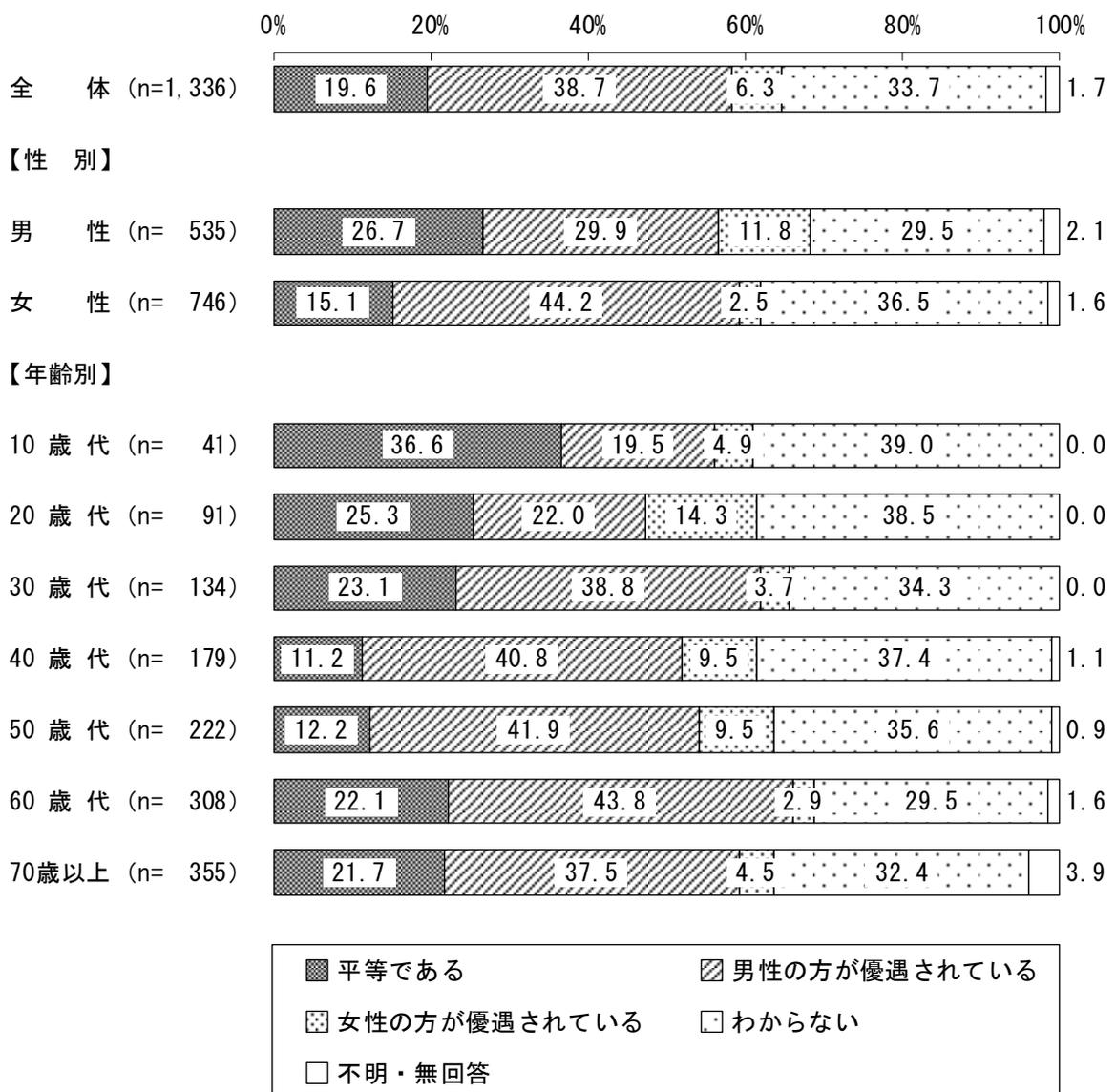
## ⑥ 人権について

### 問27 あなたは、社会全体として男女の地位が平等であると感じますか。（単数回答）

男女の地位の平等意識については、「平等である」は19.6%となっており、「男性の方が優遇されている」が38.7%、「女性の方が優遇されている」が6.3%となっています。

性別にみると、「平等である」は、男性に比べて女性が11.6ポイント低くなっています。また、「男性の方が優遇されている」は、男性に比べて女性が14.3ポイント高くなっています。

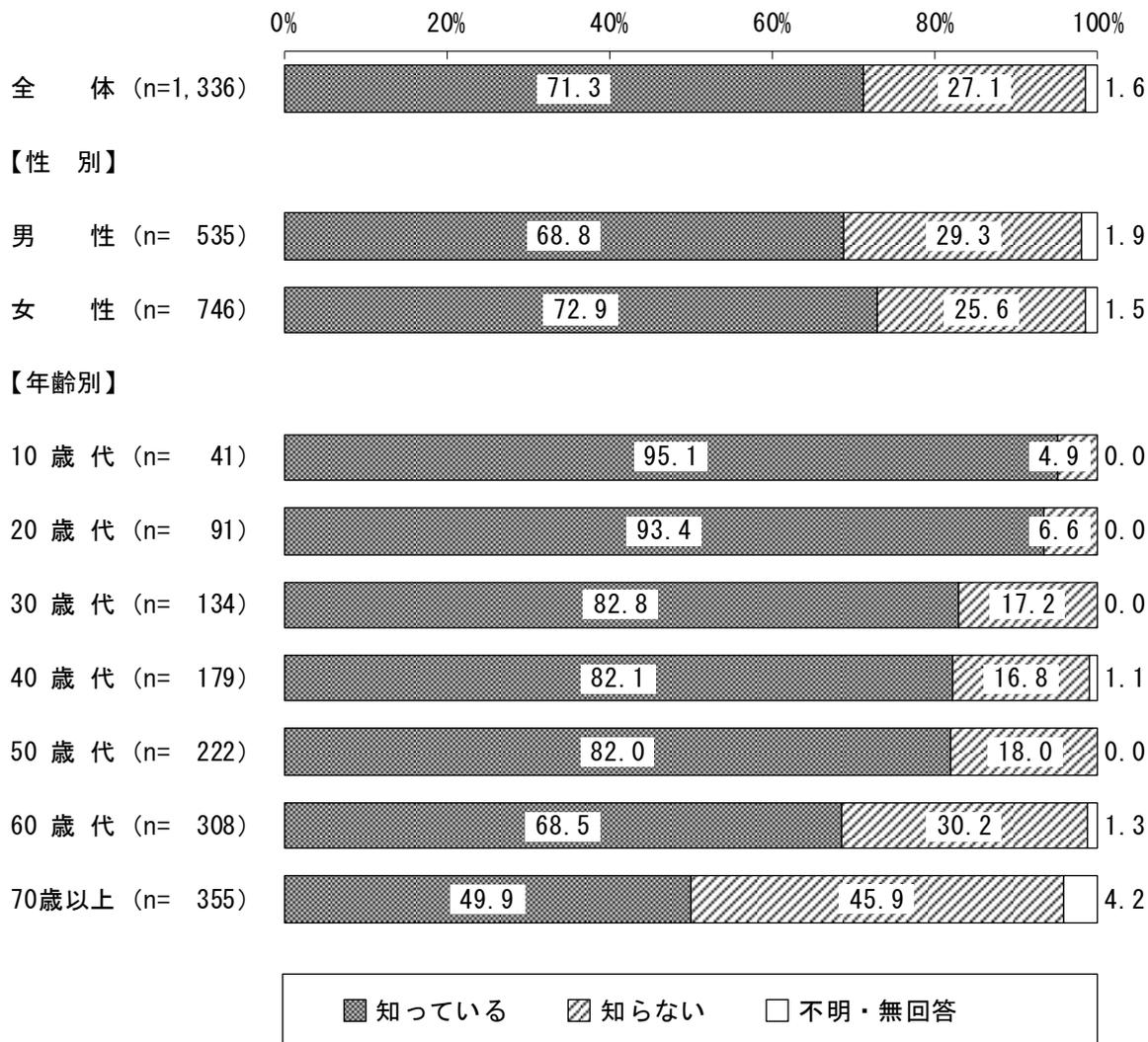
年齢別にみると、「平等である」は、10歳代で3割以上と、ほかの年代に比べて高くなっています。一方、40歳代と50歳代では2割を下回り、ほかの年代に比べて低くなっています。



**問28 あなたは、LGBTという言葉とその意味を知っていますか。（単数回答）**

LGBTという言葉とその意味について、「知っている」が71.3%、「知らない」が27.1%となっています。

年齢別にみると、年齢が高いほど「知っている」は低く、70歳以上では5割程度となっています。

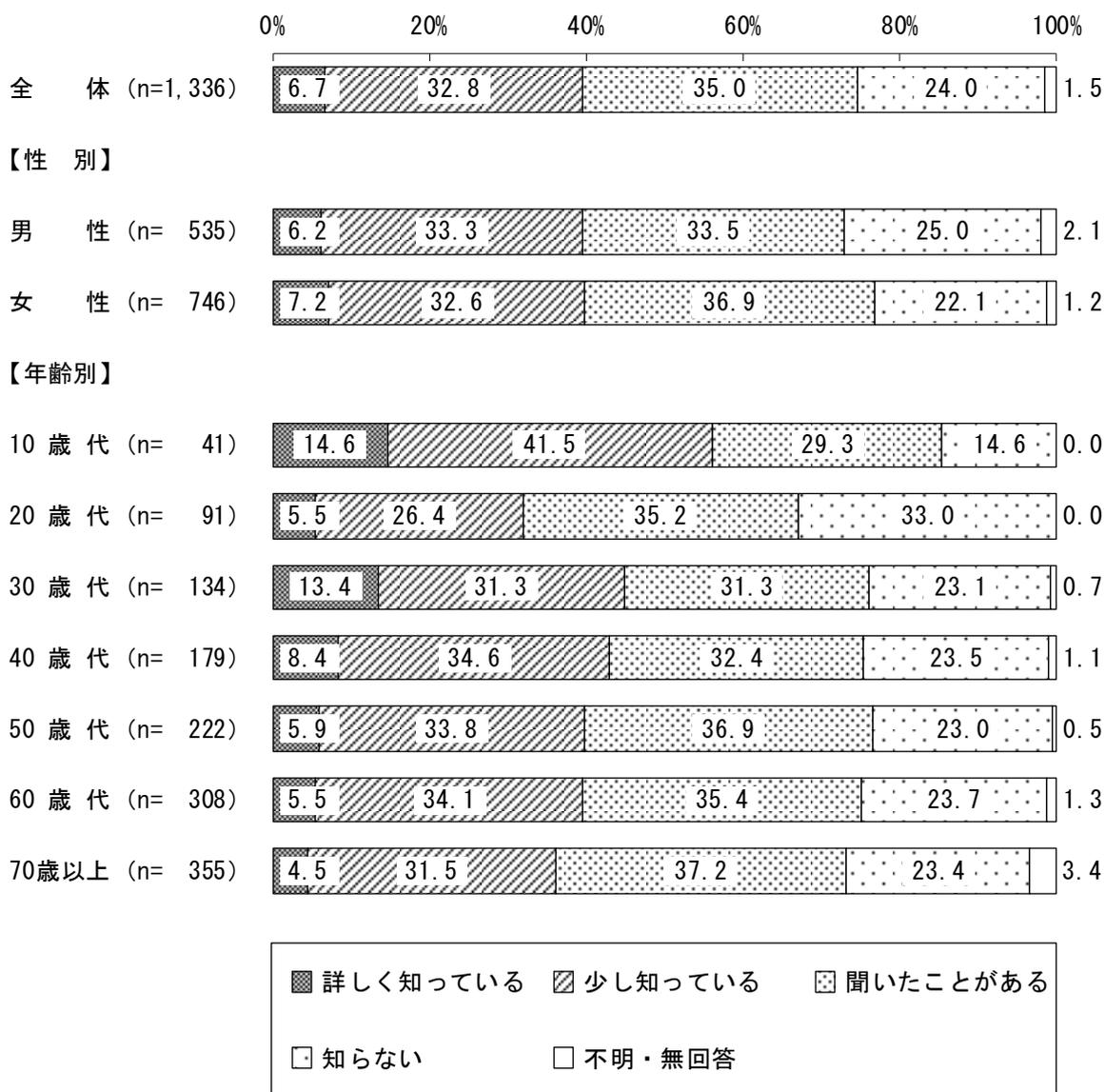


**問29 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（単数回答）**

※「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できることや、自由に意見を言ったり活動したりできる権利のこと

「こどもの権利」について、「詳しく知っている」が6.7%、「少し知っている」が32.8%ある一方、「知らない」は24.0%となっています。

年齢別にみると、「知らない」は、20歳代がほかの年代に比べて高くなっています。



**問30 あなたは、関市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。  
(単数回答)**

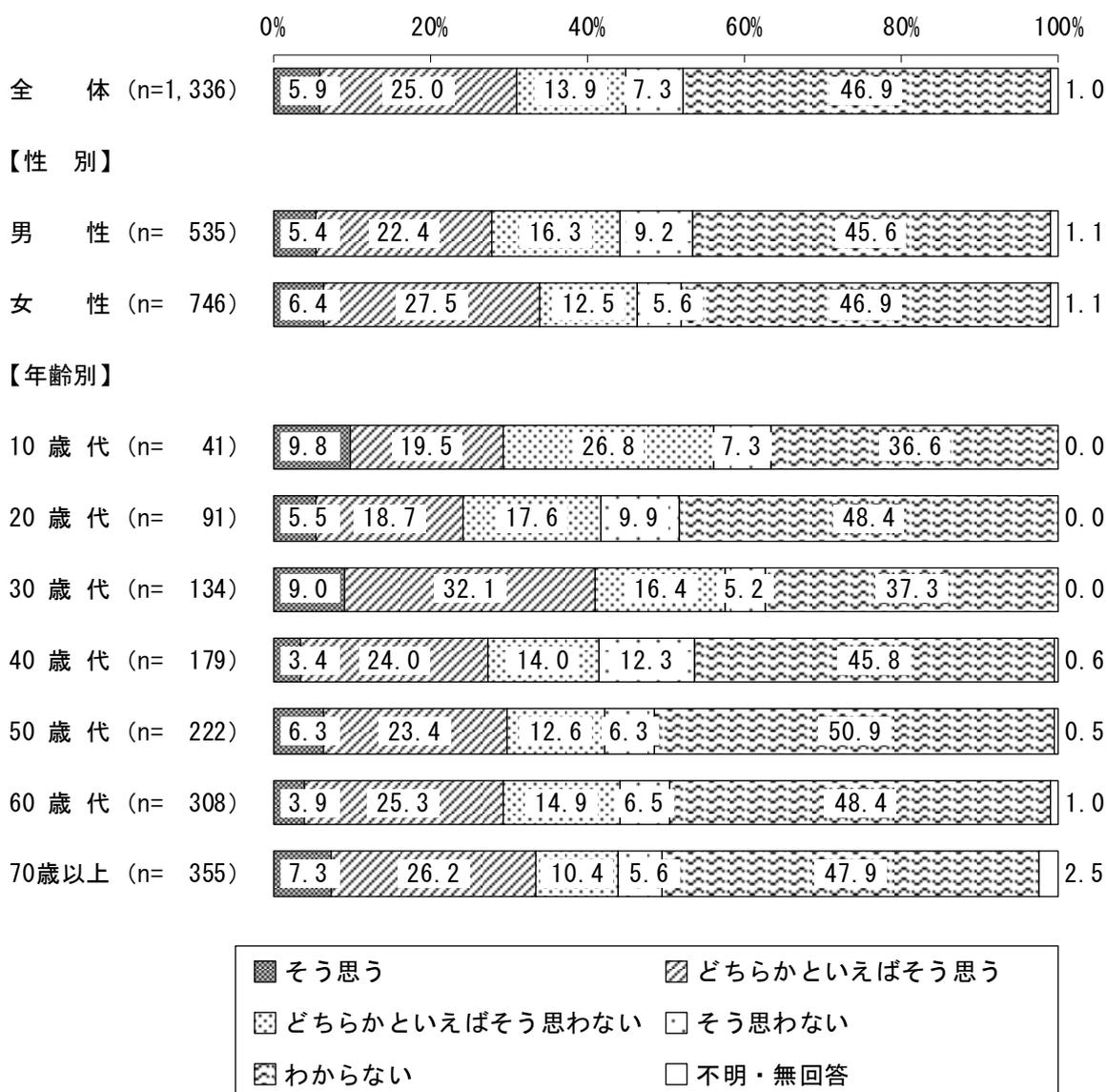
※「こどもまんなか社会」とは、こどもや若者の幸せを第一に考え、すべてのこどもや若者の権利が保障され、健やかに成長できる社会のこと

※問30の選択肢は以下のように区分（他の文中においても同様）

- ・『そう思う』：「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計
- ・『そう思わない』：「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計

関市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思うかについては、『そう思う』が30.9%、『そう思わない』が21.2%となっています。

『そう思う』は、性別にみると、男性に比べて女性が6.1ポイント高くなっています。年齢別にみると、30歳代が4割を上回り、ほかの年代に比べて高くなっています。



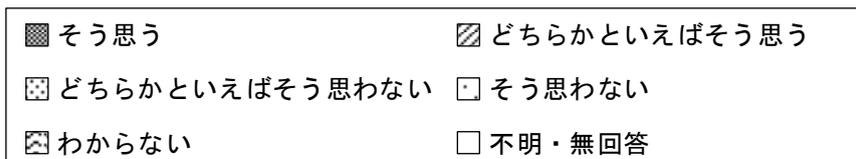
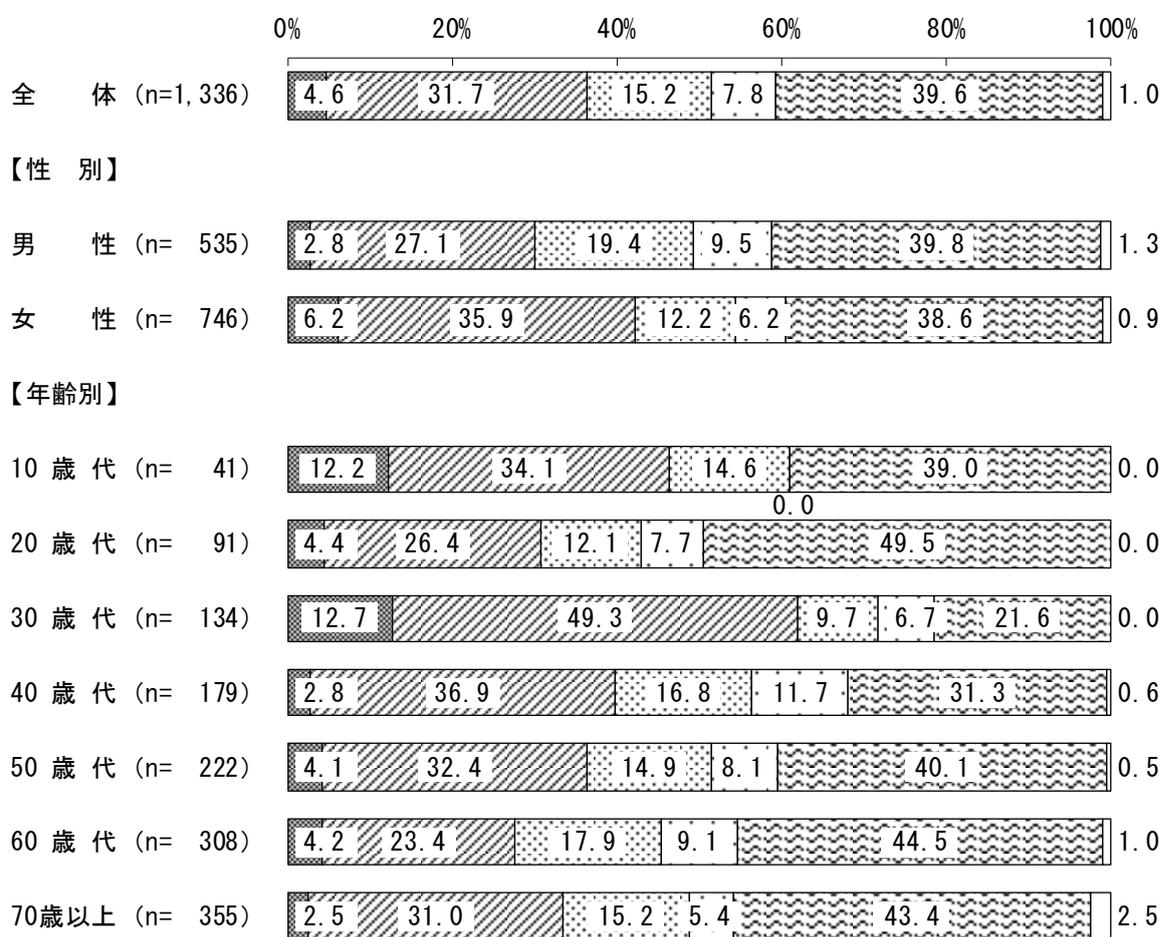
**問31 あなたは、関市が結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かって  
いると思いますか。（単数回答）**

※問31の選択肢は以下のように区分（他の文中においても同様）

- ・『そう思う』：「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計
- ・『そう思わない』：「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計

関市が結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思うかについては、『そう思う』が36.3%、『そう思わない』が23.0%となっています。

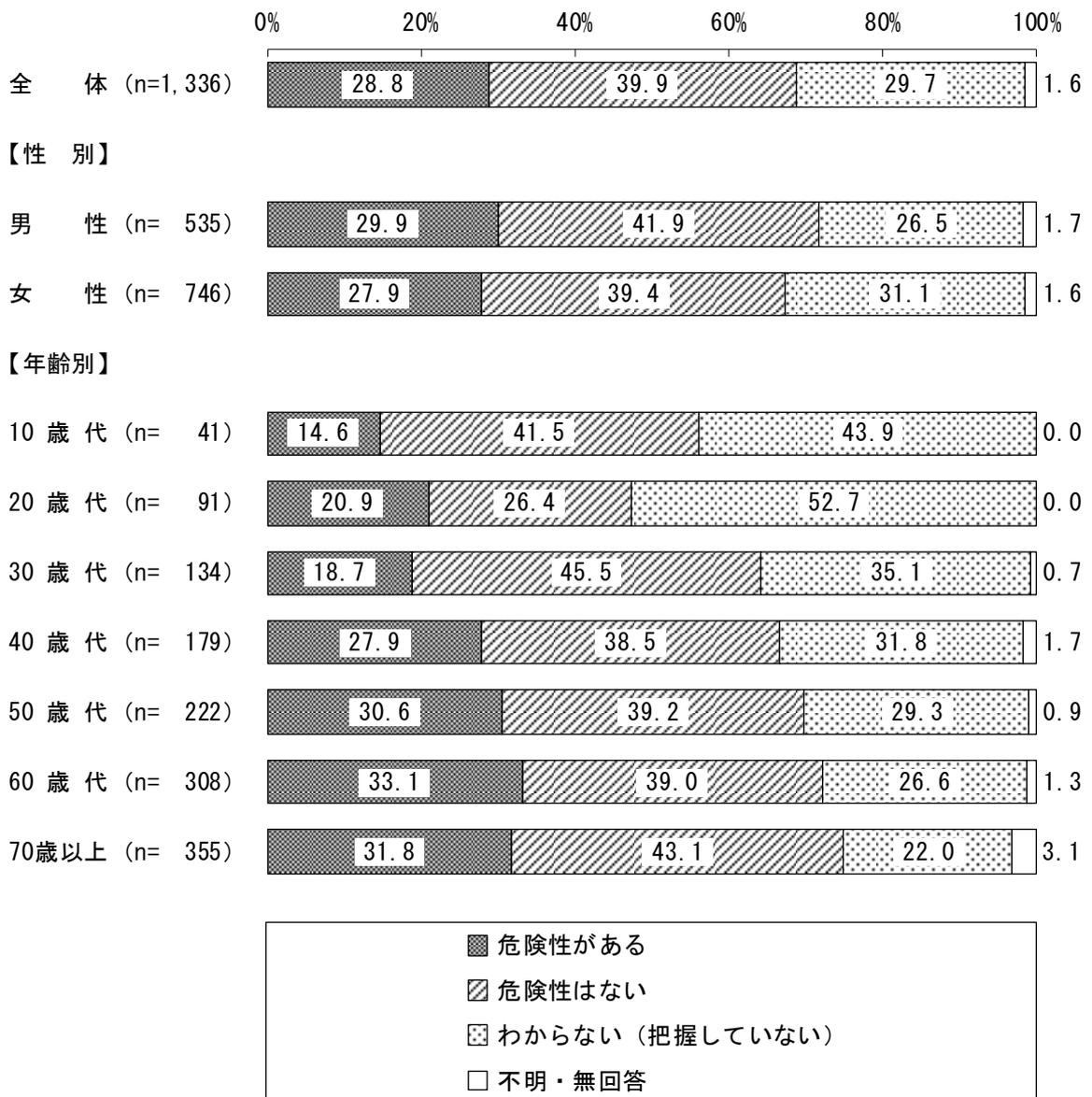
『そう思う』は、性別にみると、男性に比べて女性が12.2ポイント高くなっています。年齢別にみると、30歳代が6割を上回り、ほかの年代に比べて顕著に高くなっています。



## ⑦ 防災について

### 問32 大雨の際には、洪水や土砂災害が発生する危険性があります。ご自宅の浸水被害や土砂災害の危険性の有無を把握していますか。（単数回答）

自宅の浸水被害や土砂災害の危険性の有無については、「危険性がある」が28.8%、「危険性はない」が39.9%、「わからない（把握していない）」が29.7%となっています。性別にみても、大きな差異はみられませんが、年齢別にみると、年齢が低いほど「わからない（把握していない）」が高い傾向にあり、20歳代では5割以上を占めています。

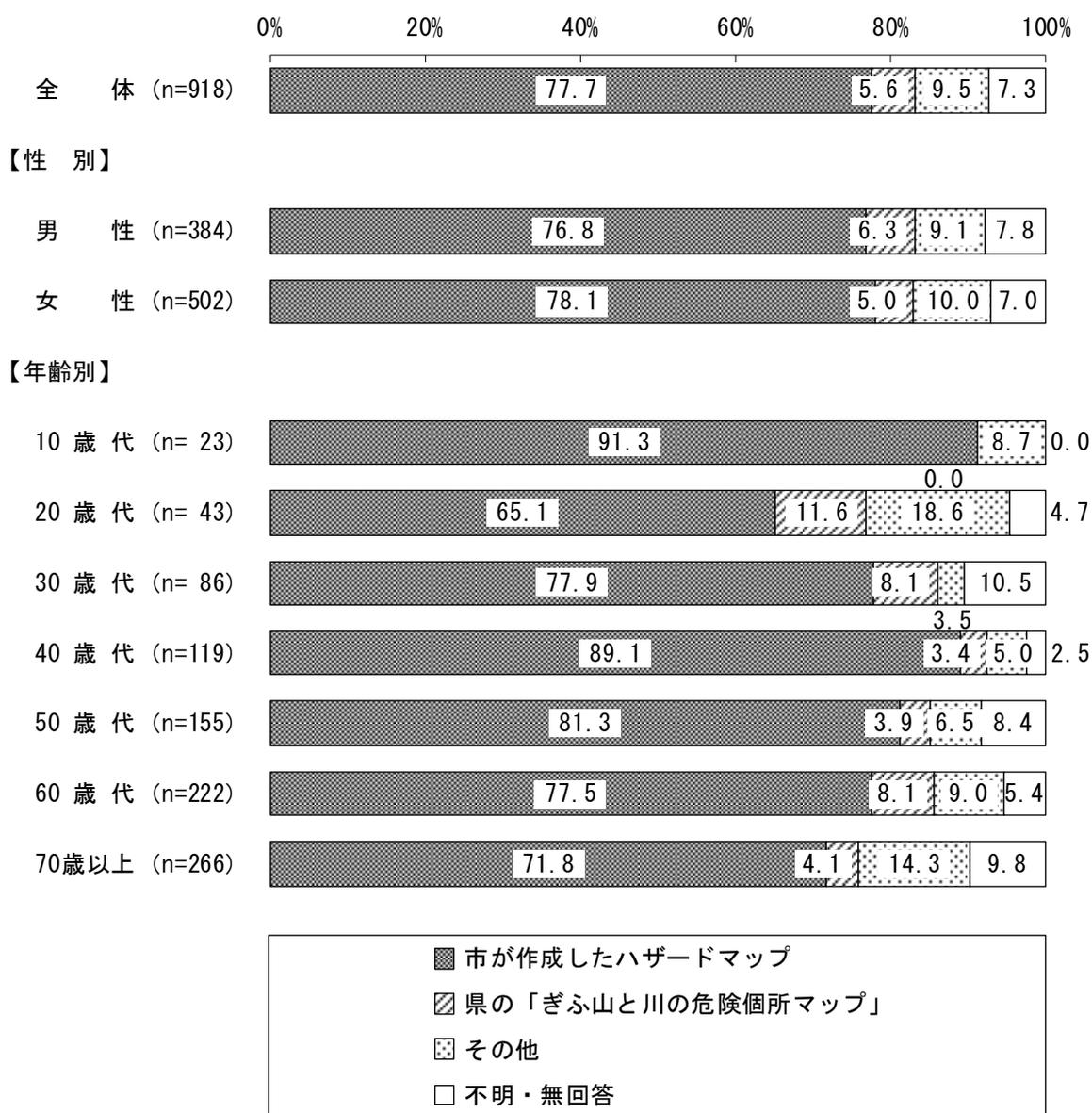


### 問33 危険性を何で確認しましたか。(単数回答)

※問32で「危険性がある」「危険性はない」を選択した人への質問

危険性の有無を何で確認したかについて、「市が作成したハザードマップ」が77.7%、「県の「ぎふ山と川の危険箇所マップ」」が5.6%となっています。

年齢別にみると、「市が作成したハザードマップ」は、20歳代がほかの年代に比べて低くなっています。



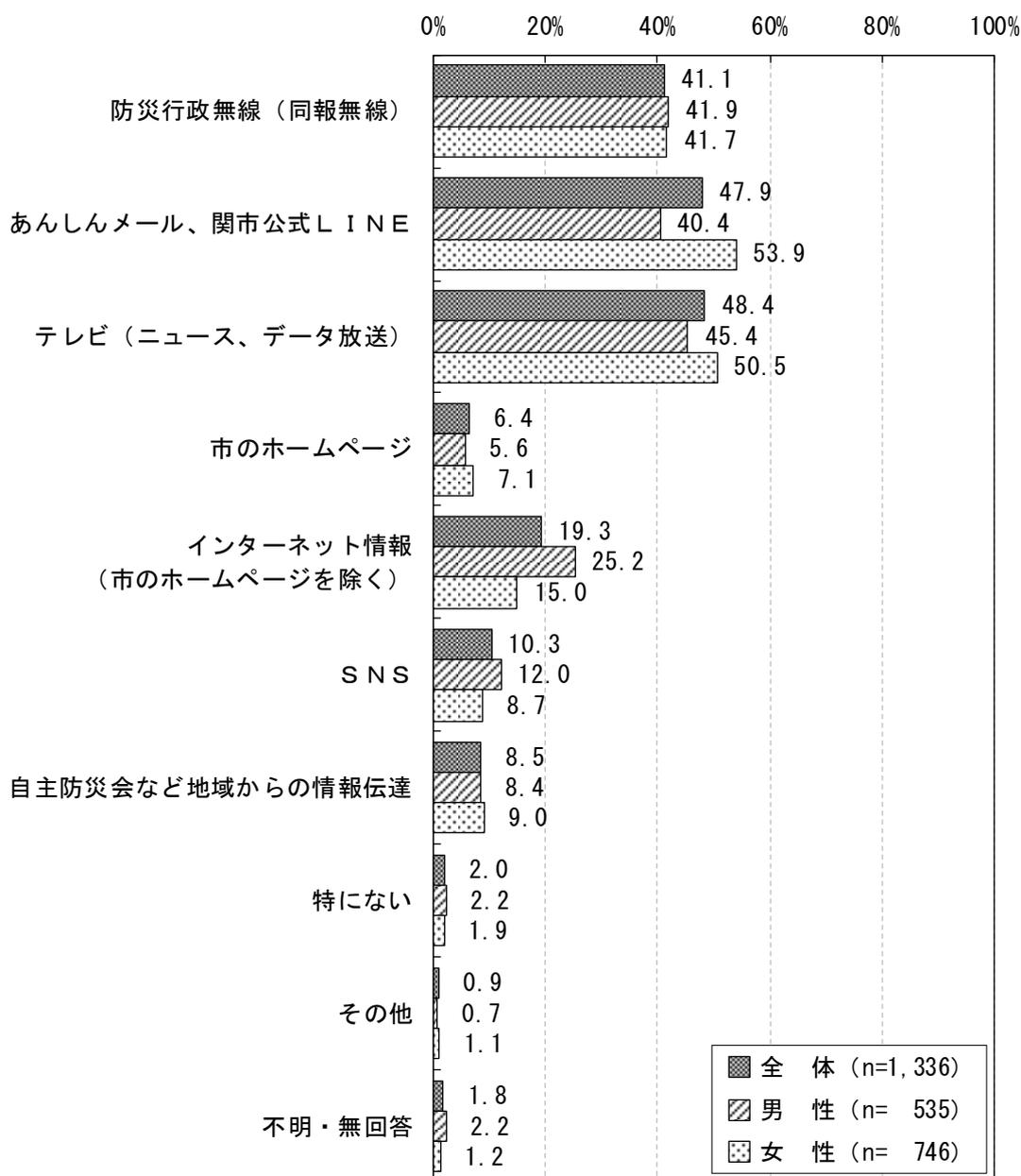
【「その他」の主な内容】

| 主な内容<br>※問32で「危険性がある」を選択 | 件数 | 主な内容<br>※問32で「危険性はない」を選択 | 件数 |
|--------------------------|----|--------------------------|----|
| ・過去に水害があった               | 8  | ・周りを見て判断                 | 7  |
| ・近くに川がある                 | 5  | ・近くに山や川がない               | 6  |
| ・近くに山がある                 | 4  | ・家族から聞いた                 | 3  |
| ・目視                      | 3  | ・山の上に家がある                | 1  |
| ・過去に土砂災害の危険があった          | 2  | ・2階建て                    | 1  |
| ・近くに山と川がある               | 2  | ・防災の行事に参加                | 1  |
| ・（集中豪雨等）最近の気象状況          | 2  | ・国のハザードマップ               | 1  |
| ・地形上低い                   | 1  | ・過去に災害はない                | 1  |
| ・排水路関係                   | 1  | ・家を建てる前に自分で調べた           | 1  |
| ・授業                      | 1  | ・地盤調査                    | 1  |
| ・ネット                     | 1  | ・確認していない                 | 1  |
| ・自己判断                    | 1  |                          |    |

**問34 あなたは、災害が発生したときやその危険性が高まったとき、気象情報や避難に関する情報について、主に何から入手しますか。（複数（2つまで）回答）**

気象情報や避難に関する情報の入手方法については、「テレビ（ニュース、データ放送）」が48.4%と最も高く、次いで「あんしんメール、関市公式LINE」も47.9%と高くなっています。

性別にみると、「あんしんメール、関市公式LINE」は、男性に比べて女性が13.5ポイント高く、「インターネット情報（市のホームページを除く）」は、女性に比べて男性が10.2ポイント高くなっています。



年齢別にみると、30歳代から50歳代では「あんしんメール、関市公式LINE」、70歳以上では「防災行政無線（同報無線）」が最も高く、5割以上を占めています。また、20歳代では「SNS」（フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラム、YouTubeなど）が最も高く、ほかの年代に比べても高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分                  | 防災行政無線<br>（同報無線） | あんしんメール、<br>関市公式<br>LINE | テレビ<br>（ニュース、データ放送） | 市のホームページ | インターネット情報<br>（市のホームページを除く） | SNS  | 自主防災会など地域からの<br>情報伝達 | 特<br>に<br>な<br>い | そ<br>の<br>他 | 不<br>明<br>・<br>無<br>回<br>答 |
|---------------------|------------------|--------------------------|---------------------|----------|----------------------------|------|----------------------|------------------|-------------|----------------------------|
| 全<br>体<br>(n=1,336) | 41.1             | 47.9                     | 48.4                | 6.4      | 19.3                       | 10.3 | 8.5                  | 2.0              | 0.9         | 1.8                        |
| 10歳代<br>(n=41)      | 24.4             | 43.9                     | 46.3                | 2.4      | 22.0                       | 17.1 | 0.0                  | 7.3              | 2.4         | 2.4                        |
| 20歳代<br>(n=91)      | 29.7             | 26.4                     | 35.2                | 7.7      | 29.7                       | 41.8 | 2.2                  | 2.2              | 0.0         | 1.1                        |
| 30歳代<br>(n=134)     | 34.3             | 58.2                     | 40.3                | 11.2     | 23.1                       | 19.4 | 6.7                  | 3.0              | 3.0         | 0.7                        |
| 40歳代<br>(n=179)     | 34.6             | 54.7                     | 43.6                | 8.9      | 27.9                       | 11.2 | 3.9                  | 0.6              | 0.0         | 1.7                        |
| 50歳代<br>(n=222)     | 39.6             | 57.7                     | 49.5                | 6.8      | 20.3                       | 7.7  | 4.5                  | 1.8              | 1.4         | 0.9                        |
| 60歳代<br>(n=308)     | 40.3             | 49.7                     | 54.2                | 5.8      | 20.8                       | 6.2  | 8.8                  | 0.3              | 0.6         | 2.3                        |
| 70歳以上<br>(n=355)    | 54.1             | 38.9                     | 51.5                | 3.9      | 9.0                        | 2.5  | 16.6                 | 3.4              | 0.6         | 2.0                        |

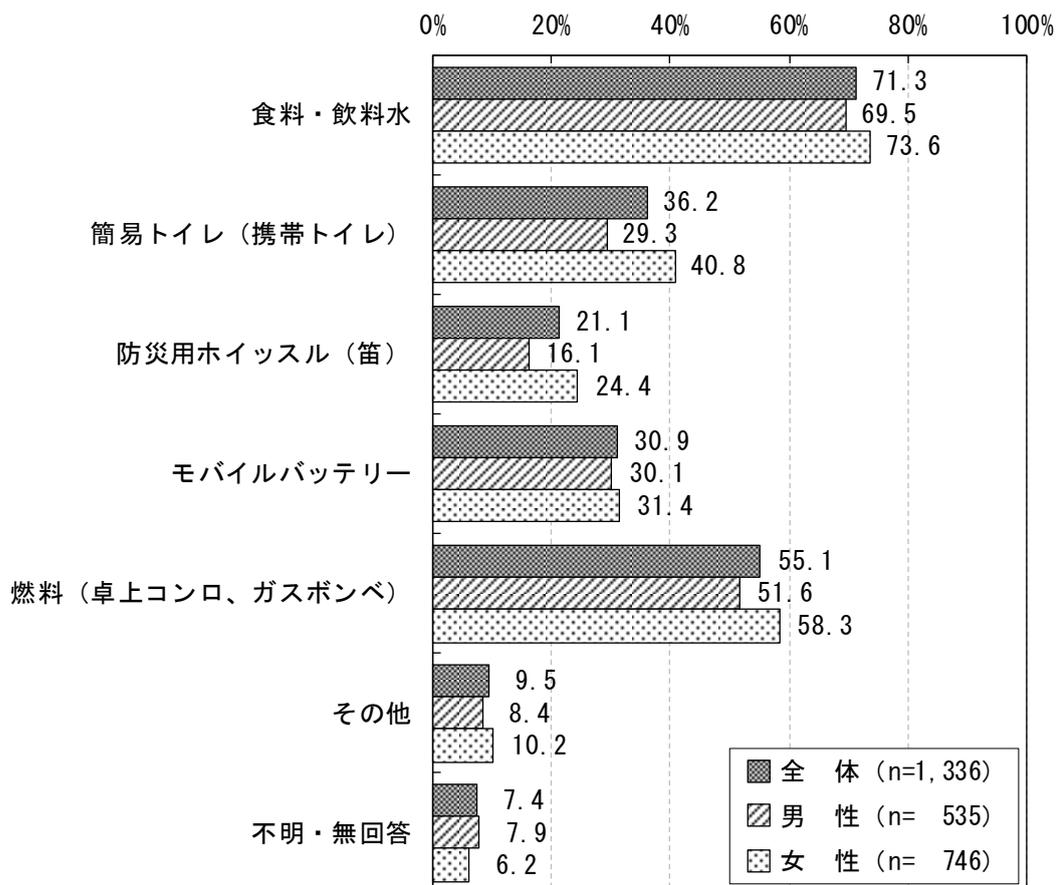
【「その他」の主な内容】

| 主な内容           | 件数 |
|----------------|----|
| ・ラジオ           | 3  |
| ・携帯電話（緊急アラーム等） | 2  |
| ・岐阜県公式LINE     | 1  |
| ・ぎふ川と道のアラームメール | 1  |
| ・市のアナウンス       | 1  |
| ・CB無線          | 1  |
| ・職場からの伝達       | 1  |
| ・目視            | 1  |

**問35 あなたの家では災害用備蓄品として何を準備していますか。（複数回答）**

家で準備している災害用備蓄品については、「食料・飲料水」が71.3%と最も高く、次いで「燃料（卓上コンロ、ガスボンベ）」が55.1%となっています。

男女別にみると、「簡易トイレ（携帯トイレ）」は、男性に比べて女性が11.5ポイント高くなっています。



年齢別にみると、40歳代以下で「モバイルバッテリー」も4割から6割程度を占め、高くなっています。

【年齢別】

単位：%

| 区分               | 食料・飲料水 | 簡易トイレ<br>(携帯トイレ) | 防災用ホイッスル<br>(笛) | モバイルバッテリー | 燃料<br>(卓上コンロ、ガスボンベ) | その他  | 不明・無回答 |
|------------------|--------|------------------|-----------------|-----------|---------------------|------|--------|
| 全体<br>(n=1,336)  | 71.3   | 36.2             | 21.1            | 30.9      | 55.1                | 9.5  | 7.4    |
| 10歳代<br>(n=41)   | 65.9   | 34.1             | 26.8            | 58.5      | 41.5                | 4.9  | 4.9    |
| 20歳代<br>(n=91)   | 69.2   | 36.3             | 9.9             | 45.1      | 36.3                | 7.7  | 6.6    |
| 30歳代<br>(n=134)  | 70.9   | 38.1             | 20.1            | 44.0      | 38.8                | 6.7  | 6.7    |
| 40歳代<br>(n=179)  | 72.6   | 43.6             | 19.6            | 44.1      | 54.7                | 8.9  | 7.8    |
| 50歳代<br>(n=222)  | 78.8   | 37.8             | 22.1            | 38.3      | 60.4                | 9.5  | 4.1    |
| 60歳代<br>(n=308)  | 71.4   | 40.6             | 19.8            | 25.3      | 63.0                | 11.7 | 8.4    |
| 70歳以上<br>(n=355) | 67.9   | 27.6             | 25.1            | 13.0      | 58.0                | 9.9  | 8.2    |

【「その他」の主な内容】

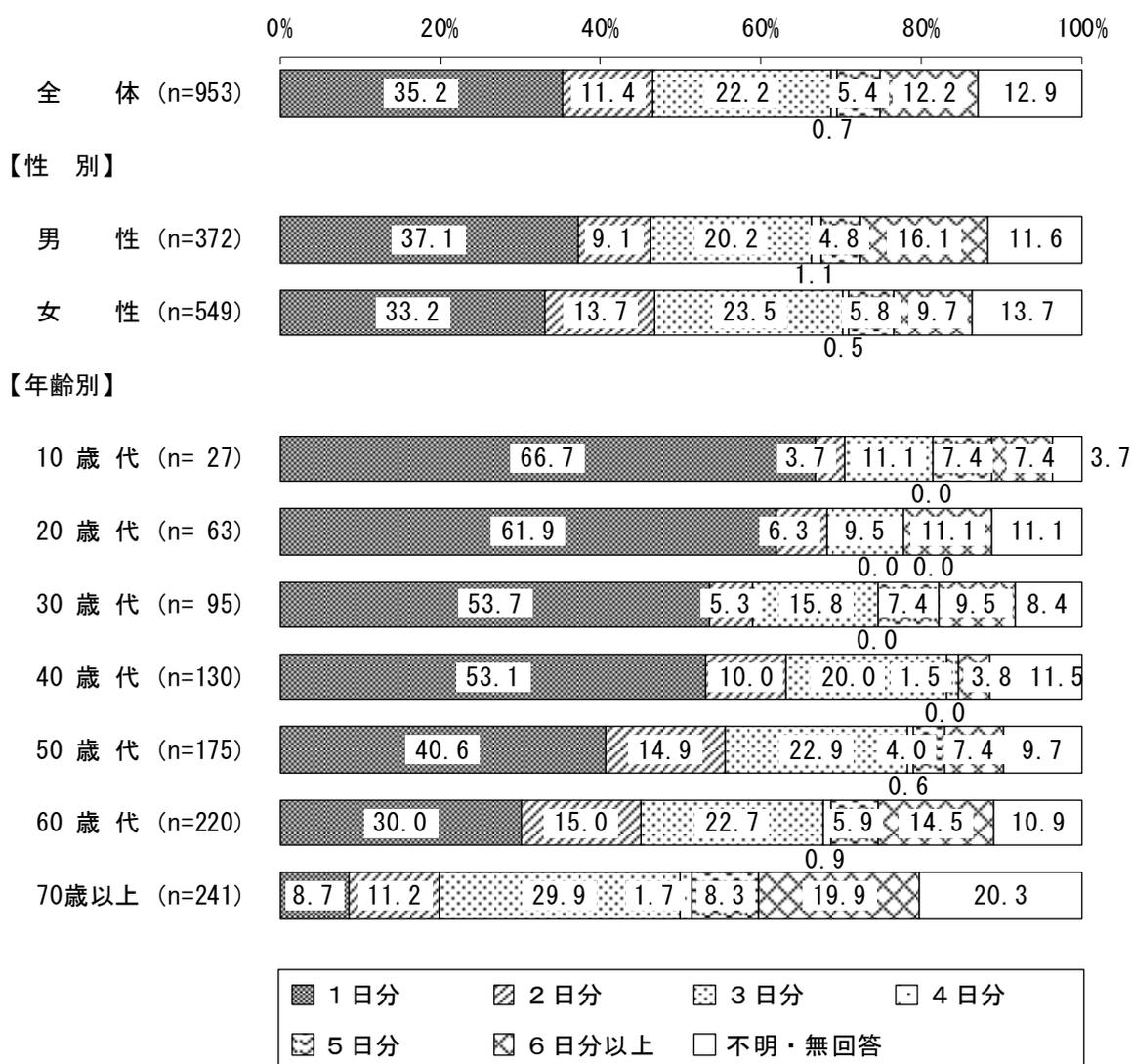
| 主な内容        | 件数 | 主な内容                       | 件数 |
|-------------|----|----------------------------|----|
| ・特に準備していない  | 42 | ・ストーブ                      | 2  |
| ・防災バック・リュック | 10 | ・キャンプ用品等                   | 2  |
| ・発電機等       | 6  | ・日用品                       | 2  |
| ・懐中電灯等      | 5  | ・オムツ                       | 2  |
| ・電源・バッテリー   | 4  | ・ウォータータンク                  | 1  |
| ・防災グッズ・セット  | 4  | ・アルミシート等                   | 1  |
| ・テント等       | 4  | ・ブランケット                    | 1  |
| ・ヘルメット等     | 4  | ・ライト等                      | 1  |
| ・寝袋等        | 3  | ・衣類                        | 1  |
| ・防寒具等       | 3  | ・使い捨て下着                    | 1  |
| ・ラジオ等       | 3  | ・米                         | 1  |
| ・生理用品等      | 3  | ・おかま                       | 1  |
| ・紙皿・コップ等    | 3  | ・防災用ではないが、いざとなったら使える物ばかりある | 1  |
| ・トイレトペーパー等  | 3  |                            |    |

### 問35-1 食料・飲料水備蓄日数（数量回答）

#### ※問35で「食料・飲料水」を選択した人への質問

食料・飲料水備蓄日数については、「1日分」が35.2%と最も高く、次いで「3日分」が22.2%となっています。なお、「3日分」以上確保しているのは40.5%となります。

年齢別にみると、年齢が高いほど日数が長く、70歳以上では「3日分」以上確保しているのが5割以上に及んでいます。一方、10歳代と20歳代で「3日分」以上確保しているのは2割台となっています。



## 4 自由意見

|  |          |
|--|----------|
| <b>(1) 地域福祉・福祉医療</b>   | <b>3</b> |
| <b>地域福祉について</b>  | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援が大切だということは、とても理解していますが、高齢化に伴う支援の拡大をお願いしたいです。ボランティア共助に頼り過ぎていていると感じることが多いです。</li> <li>・ボランティアなど、無償で駆り出すことはやめていただきたい。</li> </ul>   |          |
| <b>福祉医療について</b>  | <b>1</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生までの医療費を無料にすることで、子育て世代の負担が減るのはよいですが、日頃から手洗い等の感染対策をしている人より不健康な生活を送っている人に税金が使われていると感じます。無料だからといってむやみに受診する人もいます。今回のアンケートで、「多様性社会」に関する項目がありましたが、関市として推進する必要はないと思います。より多くの市民に関わる、農業支援やインフルエンザの予防接種の費用補助の拡大(高齢者以外にも)などをしてほしいです。</li> </ul> |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(2) 低所得者支援</b>  | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活苦に陥っている市民への待遇が極めて遺憾に思う。</li> <li>・病気等で働けず、生活保護申請しても支給額が少なすぎて、生活できないと聞いたことがあります。岐阜市に住んでいましたが、かなり関市は厳しいとのこと。自分がもし本当に困った時は、行政は助けてくれるのか心配です。</li> <li>・年金生活者に支援を。子どもも大事。年寄りも大事。予防接種の無料化。</li> <li>・もしも外国籍の人に生活保護を支給していることがあったらやめてほしい。</li> </ul> |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(3) 障がい者福祉</b>  | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市は重症心身障害の人に優しいまちではないです。でかけようと思っても身障者用駐車場の使い勝手が悪かったり、ユニバーサルトイレがなかったり、他県・市の方が関市に遊びに来たとき「関市は障害者に優しくないね。」と言われて悲しくなりました。重症心身障害児に優しいまちになってください。そして住みやすいまちにしてください。せきてらすを車いすの人に優しい設備にしてほしいです。駐車場から建物まで屋根がないので濡れてしまいます。福祉車輛から降りるのに看板があったり、石碑があってスロープか出せません。</li> <li>・新しい家が建つので、子ども遊び場所がなくなり、道路で遊ぶことで、ご近所トラブルとなってパトカーの見回りがよく来ます。安全に遊べる場所をきちんと整えてほしいです。障害のある人が親が亡くなった後、助けてもらいながらも生きていけるような福祉を進めてもらいたいです。親亡き後が心配です。</li> </ul> |          |

|   |           |
|---|-----------|
| <b>(4) 高齢者福祉</b>  | <b>10</b> |
| <b>介護保険サービス等について</b>  | <b>3</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険を長い間払っています。病院でさっさと歩けない、座ったり立ったりがスムーズにできなくても手摺り1つ付けてもらえません。介護保険を使えるハードルが高過ぎると思います。</li> <li>・親の介護で利用させていただいています。医療も充実してるので、いろいろな面で助かっています。ありがとうございます。</li> <li>・高齢者福祉サービスについては、市の中心部と過疎地域では大きな格差があると思います。在宅サービスがもう少し充実していれば、住み慣れた地域で、自宅でもう少し長く暮らせるのと思っています。</li> </ul> |           |

| 高齢者生活支援等について  | 7 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の福祉委員が敬老の日に記念品を渡すことにしています。自治会員以外の名前、住所、顔も知らない人に渡すという無茶なことを下有知ふれあいセンターの方に言われますが、あまり無理強いをしないでほしいです。市の記念品は市で対応してください。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢になっても地域で安心して暮らせるまちづくりをお願いします。特に移動の問題。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の移動手段に対する配慮が乏しい。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>60歳を越えて、老後の暮らし方、死に方についていろいろ考えるようになりました。年金をいただく時期が近づいていますが、楽しい老後を送りたいと思っています。老後の考え方は人それぞれです。私が夢に見る老後は、夫婦から一人になり安全に衣食住、レクリエーションでき、自由がある暮らしです。ボケたくないで頭を使うため少ないお金で株をしたり、パチンコをしたり、そんな生活ができればいいなと思っています。現実にするには難しいです。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>私自身が関市の行事にもっと関心を持って参加すればよさがわかってくると思いますが、家の中に閉じこもり過ぎだとは思っていますが、80代になるとどうなるやらと心配です。デイサービスの声も今はなく80代までとりあえずがんばります。主人は80歳を過ぎて毎日大変です。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者の年金生活暮らしです。現在は、夫婦共に健康で過ごしており、関市や付近の方々に迷惑をかけないようにがんばっていますので、よろしくをお願いします。関市に住居を構えて38年になります。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>間違えて汚い回答用紙にしてしまい、ごめんなさい。17年前から関市にお世話になっていますが、とても暮らしよいまちでうれしく思っています。高齢者にも、とても温かいご支援をありがたいと感謝しています。</li> </ul>   |   |

| (5) 子育て支援   | 28 |
|---|----|
| <b>保育等について</b>  | 4  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てや福祉系の手当が充実しており、とても助かっています。特に、第二子以降の保育料無償化はありがたかった。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園の給食無償化など、子育て支援政策が充実してきたと実感しています。ありがとうございます。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>保育士、教育関係の方々への研修を増やすべきだと思う。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>小さな子どもがいるので、関市の子育て支援にはとても感謝しているし、未満児の保育料の件や一時預かりの充実など、他市町村の方からも驚かれます。また、子どもが親子教室に通っていますが、子にとっても親にとってもありがたい場所で、先生方も相談しやすいし、ここに通ったことで子の成長を感じられます。通所児童が増えていることで、通える日数が減っているの、人員の確保をお願いしたいです。</li> </ul> |    |
| <b>子どもの遊び場について</b>  | 4  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが歩いたり自転車で行ける公園がほしい。近所の子たちと遊ぶ場所がない。雨の日でも自由に遊べる場所がほしい。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを遊ばせる場所が少ない。あっても混んでて行きづらい。外の公園もあるけど、夏や冬は行けないから、室内の施設を増やすか、マーゴみみたいなモールにも子どもが遊べるスペースがほしい。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの不登校。多様な学びの場が選択できるとよい。夏が暑過ぎて、小中学生の居場所が少ない。公園や外は熱中症の危険がある。子どもたちがチャレンジできる家庭、学校以外の地域の場所があるといい。いろいろな大人と関わられるようになるといいが、経済格差や生活費の負担をつらく感じている。関市に住めば多様な子どもの意見を取り入れた学びができるようにしてほしい。</li> </ul>            |    |

|   |          |
|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が遊ぶ場がない。ボール遊び禁止。OKだとしても、小さい子どもが危険で思いつき遊べない。小学校のグラウンドは卒業したのだから入らないと先生から注意される。中学校は私用での使用は禁止。住人しか通らない家の前の市道は警察から注意される。物が壊れるかもしれないと近所の人から嫌がられる。家でオンラインゲームばかりで、外で遊ばない子どもが増える。インキャの子どもを増やさないで。外でおもいきり遊ばせて！</li> </ul>  |          |
| <b>経済的支援について</b>  | <b>9</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものためにせき p a y をくれて、本当に助かります。ありがとうございます。制服とかジャージなど必要なときに使えて本当に助かりました。共働きでもお金がある訳ではないので…。子どもの選択肢を増やしてあげたいので、バスの学割とか自転車で通えない高校にも行かせてあげたい。</li> <li>・子育てにとっても手厚く、せき p a y などとても助かっております。また、子どもにせき p a y があればとてもうれしいです。</li> <li>・関市は子育て支援が手厚いと思います。今回もせき p a y と市の援助で子どものインフルの予防接種を無料で受けられました。ありがとうございます。</li> <li>・高校生の子どものを持つ親としたら、中学生までしか、せき p a y がもらえないのはつらい。高校生こそお金がかかり大変。物価高の今、家計が大変。</li> <li>・子育て支援のせきチケ、保育園の2人目無償、給食費の無償化など、とても助かっています。今後もさらに子育て支援について考えていただくと助かります。</li> <li>・子育て支援はありがたいと思いますが、今は大学へ行く子も増えています。大学生をもつ家庭にも子育て支援があるとありがたいです。</li> <li>・市内で自営業をしています。母子手帳交付の時にもらえるママサポート券利用店舗として登録しています。私は出産後、乳腺炎になり、母乳外来で使えたのですがごくありがたかったのですが、うちに来るお客様の声を聞いていると、「仕方なく使っている」「使い道がない」「子どもを預けるところがないのに、使えない」など否定的な声ばかり聞きます。実際うちで使う方も、仕方なく使うだけで使い切ったら、それ以降の来店はなく、集客にもつながりません。せっかくサポート目的でやっているのに、否定的な声ばかり聞くので必要なのかな？と疑問です。仕方なく使われては、やる気もでません。(笑)</li> <li>・子ども支援の給付金や非課税世帯への給付金は、毎年、充実していると思いますが、働いていても、物価高の現在、生活費、特に食費や光熱費はとても高いので、去年までのプレミアム商品券やお米券などの補助をしていただきたいです。</li> <li>・この前のひとり親のお米給付ありがとうございました。助かりました。</li> </ul> |          |
| <b>少子化対策について</b>  | <b>6</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを産み育てる人が増えるといいと思っています。</li> <li>・少子化対策を強化してもらいたいです。安心して出産、子育てできるように対策を取ってほしいです。特に金銭面で。高齢者介護施設を利用するときの負担費用をもっと安くしてほしい。そして本当に必要とする人が持つことなく入所できるようにお願いします。</li> <li>・20～30歳代の結婚の促進と出会いの場をつくってほしい。とにかく結婚してたくさん子どもが生まれてほしい。</li> <li>・私は70歳です。やはり子どもが少ないことがすべての原因ではないかと思っています。私たちが今できることは何かを考える時期だと思います。そして今いる子どもたちが生きていてよかったと思えるような見本を示さないといけないと思います。時代の流れを元に戻すことはできないから、これからは大変な時代ですね。</li> <li>・いつも関市のためにありがとうございます。歯科検診や子宮頸がんの補助をしてもらえるのはありがたいです。使わせてもらっています。これから出産、子育てを考える時期でもあるので、市からも援助があると大変助かります。いつまでも綺麗で住みやすい関市であり続けるために、一緒に考えていきましょう。よろしくお願いします。</li> <li>・空き家対策、若者の結婚支援、母子・父子家庭の支援。</li> </ul>  |          |

| 子育て支援全般について   | 5 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援が充実してありがたいです。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関してたくさんのサポートや補助があり、大変助かっています。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市に引っ越してきて、結婚・妊娠・出産を経験しました。妊娠・出産に関して、関市はとてサポートが手厚く、家族や知り合いのいない場所で子育てをしています。不安なく過ごせています。子どもが遊べる支援センターやサロン、毎月の子育て相談等、家の外に出て誰かと話したり、相談できる環境をいただけることがとてもありがたいです。若者離れが進んでいるかと思いますが、これだけ子育て支援が手厚いので、一度は地元を離れても関市にまた戻って子育てをしたいと思ってもらえたらいいなと思います。いつもありがとうございます。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>特に問題なく、この年まで過ごしてこれたことに感謝していますが、15～70歳の方の社会に対する意見はまた違うのでしょうか。ちょっとくらい貧しくても、子どもたちが親の愛情をいっぱい受けて育てられる時間がたくさん取れることがいいなと思います。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>私は母子で暮らしています。上の質問にもあったのですが空き家バンクは知りたい情報です。母子で暮らしていくのに、相談を今年初めてしたのですが、相談できる場があるとわかかっていてもなかなか難しかったです。私は、今年で子どもは卒業するので、関係はなくなりますが、母子の方が子どもと笑って過ごせるまちにしてほしいと思います。</li> </ul>   |   |

| (6) 健康  | 2 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>健康で働く意欲のある人が働けるまちづくりが健康増進になると思います。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜインフルエンザの費用が老人より子どものほうがかかるのでしょうか。もう少し子どもにも手厚くしていただけると幸いです。言い方が悪く申し訳ないです。</li> </ul> |   |

| (7) 地域医療 | 0 |
|----------|---|
| —        |   |

| (8) 教育環境づくり   | 8 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が仕事に見るのですが、小学生の下校時間で帰るのを見ていると、車の通りが少ないからか、車道を左右を確認せず横断したり、車道の真ん中を歩いて車が来ても気付かないのか、避けることもしないでそのまま歩いて、車が徐行しているのを見ます。学校でちゃんと教育してほしいです。(星ヶ丘地区)</li> </ul>                 |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市がどのような活動をしているのか、わかりやすく伝える方法があるといいです。旭ヶ丘小学校の駐車場の出口(体育館側)をきれいにしてから、「止まれ」の文字が消え、車が突っ込んで来るようになりました。毎日通るのでとても怖いです。なぜ消したのでしょうか?周りに住む人のことも考えてほしいです。</li> </ul>               |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがもっと「安全で安心」で過ごせるように、帰りもボランティアの方に奥の方まで見守ってほしい。小学校から遠くなればなるほど人目が届きにくく危ないのに、いないと親としてはとても心配。このご時世、何があるかわからないからこそ、関市の人たちで安全・安心を守っていききたい。</li> </ul>                      |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路が狭く、車もたくさん通るので危ない場所がある。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の歩道の草刈りを早めにやってほしい。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の給食費が高い。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の手洗い場所をつくってください。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市の小学校の体育館に早急にエアコンを設置してほしい。夏場はほぼ毎日WBG Tが高すぎて、グラウンドで遊ぶことはほとんどできず、ずっと教室の中で過ごしている。せめて体育館にエアコンがあったら、子どもたちは運動もできるし、災害時には避難所としても運営できる。学校教育にもっとお金を使うべきだとずっと思っています。</li> </ul> |   |

| (9) 小中学校教育  | 6 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校が完全複式になる前に学校の再編成がなされるよう、地域の住民、特にお年寄りに、その必要性を啓発していただきたい！</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年前と比べると自治会役員の仕事が増加・複雑化しています。消防団と同様、役員を拒否する方が増えると思います。学校の統合廃校ですが、美濃市が10数年前に行い、結果、地域の活気がなくなりました。関市もそうなるのかな？</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のトイレ掃除ですが、定期的に業者の方に来てもらったら、子どもや先生方の負担が減るのではないかと思います。外国籍の子どもで日本語がまだ理解できない子どもに対して支援をもう少ししたらよいと思います。どこの国の子どもにも優しさを持ったら、関市は優しい市になるのではないかと思います。</li> </ul>                                   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けイベントが活発になっている。子どもを連れてわかくさやせきてらすなどに多く足を運んだ。夏休みも図書館、文化会など楽しみなイベントが多かった。子どもの権利条約を知らない子どもたちが多い。大人も子どもと共に学ぶ機会をもっと工夫して多くつくるべきだと思う。そのことで家庭内、子育て支援、社会的養育すべての日常生活において予防的な関りのヒントとなる。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児がいるので、福祉に力をいれてもらいたい。学校でも朝きちんと登校して下校時間に帰るのが常識だが、それができない子どももいる。「今日はちゃんと来たね。」が圧になる子もいる。先生も大変だと思うが、障害児の特性を担当の先生だけでも知ってほしい。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれてから老人まで安心して暮らせる関市（世の中）。特に子どもたちの学びを大切にしてほしい。教育が昔とあまり変わりなく、楽しく学校へ行く環境が必要だと思います。</li> </ul>   |   |

| (10) 関商工高等学校   | 2 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関駅のイルミネーションは、毎年とても綺麗です。高校生とコラボ商品開発など、積極的に若い世代と意見交換するのは、継続して行ってほしいと思います。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少ないところがあると思う。商工の商業科へ行く入口のある付近の道路が暗くて学生が危険な目に合わないか心配。</li> </ul>                 |   |

| (11) 市民協働  | 18        |
|--|-----------|
| <b>自治会活動について</b>   | <b>11</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの基本は人間関係づくりです。つまり人と人のコミュニケーションから始まります。その最も大切なことは家族・地域です。地域づくりの中でも自治会の役割は非常に大きいと思われます。しかし現実、関市としては自治会の加入率が低下しています。その中、ごみの処理のことが地域で問題になっています。もっと行政、市も自治会への加入を市民に勧めてほしいです。</li> </ul>                                    |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、活発な70～80代の方々が活動や役員をできなくなったとき、それを望まない若者や自分たちに強要されるのが心配。災害についても、いくら避難所とか食料とか準備していただいても、実際には行けない場所にあるので、どうすることもできないと思う。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・年々年を取っていくため、自治会の掃除、付き合いが大変。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、団塊の世代のやや下の世代で、一昨年まで自治会や地域活動を約10年程していました。団塊の世代の高齢化とともにいろいろな役をしてくれる方(中心となる協力者)が減ってきています。我が家のまわりには、次世代を継ぐ若者がおらず、地域を見渡しても同様で、あと10年もすれば、組織自体の維持存続すら危うい状況です。また、新たに地域に来られる若者世代の中に、自治会や地域活動に無関心・消極的な方がおられることも気になります。</li> </ul> |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会費の集金に一件一件、家を回るのを改善してほしい。消防団の集まりが多い。特に飲酒を消防団の車庫でするのはやめてほしい。深夜までうるさい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会など、わずらわしい活動は不要、強制しないでいただきたい。ルールを守れない外国人はサポートする必要はない。</li> </ul>   |           |

|  |          |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会のあり方を考えてほしい。部会の体育委員などは今の生活の中で負担である。やりたい方々が進めていただけたらと思う。地域を守る美化活動では、公園も何度草刈りをしてもすぐに伸びてくる。市の補助金（税金）はいらないので、どうにかならないものか。自治会離れが深刻である。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きの増加や子どもの遊び場の減少に伴い、自宅に子どもがいる時間が増えているのに、自治会活動の負担が大きい。自治会をなくして、防災活動、通学路の清掃活動に資金や時間をかけるほうがよいと思う。子ども会や「山の子」など、今の時代、コロナもある中、なかなか難しく感じます。オンライン授業の強化など、不登校の子や休みがちの子に何かできることなど考えたほうがよい。せき p a y はありがたいが、使えないところがあり不便感じる。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りとか昔からの決まりごとがあり変化がない。役が多過ぎて面倒くさい。岐阜市の方が住みやすい。電車がなくなったのが一番困る。老人には住みにくいまち。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害（主に水害に関わる）時の避難場所の明確化。公民センターがある地域は、その地域の公民館がハザードマップにおける危険地域にあるのに、そこに非難する意識がある。そのため、地域の役員もそこに残らなくてはいけない。「広報せき」を郵送形式にできないだろうか。配布者の高齢率が進んでおり、件数が多い地域は負担に感じることがある。閲覧板の必要性を感じない。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会に対して、自治会費に神社費用（伊勢神宮のお札代金や地域の神社費）含めている。これは憲法違反であることをすべての自治会に通達し、徹底してほしい。</li> </ul>   |          |
| <b>市民活動について</b>  | <b>5</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市に関心がある人を大切にしていない。市民活動に貢献している方を尊重すべきと考えます。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の行政視点傾向が強いこと。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人が多いと思います。すべての人が住みやすい関市は難しいと思いますが、市長、市役所の方のアイデアを期待しております。協力します。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの活動と私の住まいはかけ離れているし、100歳近い老人がおり、かかることも今はないのですが、こんな私でも近い場所で参加できるように、企画していただきたいと思っています。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・よいまちになるようにしていきたいです。</li> </ul>   |          |
| <b>住民自治について</b>  | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の関市の観光行政における一部の事例、例えば、「本町BASE」の廃止危機や映画製作を巡る訴訟問題などは、結果として市のブランドイメージを毀損する事態を招きました。これらの問題の根底には、外部の企画や事業者への過度な依存体質が潜んでいると考えられます。もちろん、関市職員には優秀な人材が多く、その能力は市外からの企画に頼らずとも十分に発揮できるはずですが。職員の方々には、外部依存を脱し、自らのキャリアを磨きながら、真の自治と独自の政策立案に、より積極的に取り組んでいただきたいと強く願います。今、関市民と市職員双方に求められているのは、「自治の根本」を理解し、学び、それを実行に移すことです。ここからこそ、市民が自らの地域に誇りを持つシビックプライドが真に醸成されるでしょう。その実現において、地域委員会の存在は極めて重要です。委員会が持続可能で効果的な活動を続けるためにも、その組織のあり方や活動内容を不断に見直し、自治の要として機能するよう、常に模索と改革を進めていただきたいと考えます。</li> </ul> |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域委員会の在り方について、何を目指しているのかが明確ではないです。小規模多機能自治を目指しているのであれば、そのように住民が理解してやっていかないといけないし、事業型などで対応できる人材育成や考え方も、今から知っていくための勉強の場が全く提供されていない実情は、将来混乱を生むと思っています。住民主体とは言いがたい状況であると思います。</li> </ul>   |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(12) 女性・若者活躍</b>  | <b>4</b> |
| <b>女性活躍について</b>  | <b>0</b> |
| —  |          |
| <b>若者支援について</b>  | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の出会いの場。</li> <li>・親として子どもたちに結婚してほしいが、生活が苦しくなると思われるので勧められない。なので住宅支援、子ども支援で環境を整えてほしい。自分たちも含めて高齢者に力を注ぐのを抑えて、若い世代を支援すれば、ボランティア、若い力が高齢者を支えることに必ずつながると思う。全国に先駆けてそのモデルに関市になってほしい。</li> <li>・働く世代への補助金や物価高騰などに対する対策を何か考えてほしい。子どもばかりで、子どものいない世帯には何もない。もっと子どものいない世帯にも何かあると人口増にもつながるのでは？と思うことがあります。</li> <li>・これからの未来を背負う子どもたちをととても大切だと思っています。私たち年金をもらえるかわからない世代も今、年金をもらっている人たちや介護を受けている人も、若いときは税金、授業料など一生懸命働いて今の私たちの年代の高齢者と呼ばれる人たちを支えてきました。支える人数が違うとはいえ、高齢者の数が多いことが悪のような世の中です。私は皆さんに迷惑をかける前に逝きたいと思っています。子どもは大切です。でも子どものいない夫婦。若者。狭間にいる者にも目を向けてほしいです。</li> </ul> |          |

|  |           |
|--|-----------|
| <b>(13) 過疎対策・地域振興</b>  | <b>11</b> |
| <b>過疎対策について</b>  | <b>6</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のためにいつもありがとうございます。20～30代が定住するためには、安定した働き先・給料の支給などはもちろん、生活圏内の環境の充実なども求められると思います。旧関市内は新規物販店舗の増加があり、住みやすいところだと思いますが、それ以外の地域ではそのような印象がないので、過疎化が進んでしまうように思います。市内には板取・上之保に温泉があり、せきまつりや刃物まつりなど集客できるイベントもたくさんあります。さらに、東海環状の一部開通などにより関市へのアクセスも非常によくなったと思いますので、市民だけでなく市外からの観光客なども巻き込んで盛り上げて行けたらいいと思います。</li> <li>・日頃から何のイベントでも関市で行われています。関市に住んでいる山間僻地の人々のことも考えていただきたいです。不自由な生活をしている方もたくさんみえます。</li> <li>・田舎の方でもイベントをやってほしい。</li> <li>・中心部についてのまちづくりが主で、中心部から離れたところについては、見捨てられたような感があります。いろいろな点で関市民というより、市外の田舎という扱いのような気さえます。とにかく、交通が不便というのがすべての根源です。スムーズに移動できる手段がほしいです。</li> <li>・市の中心部は明るく、除草もされているが、少し外れると雑草は伸び放題、街灯もなく夜散歩しようと思えない暗さ。歩道を歩こうと思っても雑草が生えて歩けない。電話をしても刈ってもらえない。子どもの権利は大切だが、それ以前にあいさつの教育など、基本を学んでほしい。権利ばかり主張する若者が増えるのは困る。</li> <li>・関市に住み続けることと、同じ関市でも過疎化の進む地区に住み続けることは、同じではない。</li> </ul> |           |
| <b>地域振興について</b>  | <b>5</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなにぎわいが局所的なので、分散型の活性化を期待する。地域での交流（世代間や新しい住人との）が少ないので、自治会をまたいだレベルでのミニイベントがもっとあるとよい。そのため、複数自治会で合同開催する催し限定での補助金を創設してはどうか。（自治会補助金への特定目的に加えて、部分的に補助率を上げるなど。）</li> </ul>  |           |

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧武儀郡と関地域との格差が広がっています。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧武儀郡管内は、人口が減少しており、逆に高齢者は増えていきます。今後20年先を見据えると高齢世帯が増え、諸活動ができなくなってしまう。市はどのように対策されますか？</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・洞戸の調理室自体はきれいですが、フライパンなどが古くフッ素加工もはげていて気持ちよく参加することができない。食器を洗うスポンジも古く、衛生面が心配。洞戸運動公園のバスケットコートがずっと使用できない。早く使えるようにしてほしい。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上之保地域は高齢化が進み、今後安心して住めなくなることを危惧している。高齢になると住むには不便すぎて不安。まず、交通が不便でデマンドバスなどをもう少し充実させてほしい。病院（つぼ川診療所）にもっといい医師が必要。買い物も衣料品やバローなどのような大きな店舗があるとありがたい。現在の●●は商品がよくない。また高齢者に配食サービスを充実させてほしい。関市は、子どもにはお金を出して充実させている気であるようだか、高齢者にも優しい視点で利便性のよい地域づくりをしてほしい。</li> </ul> |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(14) 多様性社会（ダイバーシティ）</b>   | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援券とても助かります。感謝しています。外国人による土地・不動産購入制限について市の独自で条例をつくるよう希望します。土葬用地や犯罪拠点となって、全国各地で問題になっているニュースを見ると不安に感じます。市内でも中国人移住者のトラブルを聞きました。日本人は中国に土地を所有することはできません。相互関係が成立していない国籍への人への売買制限をつけていただきたいです。</li> <li>・最近、岐阜県内で美濃加茂市のモスク建設などの影響による治安悪化などを不安視する問題がSNS上で多く浮上しています。移民問題や政策が関市ではどのように進んでいるのか知りたい。</li> </ul> |          |

|                |          |
|----------------|----------|
| <b>(15) 人権</b> | <b>0</b> |
| —              |          |

|                  |          |
|------------------|----------|
| <b>(16) 生涯学習</b> | <b>0</b> |
| —                |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(17) スポーツ</b>  | <b>8</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所、わかくさが関市の中心の建物であるなら、駐車場をもう少し拡大してもいいと思う。イベントがあるときやスポーツ大会が体育館で行われているときは、とても混んで車を駐車するのに困る。</li> <li>・アテナ工業アリーナの工事期間（2026年4月1日～2027年3月31日）が長過ぎて、プールなどの施設が使用できません。もっと短期の工事期間でできないのでしょうか。何回かに分けて工事できないのでしょうか。もっと違った方法はなかったのかと思います。残念です。</li> <li>・結構活発に行われていると思います。個人的に、中池のプールの改善を望みます。30年前とあまり変わらないです！</li> <li>・公共施設の使用料はやや高いです。中池テニスコートと答えましたが、経費は何によってまかなわれるかと問われ、使わない人が負担するのは変だと思いましたが、使う人だけで負担すると、とんでもない金額になりそうです。難しいと思いました。</li> <li>・ずっと働いていて、65歳で辞め、毎日グラウンドゴルフとプールの日々です。一時、膝と股関節を悪くして、この2年で両足の手術をしました。何とか元気な足となりましたが、以前やっていたバレーボール、バドミントンは、ハードで足を傷めるのではないかとやれません。グラウンドゴルフだけありがたいです。わかくさプールがあった頃は、近くて通いやすかったですが、武芸川プールはコースも短く教室はいっぱいで泳ぎにくいです。一日も早くわかくさプールをなおしてください。</li> </ul> |          |

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の値下げ。公園をつくり、ゲートボールなどできる施設もほしい。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はスポーツが大好きで、今は、中学生のテニスにも関わって手伝いをしています。クラブ化の流れもあり、部活がなくなるので、子どもたちがスポーツに触れる機会も今後、減少すると思っています。屋外でのスポーツが特に大変で、場所の環境が悪く、上達の妨げになっています。子どもたちがもっと活躍する姿を見たいので各スポーツ団体の声を聞いてほしいです。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中日ドラゴンズ2軍、ぜひ誘致してほしいです。</li> </ul>   |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(18) 文化・芸術・歴史</b>  | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近では刀関係でゲーム(刀剣乱舞)などとコラボをしていたりと、柔軟な活動が見られるのでよいことだと思います。伝統を積極的に発信して未来につなげられたら素敵だと思います。</li> </ul> |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然、歴史あるまちなみ、刃物の文化を後世に残してほしいです。</li> </ul>  |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(19) 工業</b>   | <b>1</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・刃物祭りに参加したいが、人が多過ぎてゆっくりもできず、また行きたいという気持ちが上がリません。特に、子どもの反応は、楽しいと感じるところが露店だけなので、将来的に刃物のまち関市というものに誇りを感じることができると聞かれると、恐らく薄いのではないかと思います。関市を将来的に活性化するためには、若者9歳から18歳までの意見を取り入れた方がいいのではないかと思います。大人としては、車もあり生活しやすいまちとは思いますが、若者からすると娯楽施設が少ないので、バスで気軽に行ける名古屋に行ってしまうのは仕方がないでしょう。</li> </ul> |          |

|   |           |
|---|-----------|
| <b>(20) 商業</b>  | <b>19</b> |
| <b>中心市街地の活性化について</b>  | <b>6</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関の商店街の活性化を進めていただきたいです。若者でにぎわうまちづくりをお願いいたします。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町通りがシャッター街になっている状況は、なかなか改善されない。点としての動きは少しあるが、線や面としてもう少しアイデアを出して活気あるまちにしてほしい。関市全体の元気を象徴しているような気がする。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町通りを通るたびさみしくなります。ほとんどシャッターが閉まっている。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町通り(シャッター通り)を活性化させるため、駐車場整備及び空き店舗の活用により若者向け雑貨品店、ギャラリー、B級グルメ、日替わりで飲食店に活用する。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町通りに駐車場がほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・メイン通りの活性化。</li> </ul>   |           |
| <b>商業・娯楽施設等について</b>   | <b>6</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ららぽーとやアウトレットなど、もう少し人が集まる商業施設を誘致してほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい施設や場がもう少しだけほしい。市内商業施設にビアードパパを建ててほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設をもっと充実したら人も集まると思います。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市は何もない。娯楽施設が少ない。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の近くの田んぼを人が集まるための施設やお店を建ててもっとアピールするとよいと思う。田園風景を守ることに魅力を感じない。関市はたくさんのイベントをしているけれど、ウォーキングポイントのようなイベント参加ポイントなどがあると、そのイベントに行くきっかけになり参加する人もふえるのではないと思う。携帯QRでポイントをためる。</li> </ul> |           |

|  |          |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども服やマタニティ、若者向けのお店があまりないので、各務原市や可児市に行くことが多いです。行くまで時間がかかるので、頻繁に行けません。関市にもバースデイ、親子で楽しめる雑貨屋（ワンズテラス e t c）があるといいと思います。施設内アスレチックとか親子で楽しめる場所がもっと増えてほしいです。子育て支援に関してはとても助かっています。ありがとうございます。</li> </ul>  |          |
| <b>イベントの活性化について</b>  | <b>7</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し人が集まるようなイベントやケンミンショーに出られるような食べ物があればよいと思いますが、なかなか難しいですね。交通の便は年々不便になると感じています。車に乗れなくなったら買い物にも行けないですね、何かしら対策をしてほしいです。</li> <li>関の祭りに有名人を呼ぶ。</li> <li>関市外から人が来るようなイベントが少なく感じます。</li> <li>私は生まれも育ちも関市です。いろんなイベントも気に入っています。これからの関市に期待しています。平和で明るく問題のない関市になってほしいと思います。</li> <li>公共施設、イベントの維持にもっとボランティアを募集したらいいと思います。</li> <li>イベント企画において、もっと関市内の人、企業、団体の知恵やノウハウを活用すべきです。関市のことは関市民が一番知っていますし、愛着があるはずで、多額のお金を東京や関市とゆかりのない方面へ流すのではなく、地域内に循環させていくことが必要だと考えます。</li> <li>関市主催の催しものに参加したいと思うが、参加対象が親子、高齢者、起業したい人向けのものが多く、50代無職の人が参加できるような催しものが少ない。体調不良のため、車の運転を控えているので、バスの本数が多いとよい。</li> </ul> |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(21) 経済・雇用</b>  | <b>7</b> |
| <b>経済対策について</b>  | <b>3</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代や補助金を受ける人たちは恩恵があるため感じる人が多いと思うが、なかなか給与が上がらないこの世の中で、何も補助や控除を受けない若者、独身者には、特によいと感じることが少ない。昨年度等、せきPayをやってもらった時は、少なからず購入者が恩恵を受けれたため、関市内でもいくらかは経済が回ったと思う。子育て世代にお金を配るという行為は、国もそうだがやめていただきたい。なぜならば、貯蓄に回るから。この先の未来、明るい話も少なくどうなるかわからないからこそ、貯蓄に回したくなる気持ちはわかるが、それだと税金を使った意味がない。やはり、無償化や現物支給、割引券など貯蓄に回らず、経済も回る、そして支援。どれもが当てはまるまちづくりを実現してほしい。20～30代が少ないのも、名のある会社が少なく、企業誘致も必要だと思うが近隣の市町村もあまり変わらないのではないだろうか？子育て世代、出産育児一時金に関して、自職場で起きたことだが、育休中に就職活動をしていた事実があったため、ハローワークに電話したが本人の申告がなければ事実を認めることができないと言われた。ルールの中でやってもらう分には構わないが、そういうことが横行するなら無駄な税金とを感じる。晩婚化が進む昨今、そういう環境に置かれた独身者や20代の若者が、都会と言われる場所に行くのではないか？</li> <li>物価高騰で出勤するのも買い物するのも自動車の生活でガソリン代、食費をどれだけ節約しても毎月苦しいです。仕事の働き方を変えても出ていくお金は非常に多く、収入はなかなか上がらずカットばかりで、これから社会に出る子どもたちはもっとつらい生活をしなければならぬのかと思うと、関市の企業にがんばってほしいです。負担ばかりが多くなる関市民より、負担の軽い市民が多くなれば、人口も多くなるのではないのでしょうか。どうか住みよい関市にしてください。</li> <li>世の中、通販で何でも買うことができる。地域で購入することができないものはいたし方ないと思うが、自分で住んでいるところでお金を使ったらといつも思っている。地域にお金を落とせば、ひいては自分たちの生活の利にもなるのでは？そういうことをもっと市としてもアピールしてほしい。</li> </ul> |          |

| 雇用対策について  | 4 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致や雇用に関する施策をもっと本腰を入れて結果を出してほしい。いくら住みよいまちにしても、収入源が小さく少なくてはいけません。同様に名古屋方面への電車経路を確保していただきたい。そのほかは、来る少子高齢化に備えて、バス等の公共交通機関と医療施設の充実をお願いします。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全に暮らせるまちにしてください、ありがとうございます。学生として今後、関市に住もうと思うには、福利厚生の手厚い企業があることだと考えます。いわゆる大企業。優秀な学生は、市・県外に進学し、そのまま戻ることなく就職するに決まっています。関市から通おうとも思いません。関市のこの企業なら、市・県外の企業よりも魅力的だということがないと衰退すると思います。関市がよいところであることは理解していますが、就職という観点でいうと戻ってくることはないと思います。自分も関市のよさは大人になってもアピールしていきますが、住むことは現実的には難しいと思います。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てしていて、高校生までは支援がしっかりしていますが、大学になると市外に出て別に住まなくてはいけません。勤務先も業種も限られてしまいます。交通手段がもっとあればよいと思います。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>若い人たちが関に残れる職場環境を充実させること。</li> </ul>  |   |

| (22) 観光  | 1 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PR映画「名もなき池」の失敗の責任をはっきりすべき。他の自治体と同じようなことを行う必要もない。</li> </ul> |   |

| (23) 農業   | 3 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜、果物など、朝市をやってほしい。農家の方がつくった物を買える場所を増やしてほしい。</li> </ul>               |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、朝市みたいなイベントを市の主催でやってほしい！お年寄りの方が徒歩で行きやすいのかな？子ども連れが楽しめそう。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅が増えていますが、それに伴った地産地消できるようなバランスが取れたらと思います。</li> </ul>                |   |

| (24) 林業 | 0 |
|---------|---|
| —       |   |

| (25) 防災・減災・消防  | 6 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の避難場所や支援物資について不安があります。小中学校への避難は2キロ程離れており、長良川を渡らなくては行けません。近くの公民センターは存続が危ぶまれ、少し離れた「ふれあいセンター」に避難することになるのですが、「ペット同伴はどうかしら？」などいろいろ考えてしまいます。結果、「自宅避難となるのかな？」そうなった場合の支援はしていただけるのでしょうか？</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>警察、消防（署と団）、自治会（地域防災組織）、市職員、防災士、医療機関（医師、看護師、病院）、救急体制、避難所等の充実が必要です。市議会が中心になって考えてください。職員からの提案活動で議会を動かしてください。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>地元のガソリンスタンドが閉店になったことが不便です。災害時の避難所が近くにない。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>長良川洪水対策。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>川や道路脇、耕作放棄地に背の高い草や木が多いため、水害や交通事故、火事等の不安が大きい。</li> </ul>   |   |

・公園が汚い。通学路の歩道が植物や木が邪魔していて整備不足を感じる。外国人が多い、正直必要性を感じない。特に、中国とベトナムはマナーが悪い。祭りもかわり映えがない。自治会の必要性がよくわからない、ゴミ捨てが必要なだけで、ほかは特に何もないのに、役割がある。それに若者が少なくなっているので役割が大きく、負担。消防団に所属しているが必要をまるで感じない。地域で1人参加しないといけないから、しょうがなく参加している感じ。仲良しクラブでダラダラやるだけのイメージで、新規を教育しようとする感じもなく、ボランティア感覚の金銭で、仕事終わりや休日に活動しないといけないのはどうかと思う。市の職員や警察、消防が必死で活動してる姿をみたことないし、自分たちだけ高い金で働くくせに、消防団にはお金を出さないなら、自分たちがやればよいと思います。活動に積極的に参加したり興味がないなら、迷惑なので消防団をさっさとなくしてほしい。それこそ、事件も少ないし、仕事もなさそうな警察や市の職員が仕事の一環でやってほしいです。

|   |          |
|---|----------|
| <b>(26) 交通安全・防犯対策</b>   | <b>4</b> |
| <b>交通・安全対策について</b>  | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路への飛び出しで困っています。ヘルメットをかぶった自転車の方が平気で横断歩道のない場所を渡って行きます。自動車を運転する側が道路交通法を守っていても、自転車を運転する方が違反をされては本当に困ります。本当にどうにかしてほしいです。救命救急センターに電話をしても「担当の先生がいません。」と言われます。でも、その病院しかないです。</li> <li>・街灯を増やしてほしい。夜光タスキを市民に薦めてほしい。夜道で黒い服を着て歩いている人が多く、車の運転が怖い。</li> <li>・これからさらに熊対策が必要になってくると思います。通勤地が熊が出没する地域なので、関市もさらなる対策をぜひお願いしたいです。子育て支援も大切ですが、それ以外の世帯も生活が苦しいのは同じです。関市民全員が生活しやすい支援を切に願います。</li> <li>・熊の被害に関することは何か行っているのでしょうか？</li> </ul> |          |
| <b>防犯対策について</b>   | <b>0</b> |
| -   |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(27) 環境保全</b>  | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山が削られたり、木が大量に伐採されて自然が減っているように感じています。自然との関りは、子どもによい影響を与えてくれるので、子どもたちが気軽に自然と触れ合える環境づくりをしてほしいです。もし植樹をするのであれば、多くの生き物が集まるクヌギやコナラで行ってほしいです。</li> <li>・問33について。山林を伐採したので山が崩れはじめています。1回役場は見に来るべき。</li> <li>・もっと動物に目を向けてほしい。保護犬・猫に優しい市に！</li> <li>・自治会が老人ばかりになっているため、側溝のそうじは市で行ってほしい。</li> </ul> |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(28) 循環型社会</b>   | <b>7</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの収集を年に9回行わない日がありますが、ゴールデンウィークは特にごみが出るので、収集をお願いしたいです。岐阜市は祝日でも収集しています。</li> <li>・分別収集の回数が少ないので他で出している。空き家が近くに何件かあるので、何とかしてほしい。</li> <li>・ごみを施設に持ち込む場合、非常に分別が悪い。もっとリサイクルしてごみの減量化をするべき。事業主の廃プラスチックごみが多過ぎる。もっと厳しく環境に配慮すべき。</li> <li>・歩道に草が生え過ぎ。腰位の高さに生えている。ごみの分別。プラスチックごみは分けたほうがいいのか？</li> </ul> |          |

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックでできた物を資源ごみとして回収してほしいです。特に、お菓子全般は中身より包装が過剰すぎて、どうも買うのもためられます、ごみをお金を出して買っているみたいです。資源ごみで回収してもらえれば、ごみが減らせます。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のごみ袋が高く、特に最近の物は品質が悪いので改善してほしいです。市販の安い袋の方が丈夫です。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みの乾電池を捨てたいが、土・日曜日は市役所の捨てる場所が開いていないため、どうしたらいいか困っている。</li> </ul>  |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(29) 脱炭素社会</b>   | <b>3</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブ導入については、燃やし方や薪の知識がないと住宅街では公害になります。反対です。ご近所トラブルになります。山の中ならOKです。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・野焼き、薪ストーブなどの煙害はなんとかならないのでしょうか。特に住宅団地内の薪ストーブは周辺にとって大変迷惑です。使用者は自治会に入っていない方が多く、やりたい放題です。住みにくい環境です。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄に問題がある太陽光発電施設はいらない。電力は地産地消が一番、先を考えるなら大規模な冷却装置のいないモジュール型原子炉の発電施設を考えた方がいい。全国に先駆けて、関市から発信する。体育館1個ぐらいの施設で関市全域の電力をまかなえる。新たな産業、人材の教育をすれば人も増える。関商工に原子力科を新設し、若者の流出を防ぐ。県・国を巻き込んですればおもしろいかも。</li> </ul> |          |

|                  |          |
|------------------|----------|
| <b>(30) 医療保険</b> | <b>0</b> |
| —                |          |

|   |           |
|---|-----------|
| <b>(31) 都市計画・土地利用</b>   | <b>18</b> |
| <b>空き家対策について</b>  | <b>8</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が増えてきたので、調査してください。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「空き家」対策について。空き家の増加は、火災の心配や不審者の出入りなど、周辺住民にとっては、不安要素であり、所有者の承諾を得た上で民宿、展示施設などとして活用できないでしょうか。検討してはいかがでしょうか。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒壊しそうな廃屋、空き家が多く、景観を損なうだけでなく、治安の面からも心配なことが多い。安定した水の供給ができる本市だからこそ、水道管の老朽化による道路陥没や水道管破裂などの事故がないようにしていただきたい。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が目立ち、田畑がなくなっていく。この現象は止めることはできないのか？</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に空き家が目立ちますので、対処をお願いしたいです。大変難しいとは思いますが、検討してください。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のまちから老人のまちになり空き家が増した。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市に近い場所住んでいます。住宅開発が進み道路が狭小です。野放図な住宅開発により、往来が不便になり、雨水対策も進んでいません。全体を俯瞰した対策を望みます。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・過ぎた便利計画はどうか？あれもこれも便利。関市らしい考えはないのか？不便もいいじゃあないか！コンクリートでできる物は何でも創ってしまう。市民は望んでいるのかな？人口も少なくなっ空き家だらけに更地も自然でいいじゃないか！</li> </ul>  |           |
| <b>土地利用について</b>   | <b>2</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市の玄関口、中心となるところ、市役所周辺の道路などの整備、美観は素晴らしいです。反面、人口8万人少しのまちでは大学院まで、持っているまちは少ないのに大学院や学校などが多く集まっている南部、特に大学、高校の周りの道路がまった整備されていないのが、残念で不思議なくらいです。地権者の理解が得られないことを理由に開発されないのは、とても残念です。40～50年そのままです。</li> </ul> |           |

|  |          |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業を積極的に実施すべき。不良住宅地の解消。</li> </ul>  |          |
| <b>歩行空間について</b>  | <b>8</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりとは違うことになるのかもしれませんが、歩道など草が伸び放題で歩行者や自転車を通りにくい場所が多々あります。やる人(業者)がいないなら、ボランティア活動の一貫として、そういった機会を増やすなどあるとよいのではと思ったりします。また、道路の線(停止線、歩道線等)もコロナ後は消えかかっているところが多く見られるように思います。事故を減らすためにも整備をしてほしいと思います。</li> <li>・市役所の周りの歩道の点字ブロックが、雑草におおわれて役に立たないのではいつも思っています。関シテイターミナルから鶴沼駅までバスがあれば少しは住みやすくなるのにとおもいます。</li> <li>・道端の除草。伸び過ぎた木・枝の除去。除雪や凍結剤など、田舎暮らしは不便です。子どもたちに不便な生活をさせたくないため、関市から出ることを勧めてしまいます。夜道は暗く危険です。私も老後を考えると不安です。</li> <li>・ウオーキングしたり自転車に乗っていると、まだまだ歩道で危ないところがたくさんあると感じます。車いすの方はそれ以上に大変だと思います。</li> <li>・まちづくりではありませんが、いちょうの木が多く、11~12月はウオーキングをしていても滑りそうになるので、切ってもらえるとうれしいです。転んでも自己責任となるため、よろしく願います。</li> <li>・市役所(武儀支所)の前の信号機で横断歩道を渡っているとき、3~4回車に衝突されそうになった。どうにかしてほしい。</li> <li>・下有知のコカ・コーラから龍泰寺の道路で歩道がなく危ない目に合ったことがあります。早く歩道をつくってほしいです。田んぼに落ちた人も見たことがあります。</li> <li>・百年公園南口と248号線バイパスの信号は、押しボタンもしくはセンサーに変更すべき。特に夕方からは百年公園から出てくる車もなく渋滞の原因になっている。</li> </ul> |          |

|  |          |
|--|----------|
| <b>(32) 住環境</b>  | <b>5</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、空き家、相続の問題など心配ごとが多く、高齢者が集まるとその話で終始します。市でも対策されていますが、もっと地区別に専門家の話しを聞く機会を設け、高齢者でも安心な知識を教えてもらい前向きに考えられるようにしたらと思います。関市が安心して住めるように願っています。</li> <li>・市役所に夜間騒音対策室を設置してほしい。ごみの回収回数を増やしてほしい。祝日は振替日をつくって、週2回以上は回収してほしい。空き家で貸し出しできるものは有効に使ってほしい。新聞配達の良いバイクが午前2~4時に走り回っているので何とかしてほしい。中継地点(新聞を夜間置く場所)を公民センターなどの公共の施設でサポートとして騒音の対策をしてほしい。配達の良いバイクが走る時間を調査して何回も行ったり来たりしないでほしい。低所得の人を助けてほしい。</li> <li>・野良猫に餌をあげるお年寄りが多く住み着いてしまっている。どんどん増えるし庭などに糞も多く、子どもたちも遊んでいて衛生的にどうかと思う。においもとてもきつい。野良猫をどうにかしてほしい。休日診療は待ち時間も長いし、路上駐車などで周りに迷惑がかかる。他の地域のように市役所に休日診療所を設けたらいいのではないかと思う。患者、医療従事者、市民にもそのほうが負担が少なくなると思う。</li> <li>・都市ガスの工事が進んでいる。早く引きたいと思っているが、市は認可するだけの立場で、工事をしている人に聞いても下請けでよくわからないそうで、いつになったら我が家に引けるのかわからない。プロパンより都市ガスの方が安いから、市がリーダーシップをとり、早く引かれるように情報提供、助成制度を行うべき。関市は先見の明があり、上下水道は早かったが、都市ガスは工事が始まったばかり。物価高騰の折り、安い都市ガスが普及することは、市民生活に大きなメリットがある。市は認可だけでなく積極的展開を希望する。</li> <li>・住宅が増えている。</li> </ul> |          |

| (33) 公共交通  | 37 |
|--|----|
| 都市間交通について  | 11 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関（鉄道）があるとうれしいです。名古屋に鉄道で行く場合、新鵜沼まで車で出ていくので、駐車場に車を停めていくとかなり料金がかかります。難しい問題かもしれませんが、1つの意見として申し上げます。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>先日、長良川鉄道に乗車しました。昔懐かしいすばらしい路線です。インスタなどもっとアピールしていただきたいです。全国いろいろな路線に乗車していますが、長良川鉄道は全体にレトロ感が残り素敵です。乗務員の方の優しさにも感動しました。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>長良川鉄道やバスなどの公共交通機関は大切な社会資本であり、将来のために維持するべきだと感じる。公共交通を軸としたまちづくりを進めてほしい。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋高速バス、岐阜バスの路線を増やしてほしい。巾地区避難する場所が少ない。人口に見合っていない。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高速バスは名古屋まで1本で座って行けます。ただ時間帯によっては座れず乗れないことも多いです。通勤時間帯の本数を増やすことを前提として、名古屋まで1本で行け通勤に便利という観点を持って定住化を進めていくとコンセプトとしてよいと思います。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋へのアクセスをよくしてほしい。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋まで行こうとする時に電車だと不便。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋に行くのが不便。岐阜からの公共機関が少ない。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜駅や名古屋駅までの公共交通機関が少ないので、拡充してほしいです。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市への交通手段を増やしてほしい。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜からのバスの終電をもう少し遅くしてほしい。</li> </ul>  |    |
| 市内交通について   | 14 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市内バスは、当市のみならず全国の自治体で実施されているが、ほとんどは空車か数名の乗車となっているのを見かける。多額の費用に見合っていないと思う。私も高齢者だが、もう少し本当に必要な人、地域で利用が進む方法を考えるべきだと思う。費用と輸送費用などを公開してほしい。その上で、利活用しやすくすることが大事だと思う。</li> </ul>              |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市のバスがあまり活用されていないように思います。真夏・冬の子どもの送迎に使ってあげてほしいです。もちろん無料ではなく回数券などを購入して使えるようにしてほしいです。利用者ゼロよりは利益があると思います。資源回収（食品トレイ、ペットボトル、瓶、缶）は月2回にしてほしいです。白色トレイだけでなく、カラーや卵の容器もOKにしてほしいです。</li> </ul> |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝巡回バスを見ているのですが、ほとんど利用者がいないようです。これも市民の税金を使っていると思いますが、明らかに無駄遣いだと思っています。一度データをとるべきだと思います。アンケートも出すべきですね。関市は税金が高いとされています。住みにくい関市と言われても仕方ないですね。</li> </ul>                               |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>年を重ねて、免許証を返納した後の買い物、病院など交通手段が心配です。巡回バスの本数など増やしてほしいです。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関が少ないので関市で暮らすためには車がないと困難である。他市のようにバス路線の範囲も広げてもらえると、年を取ってから暮らしやすくなるかと思う。働いていると平日に市役所に行くことが難しいので、マーゴなどの商業施設に市役所の出張所などがあるとありがたいと思うことがある。</li> </ul>                               |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>年取ったら、バスとか本数ないから、車乗れなくなったら住めない。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>バスの本数が少ない。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市内循環バスの買い物のコースは、どこの地域でも回ってほしい。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>今は車で出かけていますが、車を運転できなくなったとき、バス停に行くまでが遠く不便です。もう少し地域の中に入ってもらえたらと思います。</li> </ul>   |    |

|   |           |
|---|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドバスの利用は通学に便利な時刻表にして、朝夕はできるだけ学校周辺だけを回ってほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの路線がわかりにくいので改善してほしい。バス停に屋根がほしい。鵜沼につながる路線がほしい。古いまちなみを壊さずに残してほしい。関市は壊しすぎです。よろしくお願ひします。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスが高いし少ない。もう少しそっちに補助金を出してほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、夫にバスの3,000円の無料券が送られてきましたが、車がある人にはまったく必要がなく、無駄だと思います。もっと必要な施策にお金を使ってください。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手の技能レベルの向上を啓発してほしい。高齢者に限らず、スピードを落とせば安全と思っている者、左折する時に大きく膨らむ者、右折する時に右に寄らないなど、はっきり言って下手な人が増えたと思います。子どもが自転車を運転していて心配になることもあります。安心して自転車が乗れるまちというのもアピールになるのではないのでしょうか。</li> </ul> |           |
| <b>交通手段の確保について</b>  | <b>12</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・車があれば便利で住みやすいまちだと思っています。自動車学校もあるし、バスもあって、学生からしても過ごしやすいです。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく交通が不便。公共交通機関が充実していたら、我が家の子どもたちも関市に住んでいたかもしれない。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで住みよい所だと日々実感しています。子育てへの環境もいい所だと思っています。ただやっぱり高齢化に対応しきれていない所もあります。公共交通機関の不便さは否めないと思います。通勤、通学に公共交通機関が使えるようなまちになれば、もう少しだけ住みよくなるのかなと思います。</li> </ul>                           |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・今は車を運転しての移動が可能です。免許返上後はどうしたらいいかと考えています。公共交通機関がなく、市の運営しているバスなども圏外で買い物一つにも不自由する日が来るかと思うととても不安です。隅々まで行き届いた交通サービス、それも難しかったり面倒だったりしないものを整備していただくことを望みます。</li> </ul>                |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市は車がないと大変不便です。20年後、免許証返納する頃に、公共交通機関は充実しているのでしょうか。車が自動運転で移動する時代になっているのか気になります。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許証を返納した人が公共施設に行くことができる交通方法の検討。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車に乗れなくなった場合、シティーバスなどの充実を期待しております。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納した後の移動手段が少なすぎる。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・車が使用できる間は不便を感じませんが、車が使えなくなると動けなくなります。病院、食料品など心配です。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の運転ができなくなり、買い物が不便で困っています。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光スポットや飲食店など栄えている所が多くあるが、公共交通機関が不便であり車がないと生活しにくいのが現状であり改善して欲しい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく車がないと移動できないまちだということ。不便なことで、将来は、駅近で便利な場所に移住していくと思う。改善点があれば住みたいが、現状車がないといけないのであれば、移住一択と考える。</li> </ul>  |           |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(34) 景観・公園</b>   | <b>5</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏や冬に子どもが遊べる室内の施設をつくってほしい。公園にもドーム型の屋根など、日陰で遊べるようなものをつくってほしい。</li> </ul>                            |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県営公園の中で百年公園が残念ながら魅力に乏しい。人が集まらない理由を調査して市民が市外へ遊びに行かなくてもいい日曜日をつくり出してほしい。</li> </ul>                |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山下乡長体制になってから確実に何かよい方向に動きだしていると感じています。また、時代背景に合わせ、百年公園ペット同伴禁止の見直しを希望しております。（時代遅れを感じます。）</li> </ul> |          |

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい施設がほしい。長良川河川に水遊び場、バーベキュー場、キャンプ場。広大な市民農園（市民に貸出できる耕作地）駐車場、水場完備。岐阜市ファミリーパークのような、いっぱい子どもや親子が遊べる公園。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆トイレが古いところがあり、和式では今の子ども用が足せません。様式にしてください。洞戸栗原公衆トイレと小坂。</li> </ul>   |

|  |           |
|--|-----------|
| <b>(35) 道路・橋りょう</b>  | <b>21</b> |
| <b>自転車利用について</b>   | <b>2</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車運転免許証を返納しましたので、自転車を利用しています。歩道を走ったりしていますが、街路樹などが大きくなったり、マンホールのふたがボコボコしたりしているので、危ないと思いながら乗っています。</li> <li>・自転車の並走が多いと感じる。特に学生。厳しく取り締まってほしい。</li> </ul>  |           |
| <b>道路について</b>  | <b>16</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網が不便。至る所で分断されています。南北の道路網が不便。交通量が多い道路は4車線化を推進すべきだと思います。近隣の市（各務原・美濃加茂市）と比べて貧弱過ぎます。</li> <li>・川沿いの特にカーブの道路が斜めになって傷んでいる。旧武儀役場の手前のカーブでスピードの出し過ぎによるセンターラインオーバー車に2度出くわした。危ないところ。平成道の駅から一番近いファミリーマートのもう少しはまち寄りが、水没すると安心して迂回できる道がない。</li> <li>・道路が曲がり角が多く、外部から来た人が迷う。</li> <li>・関市は道が狭くて曲がりくねっていて、まっすぐに行けない。</li> <li>・市道の状態が非常に悪いところが多い。舗装や下水道工事の跡。</li> <li>・おかしな映画に金を使用しないで、古くなった道路に使用してほしい。</li> <li>・朝、車通勤をするので渋滞が緩和されたり、危険な交通状況がよくなるといいなと思っています。右折用の信号機を設置したり、道路の白線を引き直したりしていただけると助かります。例えば、小屋名の156号と79号の交差点が夜に線が見えなくて不安。倉地北信号機で渋滞するので東西の道路にも右折信号機をつけてほしい。（歩行者の安全のためにも。）稲河交差点も三車線になれば通りやすいと思う。子育て支援で保育料無償化やせきペイの配布がありがたいです。子育て世帯への優遇を増やしてほしいと思います。関市は学童が遅くまでやっていて使いやすいと思います。</li> <li>・小瀬一丁目の信号から南に下る道の改修工事について。第1～2期については終わりましたが、疑問が一つ。産業技術センターから下る用水上の橋周りで何度か事故を起こしそうなことがありました。その場所を第1期としてやるべきだったと思います。やりやすい場所から始めても何のメリットもないと思います。栄町三丁目の信号設置、池尻池の街灯設置については感謝しています。事故が起こる前に、一日も早く改修を進めてほしいと思います。</li> <li>・黒屋のファミリーマートのある信号機に右折用の矢印が出るようにしてほしい。朝夕、渋滞する。黒屋の道路に歩道がなく危ない。</li> <li>・下有知156号コンビニが少ない。156号で改造したバイクが走行してうるさくて迷惑。</li> <li>・板取地区は交通不便、特に冬は孤立状態です。郡上までのトンネルが無駄で、洞戸までの直線の道の方がよかった。どこにお金を使ってるのか。無駄が多すぎます。</li> <li>・関市前山町に侵入する交差点（「なか卯 関稲口店」の南側）を西側に進むと小さい橋があり、その橋の南側に歩道があり歩道と車道境界に縁石があります。当橋の北西方向から来た自動車が当橋側へ左折しようとしたところ、この縁石を乗り越えてしまい動けなくなってしまっているのをたまに見かけます（過去3度ほど）。今後の事故防止のため、当縁石本体に視認性のある表示やガードレール設置等の対策をご検討ください。</li> </ul> |           |

|  |          |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・危ない交差点や舗装するべき道路が多い。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の補修・修繕が以前に比べて悪い。センターラインやサイドラインが消えている。新しくできた道路でも危険なところがある。つくる前に危険だと思わなかったのか。桜が老木になっている。桜並木が好きなので新しく植えて景観をよくしてほしい。車に乗らない人のため、バスの本数を増やすとか、交通機関を充実させてほしい。</li> </ul>                           |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の雑草がとて多いと県外から来た身内に言われて、確かにと思直したことがあります。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の前に曾代用水があり、用水脇に雑草が生え放置されているため、私たちが手入れをしています。利用料を毎年払っているのに、放置されているのはどうかと思います。すべて道路にして下を曾代用水が流れるようにしてほしいです。</li> </ul>  |          |
| <b>街路樹等について</b>  | <b>3</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道の見通しの悪い場所。竹藪など河川の中にあるところと桜の枯れ木が危険である。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹が景観をよくしていないように見えます。剪定がしていなくて伐採したほうがよいと思います。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・20数年前には山の木の伐採をしてくれましたが、それ以来していないのはなぜですか？正直、地域住民に任せるとするのは、市民税をどうしているのかと不信感しかありません。市に連絡すると「そちらで好きにやってください。」と言われます。あまりにも無責任なのでは？実際に事故で亡くなられている方がいる実情を見てほしいです。現在は近くに住んでいる人が自腹を切っています。</li> </ul> |          |

|                   |          |
|-------------------|----------|
| <b>(36) 治山・治水</b> | <b>0</b> |
| —                 |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(37) 上水道</b>   | <b>5</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいと思います。上下水道料金がもう少し安くなるとよいと思います。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道が古くなり全国各地の施設で破損していますが、関市内は古いので大丈夫かなと思っております。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の老朽化が気になります。現在、対策されているのでしょうか？ガス管より、そちらを優先させていただきたいです。大規模災害になったら、プロパンガスの方がよいと思います。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的には快適に暮らすことができているので、ありがたいです。上下水道事業に関してはP F A S問題、水道管の老朽化など、市民の健康に直接関わる重大な事項であり、行政にしか解決できないことなので、目立たないことだとは思いますが、しっかり進めていただきたいです。</li> </ul> |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管が細いので、新規に引くことができない。耕作放棄地が増えている。</li> </ul>   |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(38) 下水道</b>   | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいと思います。上下水道料金がもう少し安くなるとよいと思います。【再掲】</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道が古くなり全国各地の施設で破損していますが、関市内は古いので大丈夫かなと思っております。【再掲】</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の老朽化が気になります。現在、対策されているのでしょうか？ガス管より、そちらを優先させていただきたいです。大規模災害になったら、プロパンガスの方がよいと思います。【再掲】</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的には快適に暮らすことができているので、ありがたいです。上下水道事業に関してはP F A S問題、水道管の老朽化など、市民の健康に直接関わる重大な事項であり、行政にしか解決できないことなので、目立たないことだとは思いますが、しっかり進めていただきたいです。【再掲】</li> </ul> |          |

| (39) 移住定住  | 2 |
|--|---|
| <p>【関市の若者定住につながる新しいまちづくりの提案】（以下は、私が提案した内容を、ChatGPTを通して読みやすい文章に整えてもらったものです。長文になりますが、最後まで読んでいただくと幸いです。）</p>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、関市では若者の人口が減少し、市外へ流出する傾向が続いています。その理由として最も大きいのが、「若者が気軽に集まれる場所や娯楽施設が少ない」という点です。市内にはマーゴなどの商業施設がありますが、店舗構成や雰囲気は若者向けとは言いつらく、実際に休日には可児市や美濃加茂市、岐阜市などへ遊びに行く若者が多い状況があります。こうした課題を改善するためには、関市に若者が過ごしたいと思える場所を増やすことが重要です。しかし、大型商業施設を新たに建てても、ただ施設をつくっただけでは人は集まりません。まずは「若者自身が関市に興味を持つこと」、そして「自分たちのまちに関わっているという実感」が必要だと考えます。そこで提案したいのが、若者が主体となって関市の新たな施設づくりに参加できる仕組みです。まず、InstagramなどのSNSを活用し、「関市にどんな施設がほしいか」、「若者が求める遊び・体験は何か」といったアイデアを市内外の若者から募集します。集まった意見を複数にまとめ、人気投票を行うことで、若い世代が本当に必要としているものを明確にします。その上で、選ばれた案の一部をクラウドファンディング（CF）で実現する仕組みをつくります。すべてをCFで賄うのではなく、あくまで若者が担当するエリアや特設スペースの整備費の一部をCFで集めるという形にします。施設全体の建設や運営は民間事業者が行い、市は広報や調整をサポートする形です。さらに、大きな商業施設の新設やリニューアルは、若者の働く場所を増やすという重要な効果も生みます。カフェ、アパレル、エンタメ施設、事務・運営スタッフなど、多様な職種が生まれることで、市内でアルバイトや就職を希望する若者の選択肢が広がり、地元で働きたい人の離脱防止にもつながります。「遊べる場所」と「働ける場所」の両方が増えることは、若者にとって暮らしやすく、将来的な定住につながる大きな魅力となります。自分たちがつくった施設という感覚が生まれることで、若者のまちへの愛着や利用意欲も高まり、結果的に関市のにぎわいづくりや定住促進に寄与します。若者の考えを取り入れることで、従来の市内商業施設に不足している若者向けのカフェやアパレル、最新設備の映画館、体験型・参加型の遊び場などの強化を図ることも可能になります。「若者が選び、若者がつくる関市」という新しい取り組みは、SNSとの相性もよく、市外からの注目を集めるきっかけにもなります。関市が若い世代にとって魅力あるまちとなるよう、若者主体の参加型プロジェクトを推進することを提案します。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断が手頃であること、せきチケがもらえること、公園が多いことなど、生活に密接した点で誇れる部分は多いです。しかし、都心へのアクセスが悪いことが若者離れを加速させていると思います。まずは岐阜市へのアクセスをよくすること、それが重要かと思えます。岐阜駅まで簡単にアクセスできれば、名古屋経由で日本国内どこへでも行きやすくなります。私は東京に5年ほど住んでいましたが、街頭演説で聞きたくもない政治的な主張を耳にしたり、子どもには見せたくないような過激な人？広告？も多く、私にとって、一生を過ごすには適さない場所だと感じました。そこで、穏やかな環境で子育てがしたくて関に帰って来ました。人が減っていくのは寂しいので、同じように自然豊かで穏やかな環境を求める人を関に呼び込めたらいいなと思っています。</li> </ul>   |   |

| (40) 広報・シティプロモーション  | 23       |
|---|----------|
| <p>広報紙等について</p>   | <p>9</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、市の広報がカラフルで見やすくなったと思います。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりではないが、広報は別冊をつくらずまとめてほしい。全戸へ配る人のことを考えてほしい。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報せきが読みづらい。難しくて読む気がしない。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体の配布をやめるか減らすかしていただきたいです。広報も読まないし、回覧板も自治会の行事以外は不要です。役員の負担にもなりますし、ゴミが増えるばかり。そのゴミを捨てるゴミ袋も有料だなんて馬鹿げています。</li> </ul> |          |

|   |          |
|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々忙しく、関市のことを何事にも積極的に取り組めなくなっているとアンケートをやっ<br/>ていて感じました。知らないことが多過ぎて、これからは広報など読んで勉強します。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が取り組んでいることを誰もがわかるようにアナウンス（広報や市役所での紙物）して<br/>もらいたい。運動できる場所、老人が遊べる（ウォーキング、グラウンドゴルフなど）場<br/>所も、もっとつくってほしい。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタを用いて山下市長や市議会議員の活動などを拝見し、関市の情報を収集していま<br/>す。身近なインスタグラムをもっと活用して活性化してほしいです。関市に住んで3年く<br/>らいですが、まだまだ発見するところがたくさんあって、よいまちだと思います。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市便り「すばっと」2025年6月1日号を見て残念に思いました。表紙を選ばれる方は<br/>「道路族」という人たちをご存知ないのでしょうか？ぜひ、道路で遊んでいる児童、保護<br/>者に危険な行為だと理解していただきたいです。発行された議会広報の方々よろしくお願<br/>いします。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな情報を市が発信してくれていることはありがたいが、自分から行動を起こさな<br/>いと何も利用できないのが現実です。</li> </ul>   |          |
| <b>防災行政無線（同報無線）について</b>   | <b>6</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの広報連絡（放送）はいつも何を言っているのかわからない。音声の反響、話し方<br/>など、もう少し何とかならないか。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線がはっきり聞こえません。言葉が聞き取れません。スピーカーを改善する予定は<br/>ありますか？このまま聞こえないまま放置しますか？</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線が何を言っているかわからないときがある。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所から放送される内容が聞き取りにくい。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災のスピーカーから、定時に流れる音楽は必要性を全く感じなく、騒音になるだけだと<br/>思うので、廃止してほしい。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報のアナウンス（外のスピーカー）がうるさいだけで何を言っているか聞き取れず、大<br/>雨の時などは特に聞き取れない。このような中、避難情報を広報されても聞き取れないの<br/>で意味がないと思う。今はLINEやあんしんメールがあり、そこで情報を手にいれること<br/>ができるので、外のスピーカーは不要だと思う。</li> </ul>   |          |
| <b>シティプロモーションについて</b>   | <b>6</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・適度に発展し、適度に田舎なこのまちが好きです。市としてのプロモーションやイベント<br/>の誘致がもう少し上手くなればいいな…と思います。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい環境、自然に恵まれた環境など市のよさを看板、ネット等でのアピールが<br/>必要。市民みんなが助けあい、住みよい関市になるようなコーディネートが必要。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・知人友人に関市のよさを知ってもらおうと思い、便りに絵はがきなど、アピールできるも<br/>のを使用したいと思いますが、どこへ行けば手に入りますか？</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関はもみんのXアカウントの復活を期待しています。関市が大好きなので、これからものこ<br/>このまちをお願いします。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・置き配バッグ「OKIPPA」を関市オリジナルデザインでつくって、ほしい方には無償提供<br/>するといいなと思います。他県では行っているところもあるようです。はもみんのデザイ<br/>ン、絶対かわいいと思います！</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市というと、特色のない説明のしづらいまちだと感じます。刃物のまちというけれど、<br/>一般の人にはあまり馴染みがなく、包丁なども頻繁に買い換えることがないので、もっと<br/>他にお勧めのできること（品物、場所、有名人など）があるとよいなと感じています。</li> </ul>  |          |
| <b>ふるさと納税について</b>   | <b>2</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来に関わるインフラ整備が日々行われていることに、関市に住んでいて将来に安心を感<br/>じられます。それがきちんと行えるのも「ふるさと納税」の税収のおかげだと思います。<br/>「ふるさと納税」を魅力的なものに機関運営してくださった関係者の方々に感謝しており<br/>ます。冬の駅前の商工生のイルミネーションが大好きです。夜は寒いし暗いので、犬の散<br/>歩が楽しいものになってうれしいです。</li> </ul> |          |

- ・ふる里納税の返礼品として関市の刃物を使っていて、関市が潤っていることで、関市のどんなことに力を入れてそのお金を使っているのか、明確に見えるようにしてほしい。

| (41) デジタル行政サービス   | 1 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・武芸川町にインターネットの光回線をつなげてほしいです。インターネットが不便で困っております。小中学校のiPadもネット通信が悪く困ってます。どうぞよろしくお願いします。</li> </ul> |   |

| (42) 財政運営  | 7 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長や議員の給料が高すぎるし、市長などの退職金は必要ないと思う。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市会議員の給与が高過ぎる。実働50日／年で約700万円。民間と比べると市職員の給与が高いと思う。これらすべて血税ですよ。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金を多くするためにも、市の職員の給料を見直してほしいと思います。一般企業と年齢別に比較するとあまりも高過ぎると思います。これは民間企業で働く人のすべての意見だと思うのですが…。障害者でがんばっている人を少しでも助けてほしいです。</li> </ul> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄なお金を使わないでほしい。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・採算が合わないから、見直し、縮小、撤退というのは、行政の方向性が違うのではないかな？</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中途半端にお金をかけた施設が多い。</li> </ul>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小零細企業や個人への税の緩和をしてください。</li> </ul>   |   |

| (43) 行政運営   | 10 |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市はいろいろなことに手厚いすばらしい地域だと思います。子どもへのせきpayなどは本当に助かりますし、関市に住んでいてよかったと思えることも多くあります。ただ手厚すぎて、そこまでやる必要があるのかと疑問に思うサービスも多々あります。批判を恐れては前に進めません。反対意見があっても決断しなければならないこともあります。どうか問題を先送りせず、必要のないサービスはなくす、無駄な公共施設を減らす等々のご英断をお願いします。また、各事業に対する効果検証が甘い（ない？）と思います。先述のお願いと重複しますが、効果検証なくして事業の取捨選択は難しいと思います。公共サービスですので、どれだけお金を使ってでもやらなければならないことがあるのはわかります。しかしながら、一度始めたらうやめられなくなってしまっているものも多いのではないのでしょうか。地域事務所もいつまで運営し続けていくつもりなのでしょう。申し訳ないですが、たまに行く事務所でも暇そうにしている事務所の職員をみると、この労働力がもったいないなあという気持ちになってしまいます。有事の際のために残しているにしても、いつ起こるかかわからない災害のためにあれほどの労働力を割く必要はないように思います。言いたい放題言って申し訳ないですが、未来へツケを残さない行政運営を期待しています。がんばってください！</li> </ul> |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政は未来を予測して先手を打つものであるが、現状では破産を待つばかり。老人にできることは、今日まで生きてこられたことに感謝して、長生きもいいが、治療は拒否するくらいの覚悟を持ってほしい。子どもたちの未来を考えたら当然の答えだと思う。行政にできないだろうね。みんな先送りだから。見えないものはないと同じだから。今さえよければだから。</li> </ul>  |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、「市民の声」投稿したとき、そんなことを言うのはあなただけです。ただ一人の声に対応はできないという回答だった。この回答は市長も目を通しており、市長も納得の上での回答だという。一人しか声に出さないということは、行政に何を言っても行政に都合の悪いことは無視されると誰もが考えているからだということに想像力を働かせるべきである。市長の人格まで疑わざるを得ない。いかにも行政の「上から目線の姿勢」だと痛感した次第であります。</li> </ul>   |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所長はもっと地域に寄り添うべき。</li> </ul>   |    |

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所職員が信用できない。母が市役所に疑問に思ったことを相談した際に嘘を教えられたことがあった。あたかもそちらが知っているかのように言い張り、何人も出てきてはこちらが間違っていると言ひ張るので不安になった。ほかの場所に相談したところ、結局はこちらがっていた。それをその市役所職員にも伝えたが「そうですか〜」と言われただけだった。管轄外のことを聞いてしまったのかもしれないが、わからないならわからないと言ってほしかった。親身に話を聞いてはくれない、適当に相手すればいいと思っているように感じている。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の職員が多過ぎると思う。以前、知人の娘さんが職場体験に行ったとき、税務課の男性が携帯でパチンコのゲームをしているのを見たと言っていた。そんな人のために税金を払って給料になるなんて嫌です。どうにかしてください。市長に伝えてください。せきpayありがたいけど、中小と大規模をわけると使いにくい。富加町のように道に花があってもよいと思う。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>今の世の中の風潮で子育て支援や子育て世代を重点に施策をされているのは充分理解できますが、目先のことばかりでなく、関市に長く住んでいい、ここで年を重ねたいと皆に思ってもらえるように高齢者、その手前の世代にも優しく平等な政策をお願いしたいです。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども支援ばかり。子ども親世代が贅沢をしている。高齢者、独身者、子育てが終わった世代、みな平等に支援すべき。PayPayの還元などもしてほしい。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>移住者、若者世代も大事ですが、高齢者が切り捨てになっています。平等に安心して暮らせる関市にしていきたいと思います。また、裏通りにあたる場所に街灯を設置していただき、道路の段差をなくしていただきたいです。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援や低所得者向けの支援が多く、何にも当てはまらない人は、関市に住んでもメリットを感じる人が少ないです。大人から子どもまで、様々な世代の、様々な事情の人たちが、この市にずっと住みたいと思えるようなまちづくりを行ってほしいです。</li> </ul>   |

| (44) まちづくり全般（分類不能を含む）   | 37        |
|---|-----------|
| <b>まちづくり全般について</b>  | <b>16</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市の「人口減少」問題について、その打開策を考える部署はありますか？どんな条件が整えば、人が増えるのか？また転出しないのか？その策を見出していますか？このままだと人口推移グラフが示す通りになってしまいます。関市を豊かなまちにしましょう。</li> </ul>                           |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市の人口が増える施策。市の若い職員でプロジェクトチームをつくり行う。関の刃物にこだわりすぎでは？関商高の北側通学路の縁石がないところあるので、整備すべき。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市民が一つになれる象徴が必要だと思います。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市の目玉をつくってほしい！活気ある関市にしてほしい。幸せ感じる関市にしてほしい。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自然も豊かで、お水もおいしいです。刃物や鶉飼いな歴史を感じるものも多くありますが、もう少し魅力のあるキラキラしたものと若い人たちも興味を持ってくれると思います。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市に住んでいるのに、関市のことをあまり知らないアンケートをしながら思いました。市の施策について自分が関わるのがないと知らないままになってしまうので、自ら情報収集をする必要があると思いました。関市のニッチな世界をアピールできるまちづくり、関市でしかできないことがあるといいなと思います。</li> </ul> |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関は水も美味しく住みやすいまちです。交通の便もよくなり、関生まれ関育ちを誇りに思っています。関市が大好きです。これからもいろいろなことに取り組んでほしいです。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>いつまでも誇りを感じられる故郷であってほしいと思います。行政の皆様には感謝申し上げます。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の出身地よりも関市の方がよりよいまちづくりをしようという動きを感じ住み心地がよい。</li> </ul>   |           |

|   |           |
|---|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町が実にさびしい町になってしまっている。美濃市の方が美しく、にぎやかで残念に思う。関市をみんなが集まりたいと思う、文化的で、美しく住みやすい町にしてほしい。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に恵まれ、住環境に恵まれ、文化施設に恵まれ、道路は整備され、車で走りやすく、医療にもめぐまれ、人々が穏やかで温かくて、感謝しています。都会のように、歩いて移動してすぐに公共交通網、例えば地下鉄、JR、私鉄の駅があればよいのと思うこともありますが、そこは物価が高く、今の私には生活できません。関市はとても豊かです。ありがたいです。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越してまだ関市に住んだばかりのため、関市のことを知らないのです、これから暮らすのが楽しみです。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、山、観光資源、人、誇れるものがたくさんあるので、アイデアをもっと出して魅力あるまちづくりを期待します。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・働いた人に見返りのある社会に。がんばる若者が希望をもてる社会に。言い方は悪いけれど、なまけた方が得する社会は人間が育たないと思います。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金があってもいいと思います。</li> </ul>   |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民に負担を強いることなく、みんなに賛同が得られるまちづくりを期待します。</li> </ul>  |           |
| <b>多岐にわたる施策への意見等について</b>  | <b>20</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市のまちづくりについては、とても意識が高いと感じています。市役所窓口で悲しい思いをしたことは一度だけです。年金関係の部署でした。意識の低い来庁者が多い部署だろうと察しますのでやむを得ないなあと思っています。それを除いて、窓口を多数回利用させていただいていますが、毎回予想以上に温かいご対応をいただき、恐縮してしまうこともあるほどです。最もよい記憶として残っているのは、数年前に高校生になったばかりの息子が一人でパスポートを作成しに訪れた際に、非常に丁寧にわかりやすくご対応、ご指導して下さったことです（写真の撮り方やおススメの場所まで教えてくれましたと言っていました）。市役所でのこのような体験は愛着を持つきっかけとなると思うし、私自身も親として良質な自治体を居住地として選んだことを我が子へ誇ることができてありがたいです。時事柄、今後の行政では高齢者福祉、子育て支援、新しい自転車通行ルール実施に向けての諸整備（ハード・ソフト両面を含む）が課題になってくるのではと思います。関市の舵取りは期待できると思いますが、一方で行政サービスを受ける市民の意識も上がるべきだと日々感じています。税金を払っているからあたりまえではなく、行政レベルも多様なので、市の良質な行政運営を正しく認知できる市民が住む関市になるとさらによいのではと思います。自転車通行ルール改正に関しては、現状は自動車運転者の意識がとても低く向上を図る必要があると思います。高齢者福祉サービスを受けた高齢者や子育て支援を受けた子が、別の形で市に貢献する制度があるとどうでしょうか。例えば、留守家庭児童教室を利用した親もしくは児童が運営整備のボランティアとして（利用した児童は成長後に）従事するなど。</li> </ul> |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsをはじめ、LGBT等に疑義を感じています。また、子どもの権利は、もちろんあると思いますが、かと言って心身の発達途中の子どもが身体は男だけど心は女なので、身体の整形を要望し権利を行使するとか、アメリカでは問題も多く、今一度よく議論すべき問題だと思う。理解しているかいないかのアンケート問題で終わるものでもないと思います。成人してかつ自身と向き合って決めたことなら何も問題ないとは思いますが、子どもはちょっと違くないですかね。脱炭素も同じで、ただの利益目的で150兆円使って。0.00001度程、世界の温度が下がるとのこと。日本がやるよりも、排出量が多い国が実施しなければ意味ないですよ。通学、通勤の足であった電車やバスも赤字だから廃止するのに、訳のわからないところにお金を使う。理解不能です。関市の市街地の山もそこから中で削られ、太陽光パネルが並べられているが、あれだけ山を削って木を伐採しておき脱炭素って笑えないギャグにしか見えないし、山肌剥き出しで、大雨の時に崩落のリスクはないのですかね。昨今、今までに経験したことのない雨がよく降るようですが。昭和生まれの人間には諸々のことを考えると、関市に限らず、少しずつ息苦しい国になって行く気がします。SDGsについて片山大臣が発信していますし、分別回収も過度なやり方はやめた方がよいと個人的には思います。</li> </ul>  |           |

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に力を入れていただいている点にとっても感謝しています。どの市でも課題だとは思いますが、若年層の流出は、市政運営に大きな影響を与えます。子育て世帯への金銭的支援のみならず、都市部への公共交通機関の充実やサテライトオフィス等のリモートワーク環境の整備、創業支援策の充実など、働き盛りの世代が関市で働き、暮らすことができる環境を整えることも、住民の定着につながると思います。自身が関わらない施策について評価することは難しいですが、同年代が都市部へ転出している身としては、やはり働きやすい環境、チャレンジしやすい環境の整備こそ、定着につながるのではと考えます。今後の施策展開に期待しています。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>このアンケートをきっかけに関市が変わってくれることを望みます。関市が今よりもっとよいまちになれば、人口も増えるだろうし、若者もこのまちで暮らしたいと思います。定期的な高齢者の運転チェックを行ってほしいです。普段から危険運転をしているのは高齢者がほとんどです。一旦停止無視、割り込み、横断歩道を見ていない、信号無視など、普段から警察の取り締まりを強化をお願いしたいです。低所得支援として支援募金ボックスを設置するなどの工夫が必要。預かり保育など人員確保が難しいかもしれないが、ホームページでボランティアの募集を定期的にするなどしてほしい。自治会がない地域もあり高齢化が進み後継者がいないので、やっても意味がない。安心メールは登録した人しか配信されないの、QRコードとかで、誰でも配信できるものを設置してほしい。標識、カーブミラーの劣化をいたるところで見かける。届けても何も改善されない。至急対応してほしい。公園はボロボロの遊具が目立つ。トイレも汚く、関市以外の公園に行く人も多い。インスタの運営はとてもいいが、広報はわかりづらい。若者にも見てもらえる内容、高齢者が読める文字の大きさを工夫してほしい。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミのポイ捨てが多い。空家が多く、管理がされていない。老人(80代以上)だけの家が多く、家・土地の管理ができず近隣の迷惑になっている(子どもはいるが市外にいて関心がない)。農業(田・稲作)を継続したくても、依頼を断られ農地(空地)の管理が大変。武芸川地区の国道の街路樹の管理が住民任せ(?)になっている。落ち葉の処理、剪定、木の虫の駆除等しないのなら街路樹はいらない。関市街地ばかりに公共工事が集中している印象しかない。国民健康保険税・住民税・都市計画税が高い。旧関市以外の堤防清掃(草刈り等)が自治会任せなのはなぜ？</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関市の市街地はとても便利で住みやすく、自然も残っていて魅力的です。名古屋へのアクセス、鉄道があればもっと人口が増えると思います。道路が狭い所や交差が90度ではない所が多く、車線変更など、道を熟知していないと運転がスムーズにできません。街灯が少なく、夜間はとても暗くて安全とは言えないと思います。歴史的な遺産や刀・刃物、鶴飼など伝統的で世界に誇れるものがたくさんあるので、魅力を発信し続けて、関市がより素敵な地域になることを望んでいます。アンケートの内容で、私自身があまり知らない事柄については、申し訳ありませんが3にしました。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市や各務原市に近いところに住んでおり交通の便もそこまで悪くなく、治安もよいので快適に過ごせています。強いて言うのであれば、名古屋までの高速バスの路線上に駐車場(有料でよい)があると便利かなと思います。私自身子どもはいませんが、周囲の出産をきっかけに関市では子育て支援がしっかりしていることに安心しました。また、刀剣乱舞とのコラボは長年待っていたものだったのでとてもうれしかったです。この機会に関市の刃物産業がもっと有名になってほしいなと思いました。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地である板取など道路(国道256号外、県道52号線外、市道)を早急に調査し、国、県そして関市も舗装工事などで安全かつ美しい道路整備を進めてほしい。②消防、防災整備を重視し、消防団員の増加、消防施設の看板などの整備を進めてほしい。また、消防栓は市の職員から自治会が管理するというのを周知してほしい。③市職員が中心部にしか視野がないようで、未来のために市全体を視察するなどしてほしい。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の交通機関が少なく不便。バスの本数、電車。小学校の学童に入れる期間を6年生まで伸ばしてほしい。小学校に送迎バスがあると安心できる。変質者、野生動物対策。高校のレベルが両極端で選択の幅が少ないのが残念。この点は正直、他の自治体に転居したくなる。せきチケ等でたくさん支援してもらえて助かっています。給食費無償化もすばらしいです。ありがとうございます。</li> </ul>   |

|   |          |
|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋や各務原、岐阜へ向かうバスの本数を増やしてほしい。岐阜市と関市の境目の道路の舗装を積極的にしてほしい。関市は自然豊かな場所であるため、それを生かした撮影スポットを積極的に紹介してほしい（例：広報せきなどで中池公園で野鳥が撮れる！など）PayPayの還元キャンペーンをやってほしい。</li> </ul>            |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTに対する積極的な政策は不要。ゴミの分別も不要。ワクチンの推奨も不要。世の中、テレビ新聞など大手メディアが言っていることが真実ではない。何が真実か、いろいろな角度からの検証をした上で、公益に沿う政策をすすめていただきたい。現市長になってからの市政については、新しい取り組みもみられ、一定の評価はできる。</li> </ul> |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きが多い中で学童の枠が狭い気がする。公共交通の便が悪いのに商業施設や観光スポットを散らしすぎている。駅やバス停の近くに固めるか、既にメイン施設がある場所に固めたらもっといいと思う。本町をもっと再生したら若者に活用してもらえそう。産婦人科が少ない。</li> </ul>                              |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新鵜沼駅までのバスがほしい。買い物循環線のバス停を増やしてほしい。道路の舗装のデコボコ箇所が多すぎる。大手企業の誘致、雇用の拡大。子どもの給食費無償化。缶・ビンの回収日を増やしてほしい。他の資源ゴミに比べ回収している場所が少ない。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から市民のことを考えてくださりありがとうございます。関市はどんどん便利になってお店も増えてうれしいです。何より公共施設、道路の環境整備が行き届いて毎日快適に暮らせています。大好きなまちです。これからもがんばってください。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・車がないと生活できない。高齢者の方が多く運転している。高速道路へのアクセスがよい市なので、それを何か活用できないか。観光にもう少し力を入れてもいいと思う。子育てにかかる費用の補助の充実。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関を充実させてほしい。名古屋方面だけでなく、関西、三重県など、日帰りで行けるバスがあるといい。生活保護を受給していない世帯への支援を積極的に進めてほしい。本町商店街の活性化を進めてほしい。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場環境や公共交通機関がもっと充実するのいいのかなと思います。あとは子育て世代の憩いの場とか屋内の遊び場がないと感じるので、ぜひ検討してほしいです。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が少ない。まちが静か。子どもの声がしない。つばめ、すずめも少なくなった。電車がなくなった。</li> </ul>   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道が高い。収入に応じているのは知っているが、他の市と比べて、住民税が高い。関市にはあまり公園がない。子どもや高齢者の憩いの場、散歩の場がほしい。</li> </ul>  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・30～40分圏内で、岐阜に通勤して、生活費が安い関市に住むのがベストかと存じます。</li> </ul>  |          |
| <b>国の施策等について</b>  | <b>1</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市に思っていることはそんなにないですが、年金をもらえる歳まで生きようと思っていないのに、年金を払わないといけない意味がわからなくて死にたい気持ちになります。</li> </ul>  |          |

|   |           |
|---|-----------|
| <b>(45) このアンケートについて</b>   | <b>13</b> |
| <b>アンケートの内容について</b>   | <b>6</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートが長過ぎる。途中で嫌になる。</li> </ul>  |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの設問に対して「わからない」を入れてほしかったです。③どちらかというに住みにくい？にて回答しましたが、モヤモヤします。伝承館にある東日本・西日本をわけるプレートは好きです。大学、短大があるのに、市外から来る人をスルーしているのはもったいないです。</li> </ul> |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心を持たないと、まちづくりの情報を知ることができない。まちづくりに参加し難いと感じています。このアンケートについても、評価に「わからない」を回答に追加すべきだと思います。「わからない」ことの評価は適当になり、本来の評価につながらないと思います。</li> </ul>      |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の「満足度・重要度」について、関わってなく全くわからないので回答もできません。アンケートの設問がおかしいと思います。</li> </ul>   |           |

|  |          |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、質問に対してわからないことも多くあり、市ががんばっているところもあると思うのですが、評価できなくて答えたところもあるので、すみません。全体的にはよくしてくれていると思っています。</li> <li>・すみませんが、80～90歳ですから、何が何だかわかりません。</li> </ul>   |          |
| <b>アンケートの方法について</b>  | <b>3</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートですが、私はもう数回受け取っています。主人は一度もありません。無作為抽出した3,000人対象となっていますが、都度、抽出されるのでしょうか。何度受けても同じ回答になります。一度回答した人は、削除したほうがいいのではないのでしょうか。</li> <li>・進学・就職で関市を離れた若い世代の人たちが、関市に戻ってくる割合はどれくらいなのでしょう。都会に魅力ある。関市から通うには時間がかかる。働きたいと思うところがない。関市での老後を考えると生活が不便など、いろいろ考えられると思います。こういう幅広い世代へのアンケートも必要ですが、世代をしぼったアンケートで意見を吸い上げることのほうが、将来のために役立つと思います。マクロの視点とミクロの視点、どちらも大切です。</li> <li>・アンケートもインターネットで行えばよいと思います。</li> </ul> |          |
| <b>アンケートの感想等について</b>   | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し訳ないですが、これまで意識したことがありませんでした。このアンケートをきっかけに考えていきたいと思っています。</li> <li>・アンケートの回答にはかなりの時間を要するものですよ。</li> <li>・これだけ長いアンケートに答えさせて無報酬なのが信じられない。</li> <li>・本アンケートの送付用の封筒が小さすぎますね。</li> </ul>  |          |

|   |          |
|---|----------|
| <b>(46) その他の意見・感想など</b>   | <b>4</b> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・すばらしいまちだと思います。大好きです。</li> <li>・A cidade de Seki ganhou meu cora??o. Como estrangeira (brasileira)</li> <li>・まだまだ知らないことが多くありますが、自分の生まれた土地で暮らしたいと思っています。</li> <li>・ご苦労さまです。高齢者なのでお役に立てないと思います。</li> </ul> |          |

**令和7年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）**

**【結果報告書】**

発行年月 令和8年3月

発行 関市

編集 関市 市長公室 企画広報課

岐阜県関市若草通3丁目1番地

TEL：0575-22-3131（代表）

FAX：0575-23-7744